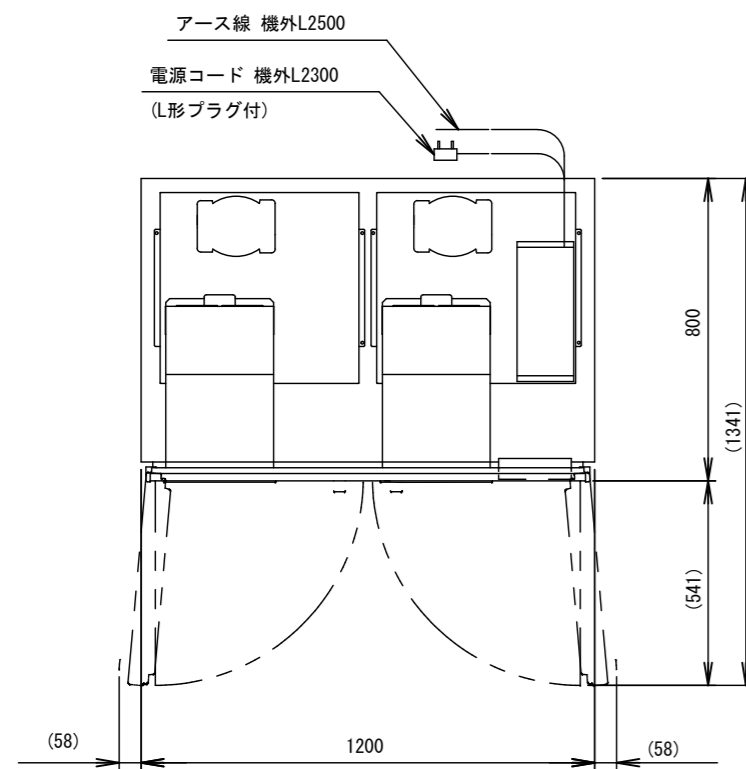
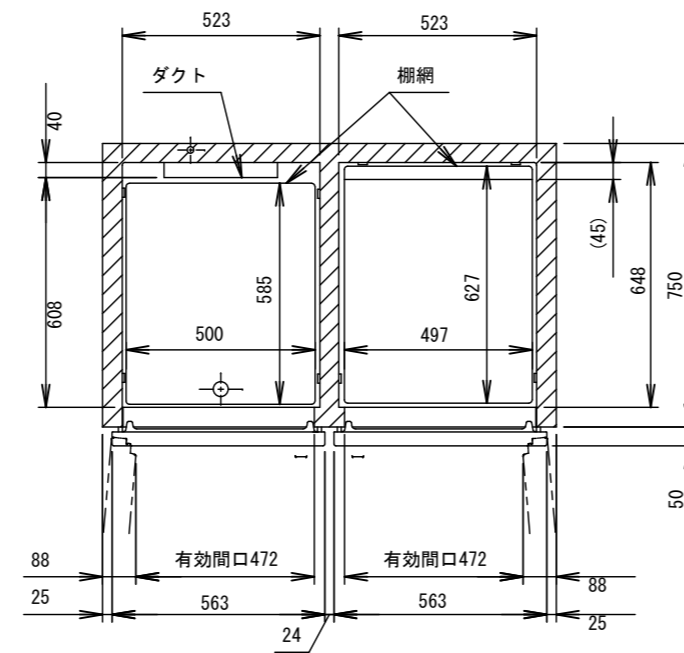


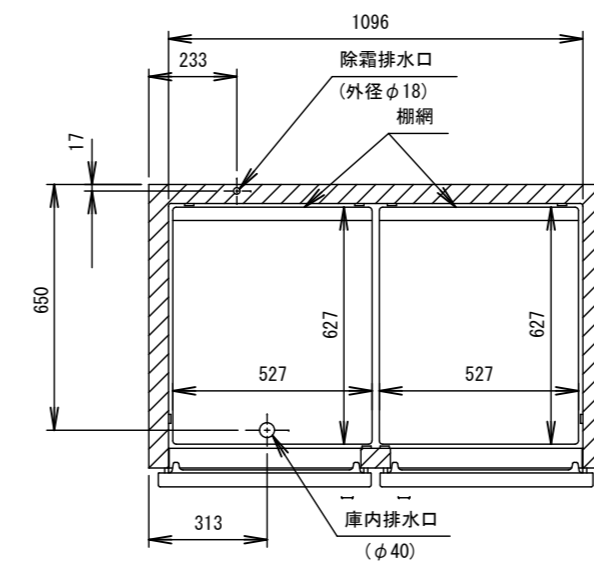
室名：1階 食品製造実習室 数量 1台



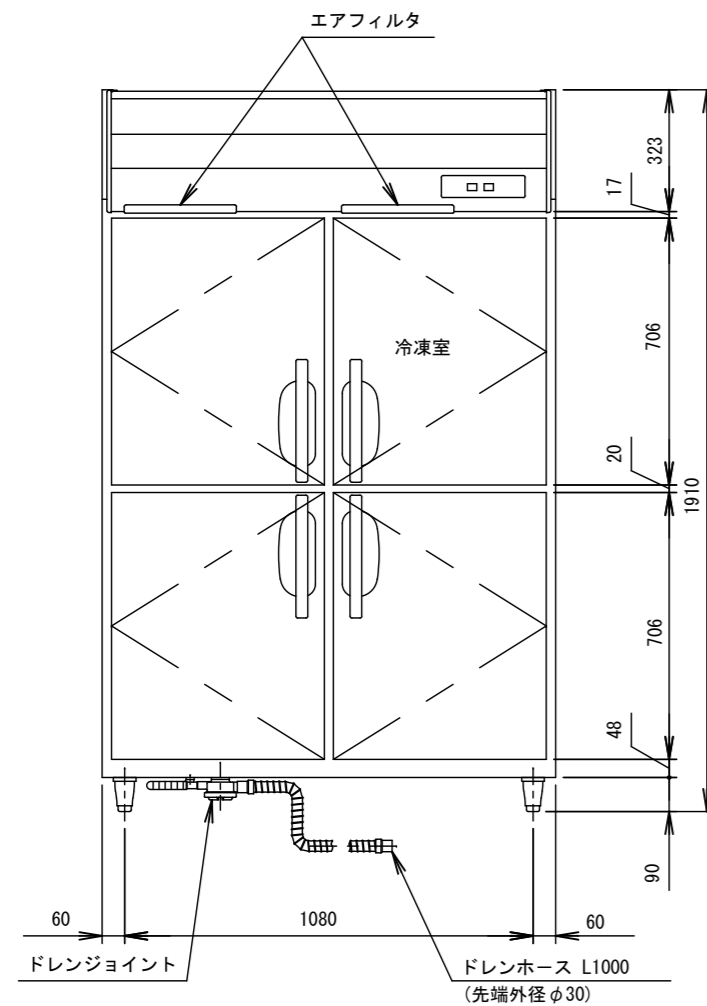
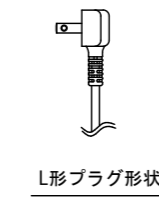
平面図



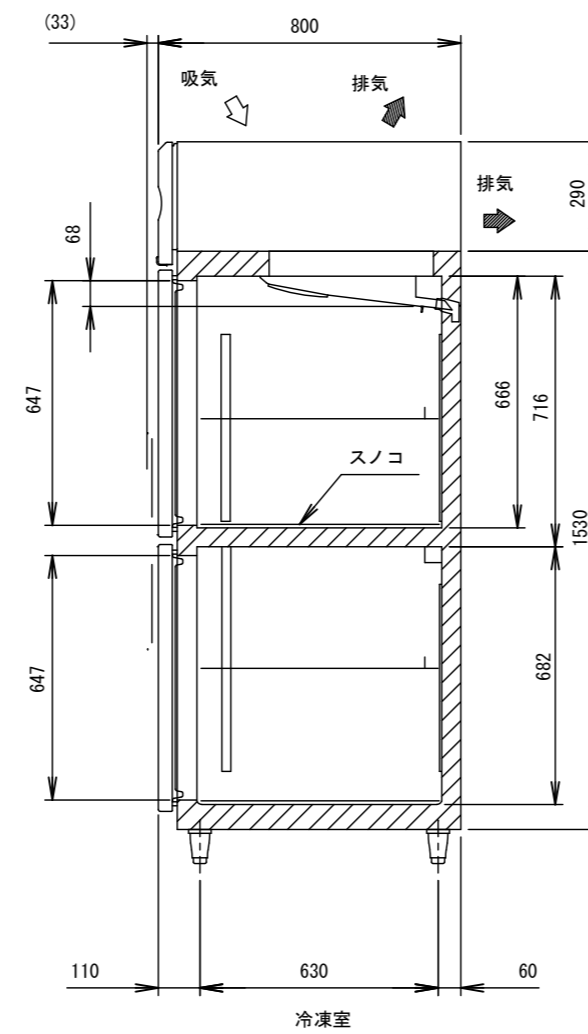
平面断面図(上室)



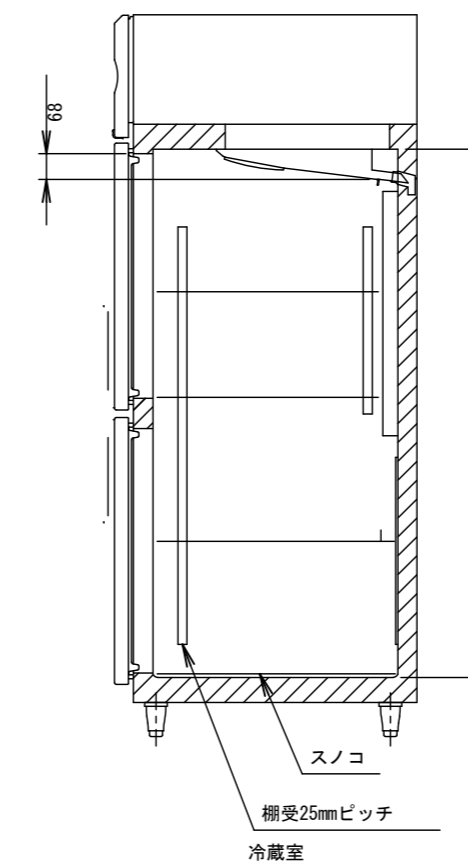
平面断面図(下室)



正面図



断面図(1)



断面図(2)

製品名	⑥業務用冷凍冷蔵庫
形名	
電源	単相 100V 50/60Hz 容量0.80kVA (8.0A)
電流	運転電流 3.5/3.5A 電動機定格電流 3.1/3.1A 始動電流 15/15A
消費電力	電動機定格消費電力 235/240W (効率75/77%) 電熱装置定格消費電力 594W 冷却時消費電力 278/283W 霜取時消費電力 594/594W
放熱量	550/560W
電源コード	2.3m(L形プラグ付)
定格内容積	総内容積986L(冷蔵室75L、冷凍室229L)
外形寸法	幅1200×奥行800×高さ1910(～1940)mm
内形寸法	冷蔵室：幅523×奥行608×高さ716mm 幅1096×奥行648×高さ682mm 冷凍室：幅523×奥行648×高さ666mm
外装	ステンレス鋼板、亜鉛鋼板(後板、底板) 多層クリアコートステンレス鋼板(フロントパネル・扉)
内装	ステンレス鋼板、ABS樹脂
断熱材	硬質ポリウレタン一体発泡
冷却方式	強制対流式
除霜方式	冷蔵室：ヒータ式、オフサイクル式自動選択 冷凍室：ヒータ式
圧縮機	冷蔵室：全密閉形 出力130W(一定速) 冷凍室：全密閉形 出力190W(インバータ)
凝縮器	フィン&チューブ形 強制空冷式
冷却器	フィン&チューブ形
冷媒	R600a
庫内温度制御	冷蔵室：マイコン制御(デジタル温度表示)-6～12℃調節可能 冷凍室：マイコン制御(デジタル温度表示)-25～-7℃調節可能
除霜制御	マイコン制御
電気回路保護	アース線
冷媒回路保護	冷蔵室：モータプロテクタによる圧縮機停止(自動復帰) 冷凍室：過負荷保護制御による圧縮機停止(自動復帰)
脚	樹脂製90～120mm調整可能
柵	柵網(5枚)+スノコ(3枚)
製品質量	146kg(梱包時 152kg)
梱包	簡易ダンボール梱包 幅1270×奥行890×高さ1980mm
付属品	ドレンジョイント一式、ドレンホース2本
使用条件	周囲温度5～35℃ 電圧変動：定格電圧の±10%以内

※仕様・外観につきましては、改良のため予告なく変更することがあります。

- 設置条件について
場所、給排水、電源等は取扱説明書・据付工事説明書に従って正しく行ってください。
また、本体設置スペースは、設置条件により若干異なることがありますので、10mm程度余裕をとってください。
(給排水スペース・配管スペース等は本体設置スペースとは別に確保が必要です。)
- 放熱量は、周囲温度30℃における最終到達温度の時の値です。
この製品には漏電遮断器が付いていません。
- 「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」にしたがった高調波対応形の過負荷保護付漏電遮断器を付設し、電源容量は仕様欄に記載してある値に適合した専用電源を使用してください。
過負荷保護付漏電遮断器の仕様は、定格感度電流15mA、定格不動作電流7.5mA、動作時間0.1秒以内。
- 元ブレーカー容量は15A 125Vです。
- 仕様欄記載の電流値及び消費電力等の仕様値は参考値です。性能試験の結果により、仕様値を変更する場合があります。

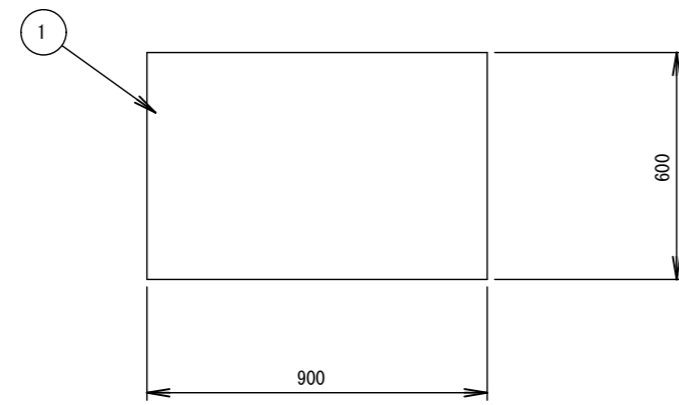
徳島県土整備部営繕課	●工事名 R8 営繕 国府支援学校 徳・国府 ダイバーシティ棟改修工事建築	●図面番号 B-085	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目43番地 TEL (088) 625-1759
	●図面名 新設食品実習室・パントリー機器詳細図-6(参考図)	●縮尺 1/20	管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号

製品名：⑦作業台

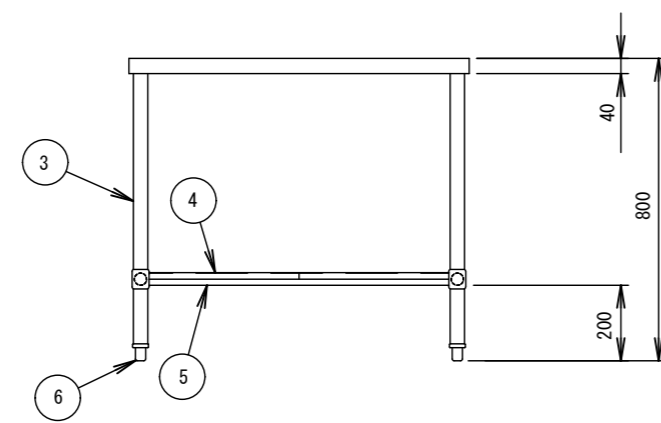
室名：1階 食品製造実習室 数量 1台

1	天板	SUS430 厚さ1.0mm No. 4仕上
2	本体フレーム	SS400 Lアングル 25×25×厚さ3mm
3	脚	SUS430 丸パイプ φ38mm No. 4仕上
4	スノコ	SUS430 厚さ0.8mm No. 4仕上 脱着式平棚角折
5	脚柱	SUS430 丸パイプ φ32mm No. 4仕上
6	脚先	SUS304 アジャスト

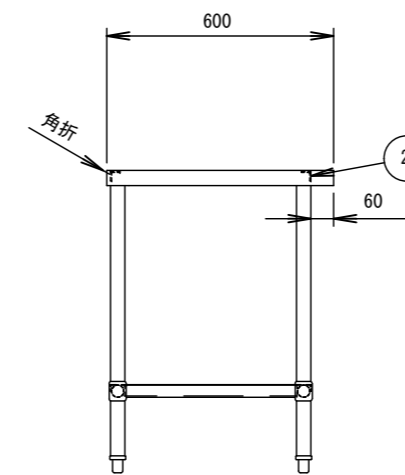
※バックガードなし



平面図

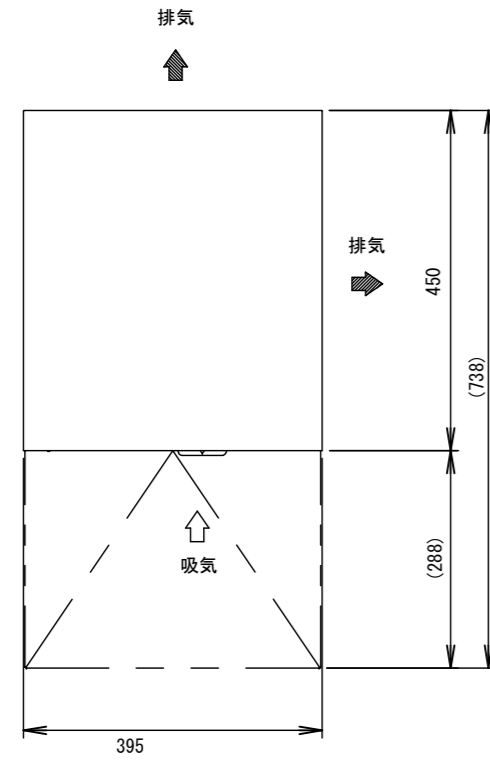


正面図

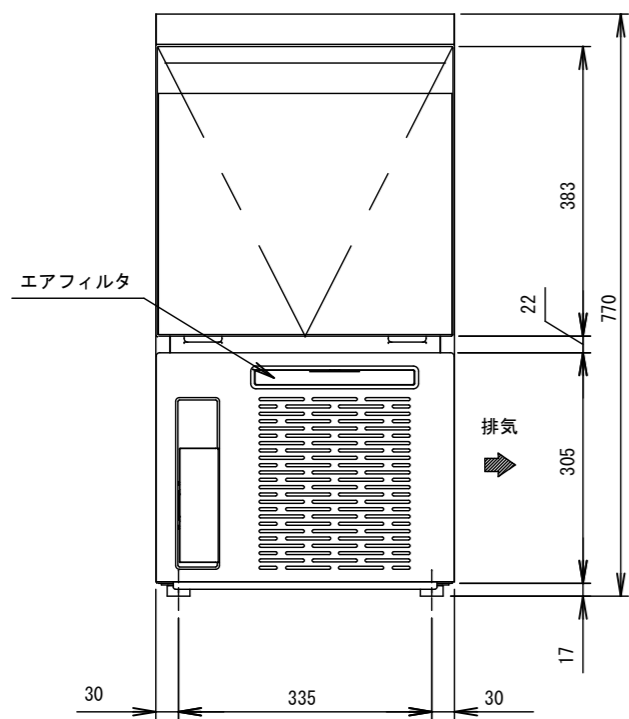


側面図

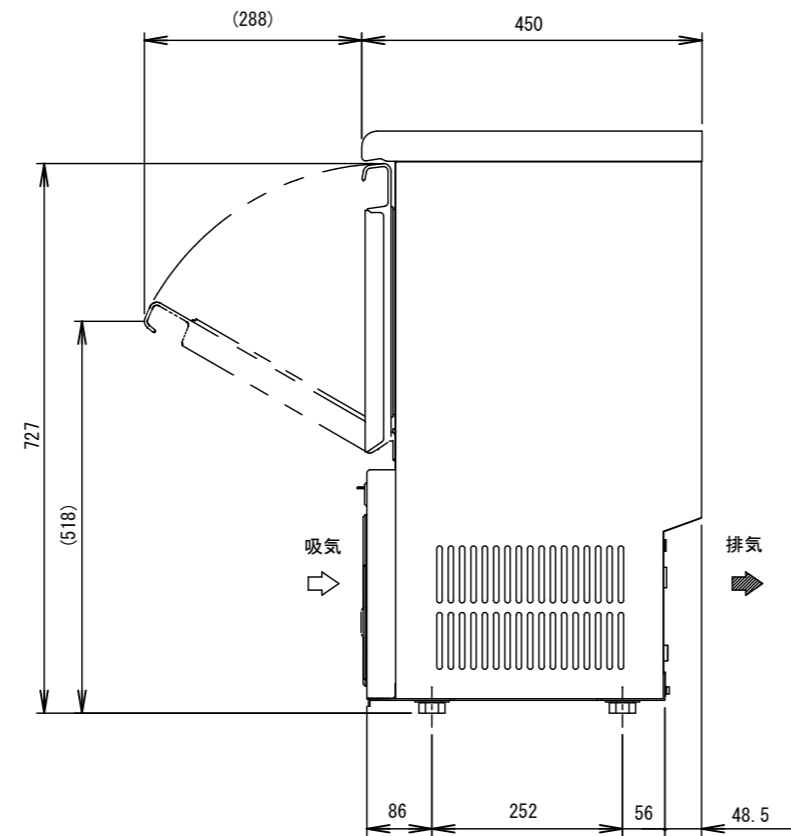
	徳島県土整備部営繕課	●工事名 R 8 営繕 国府支援学校 徳・国府 ダイバーシティ棟改修工事建築	●図面番号 B-086	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目4-3番地 TEL (088) 625-1759
		●図面名 新設食品実習室・パントリー機器詳細図-7 (参考図)	●縮尺 1/20	管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号



平面図



正面図



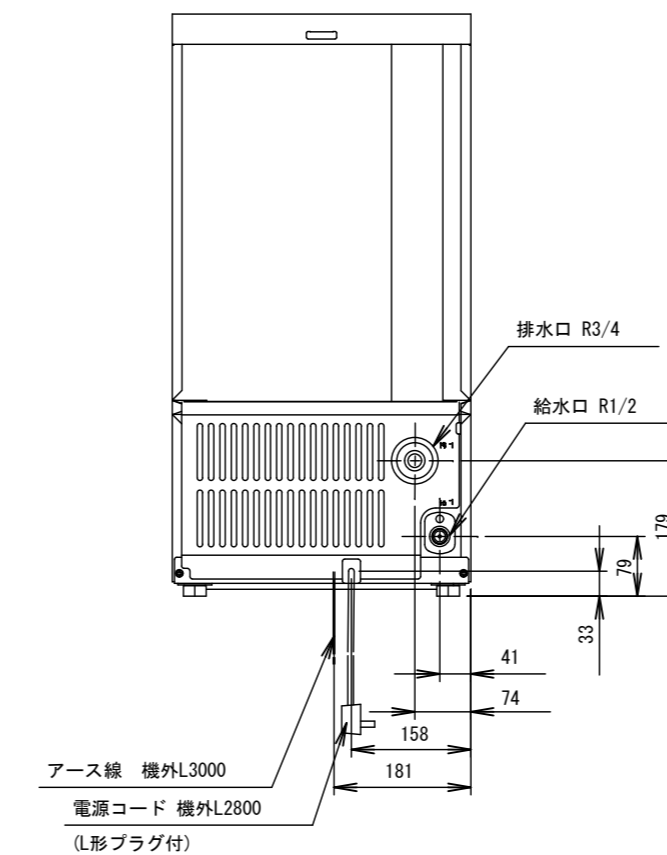
側面図

- 設置条件について
場所、給排水、電源等は取扱説明書・据付工事説明書に従って正しく行ってください。
また、本体設置スペースは、設置条件により若干異なる場合がありますので、10mm程度余裕をとってください。
(給排気スペース・配管スペース等は本体設置スペースとは別に確保が必要です。)
- 製氷能力は周囲温度、水温によって変わりますので、取扱説明書を参照してください。
- この製品には漏電遮断器が付いていません。
「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」にしたがった高調波対応形の過負荷保護付漏電遮断器を付設し、電源容量は仕様欄に記載してある値に適合した専用電源を使用してください。
過負荷保護付漏電遮断器の使用は、定格感度電流15mA、定格不動作電流7.5mA、動作時間0.1秒以内。
- アジャスト脚はオプションです。営業担当者に相談してください。
(付属のボルト脚は、製品高さ770~800mmの調整が可能です。)
- 元プレーカー容量は15A 125Vです。
- 製品コード：M194

室名：1階 食品製造実習室 数量 1台

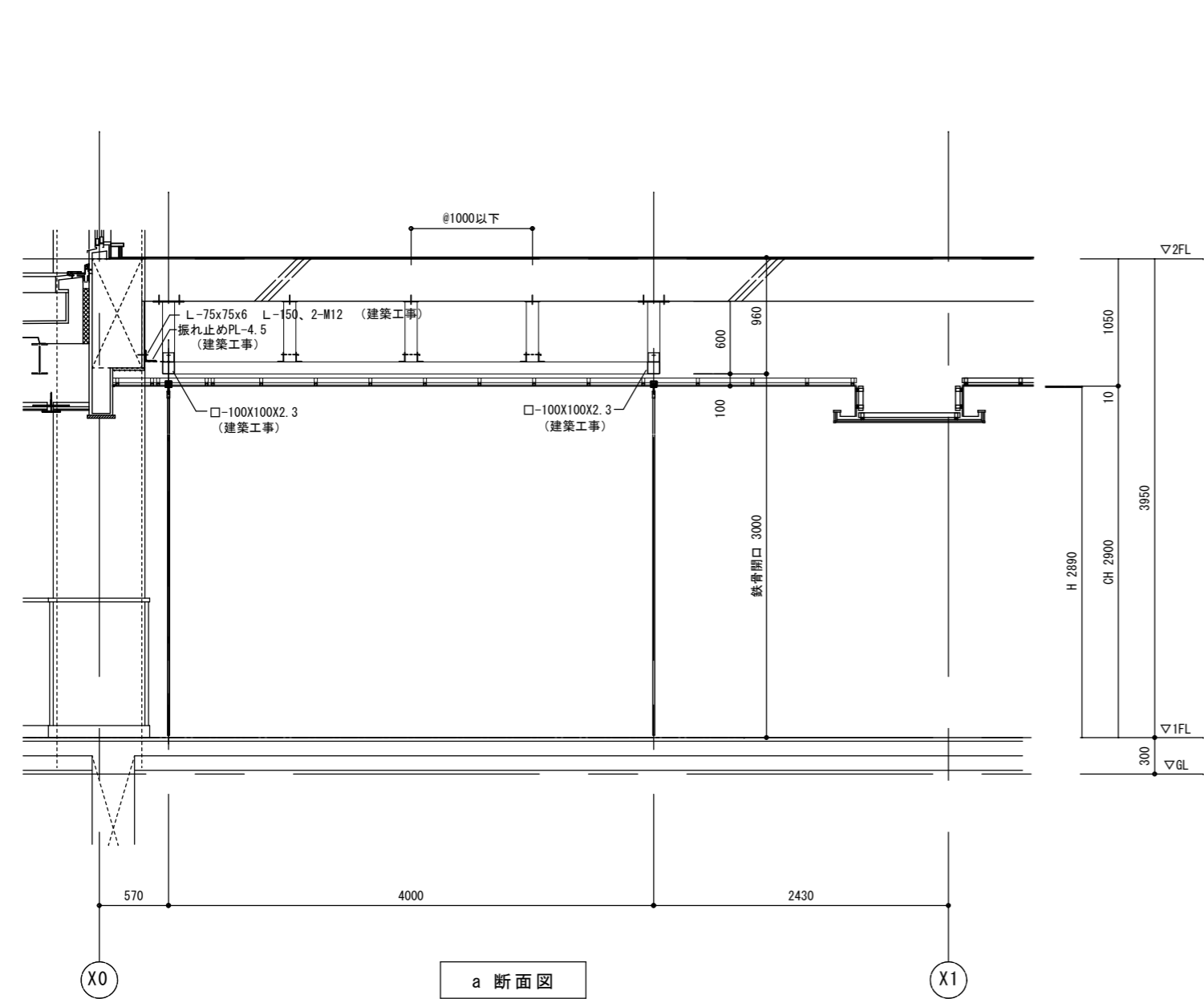
製品名	⑧キューブアイスメーカー
形名	
電源	単相100V 50/60Hz 容量0.47kVA(4.7A)
電流	運転電流 1.6/1.7A 電動機定格電流1.6/1.7A 始動電流 17/16A
消費電力	電動機定格消費電力 145/165W (力率90/97%)
製氷能力	約24/26kg/d (周囲温度20℃ 水温15℃) 約19/22kg/d (周囲温度30℃ 水温25℃)
水の形状	角氷 約28x28x32mm
1回の製氷時間	約23/21min (周囲温度20℃ 水温15℃)
1回の製氷量	約0.43kg/18個
貯水量	最大ストック量 約14kg(自然落下時 約8.5kg)
消費水量	約0.05/0.05m ³ /d (周囲温度20℃ 水温15℃) 約0.04/0.04m ³ /d (周囲温度30℃ 水温25℃)
外形寸法	幅395×奥行450×高さ770mm
外装	ステンレス鋼板、亜鉛鋼板(後板、底板) フッ素フレイコートステンレス鋼板(フロントパネル・扉)
内装	樹脂成形品
断熱材	発泡ポリウレタン
製氷方式	セル方式 ジェットスプレー式
除氷方式	ホットガス方式 アクチュエータによる水皿半開
給水方式	水道直結方式 R1/2
排水方式	製氷残水毎回排棄 R3/4
圧縮機	全密閉形 110W
凝縮器	フィン&チューブ形 強制空冷式
放熱量	470/530W
冷却器	銅パイフオンシート 銅板セル製氷室
冷媒制御	キャピラリチューブ
冷媒	R600a
製氷制御	マイコン制御
除氷制御	マイコン制御
給水制御	マイコン制御
貯氷制御	ダブルレバー検知方式(遅延タイマ付)
アース線	電気回路保護
冷媒回路保護	モータープロテクタによる圧縮機停止(自動復帰) サーミスタにて凝縮温度検知し圧縮機停止(自動復帰)
インターロック機能	マイコンによる機械運転停止
製品質量	33kg (梱包時 36kg)
梱包	全ダンボール梱包 幅547×奥行483×高さ814mm
付属品	スコップ
オプション	アジャスト脚、ストレーナ
使用条件	周囲温度1~35℃ 給水圧0.05~0.78MPa 電圧変動：定格電圧の±10%以内

※仕様・外観につきましては、改良のため予告なく変更することがあります。

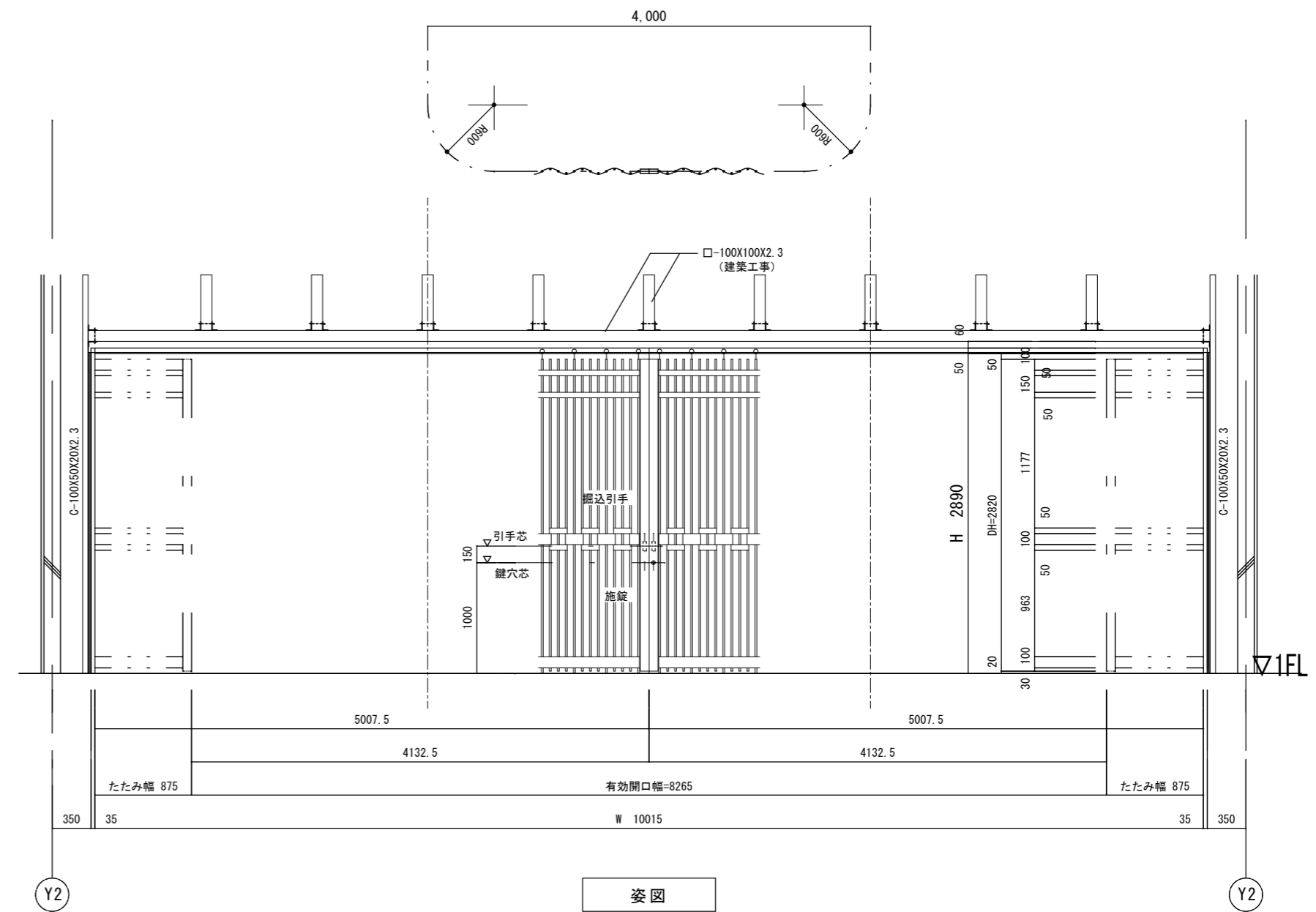


背面図

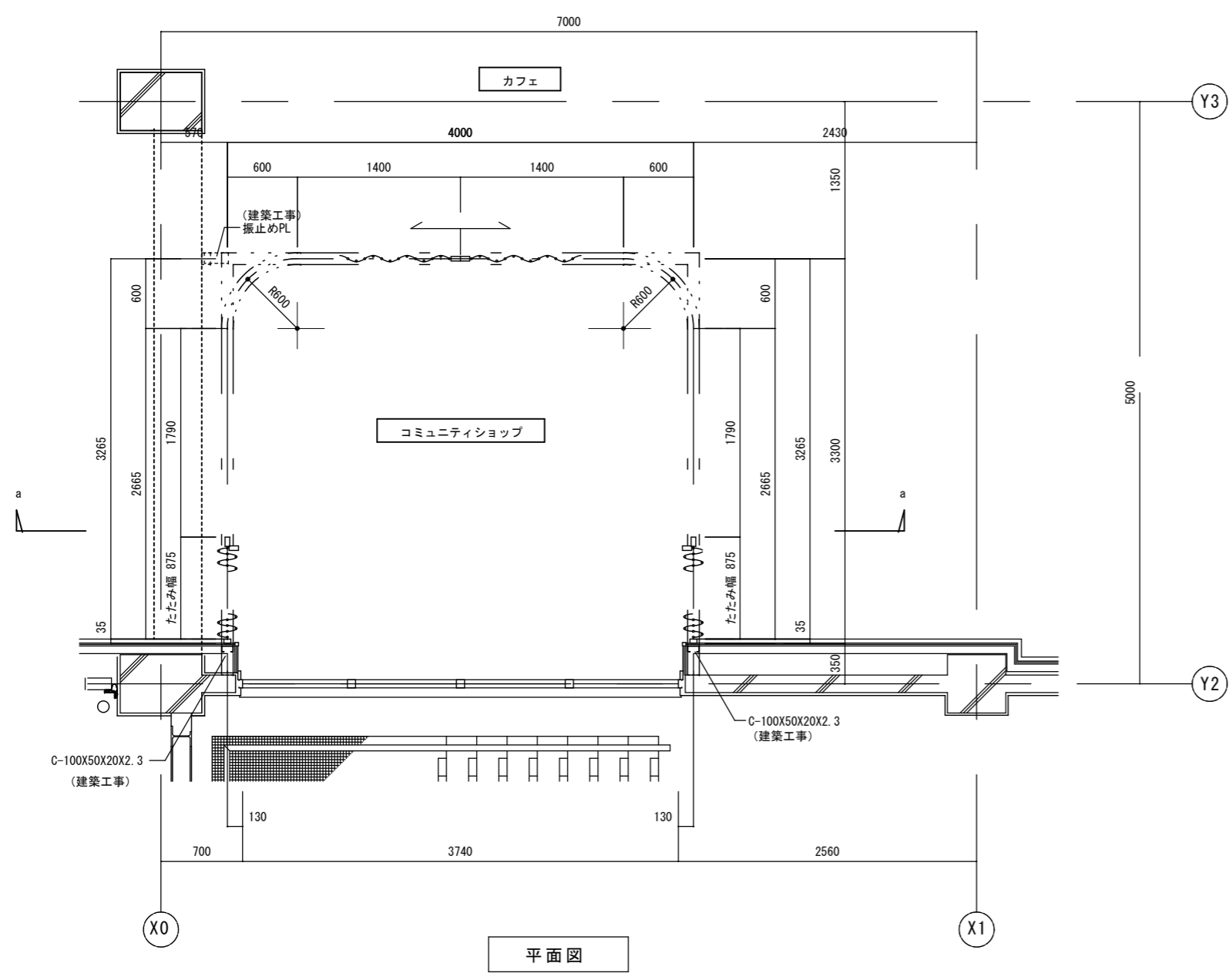
徳島県県土整備部営繕課	●工事名 R8 営繕 国府支援学校 徳・国府 ダイバーシティ棟改修工事建築	●図面番号 B-087	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目43番地 TEL (088) 625-1759
	●図面名 新設食品実習室・パントリー機器詳細図-8 (参考図)	●縮尺 1/10	管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号



a 断面図



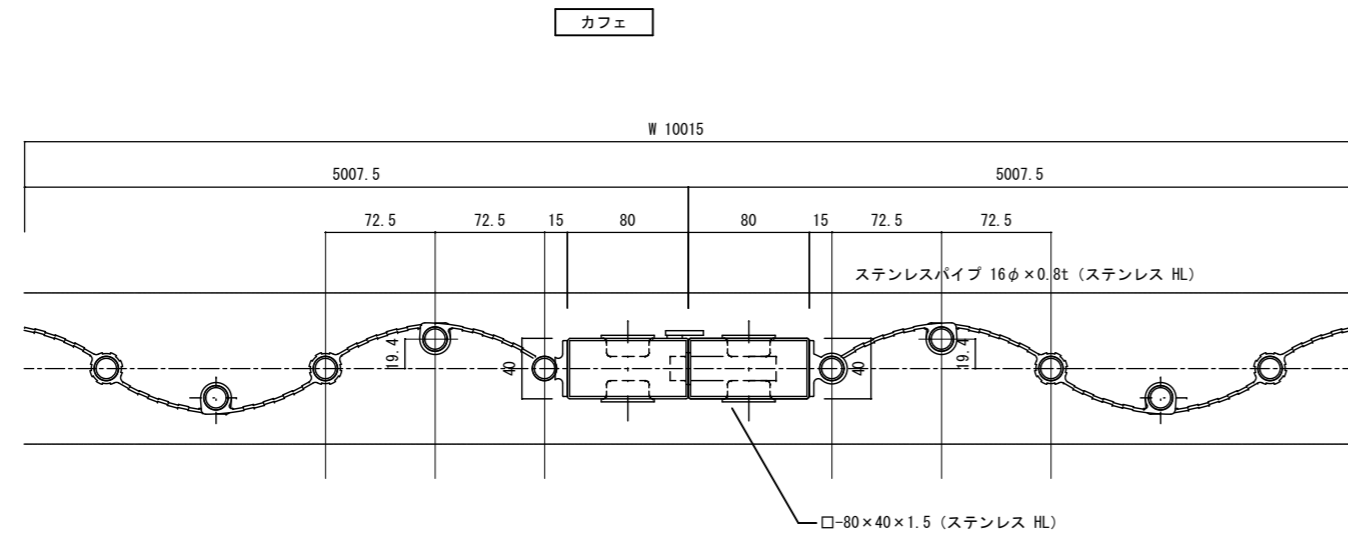
姿図



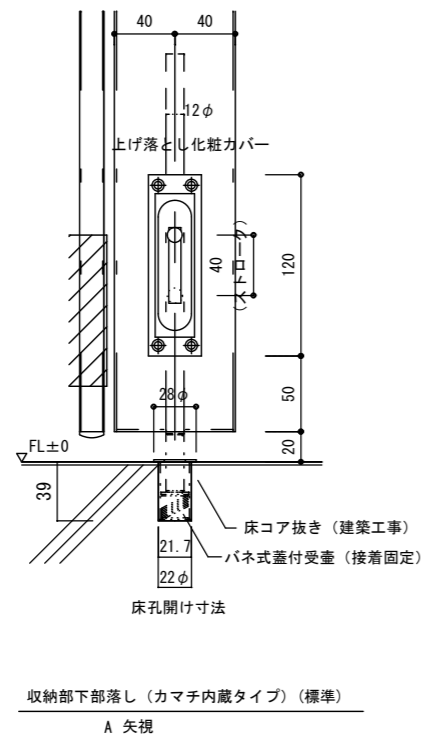
平面図

横引きパイプシャッター
両引R600 下レール無 ステンレス1型タイプ

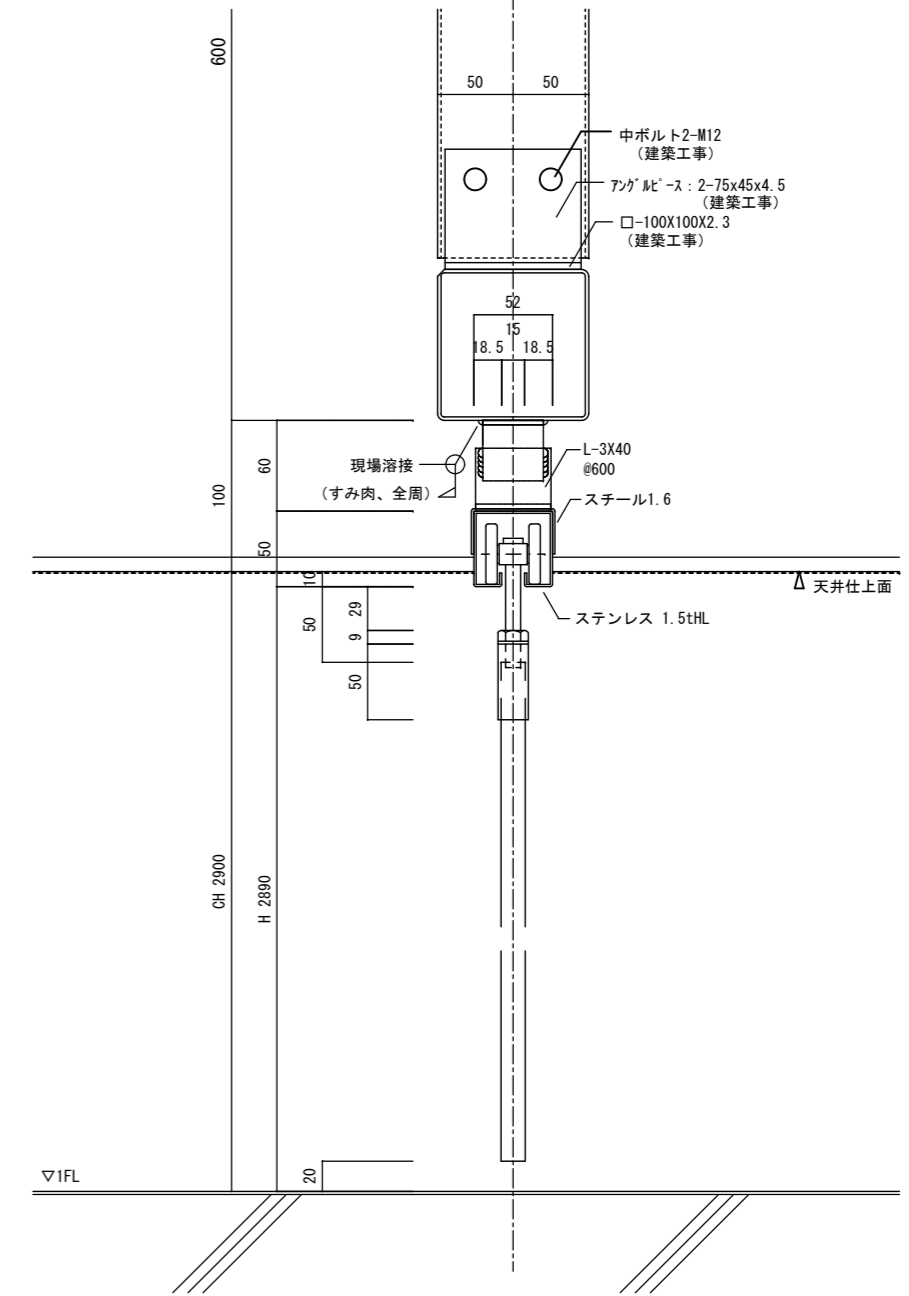
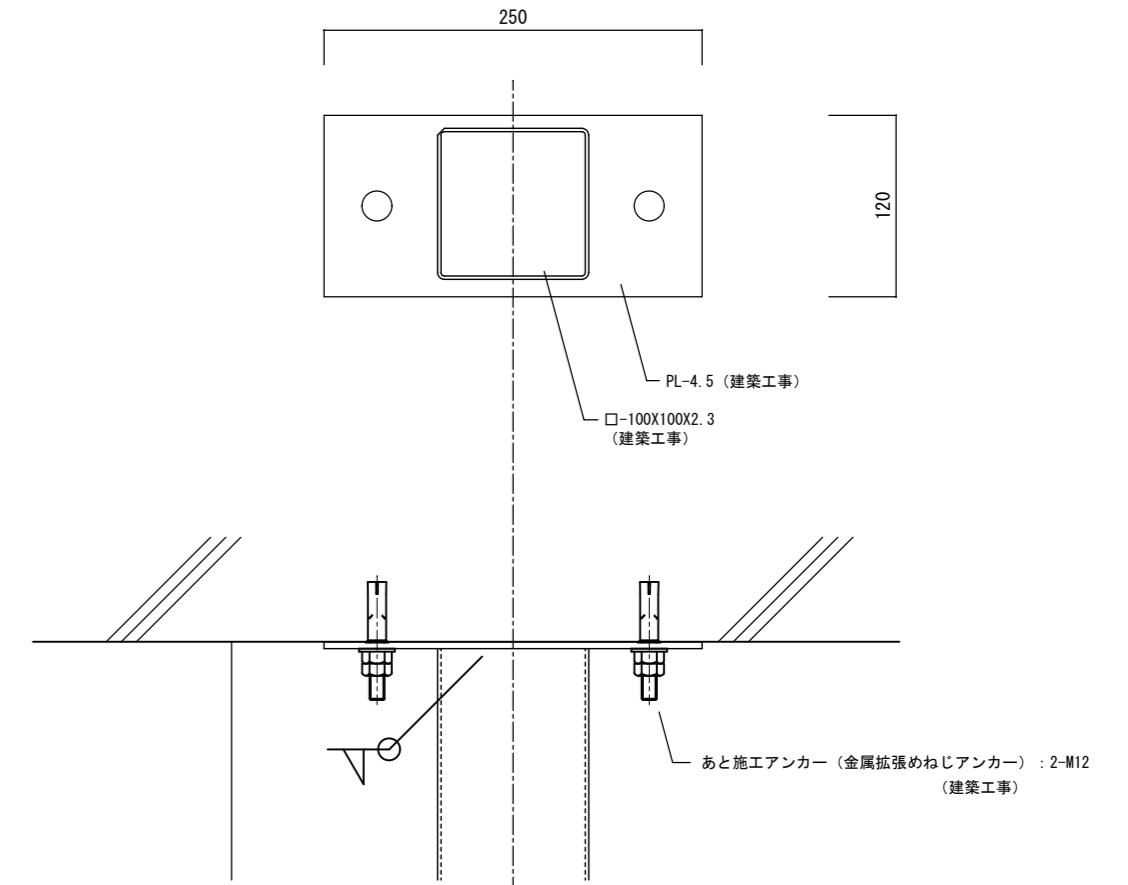
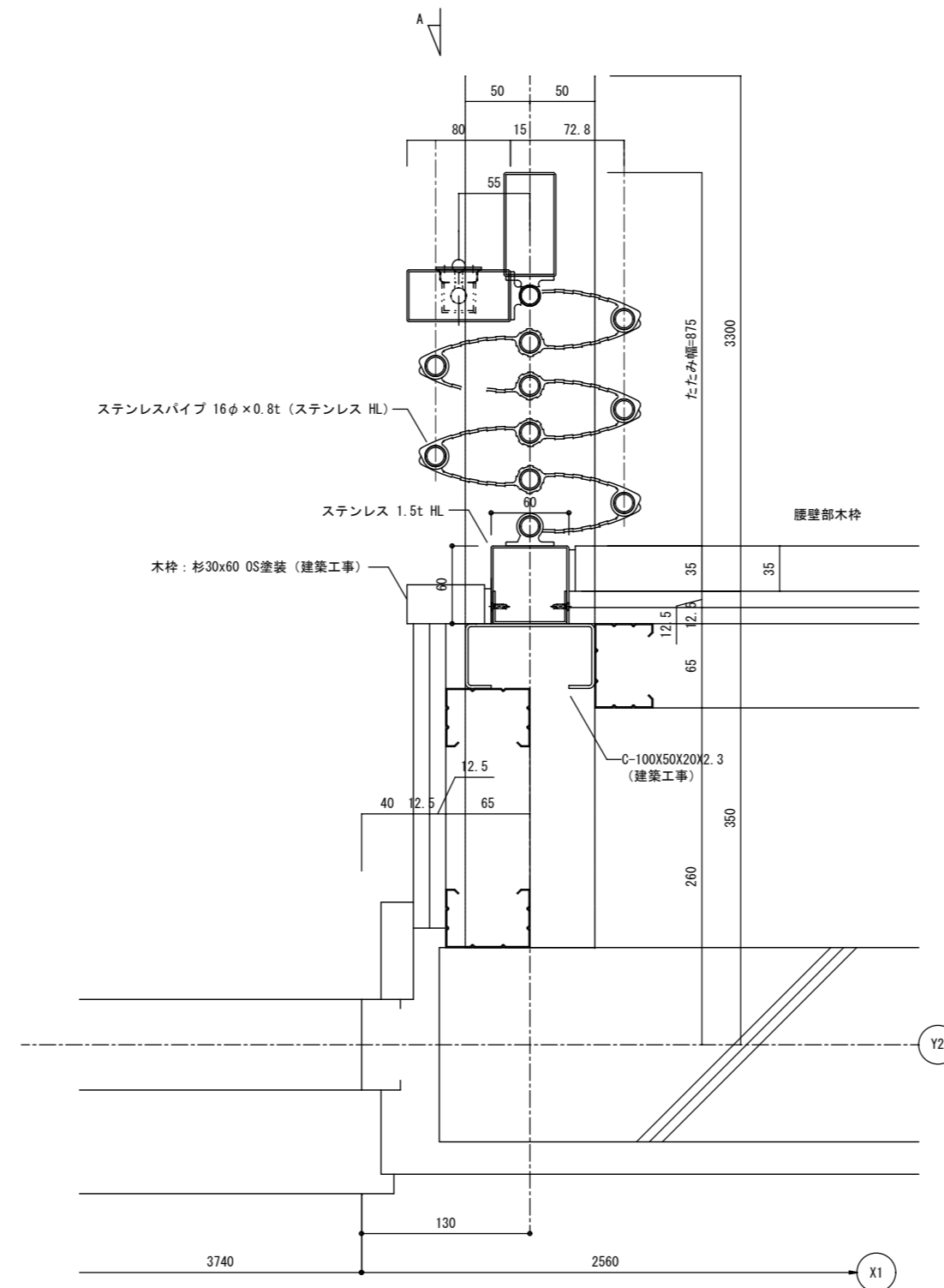
徳島県土整備部営繕課	●工事名	R8 営繕 国府支援学校 徳・国府 ダイバーシティ棟改修工事建築	●図面番号	B-089	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目43番地 TEL (088) 625-1759 管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号
	●図面名	横引きパイプシャッター詳細図-1 (参考図)	●縮尺	1/50	



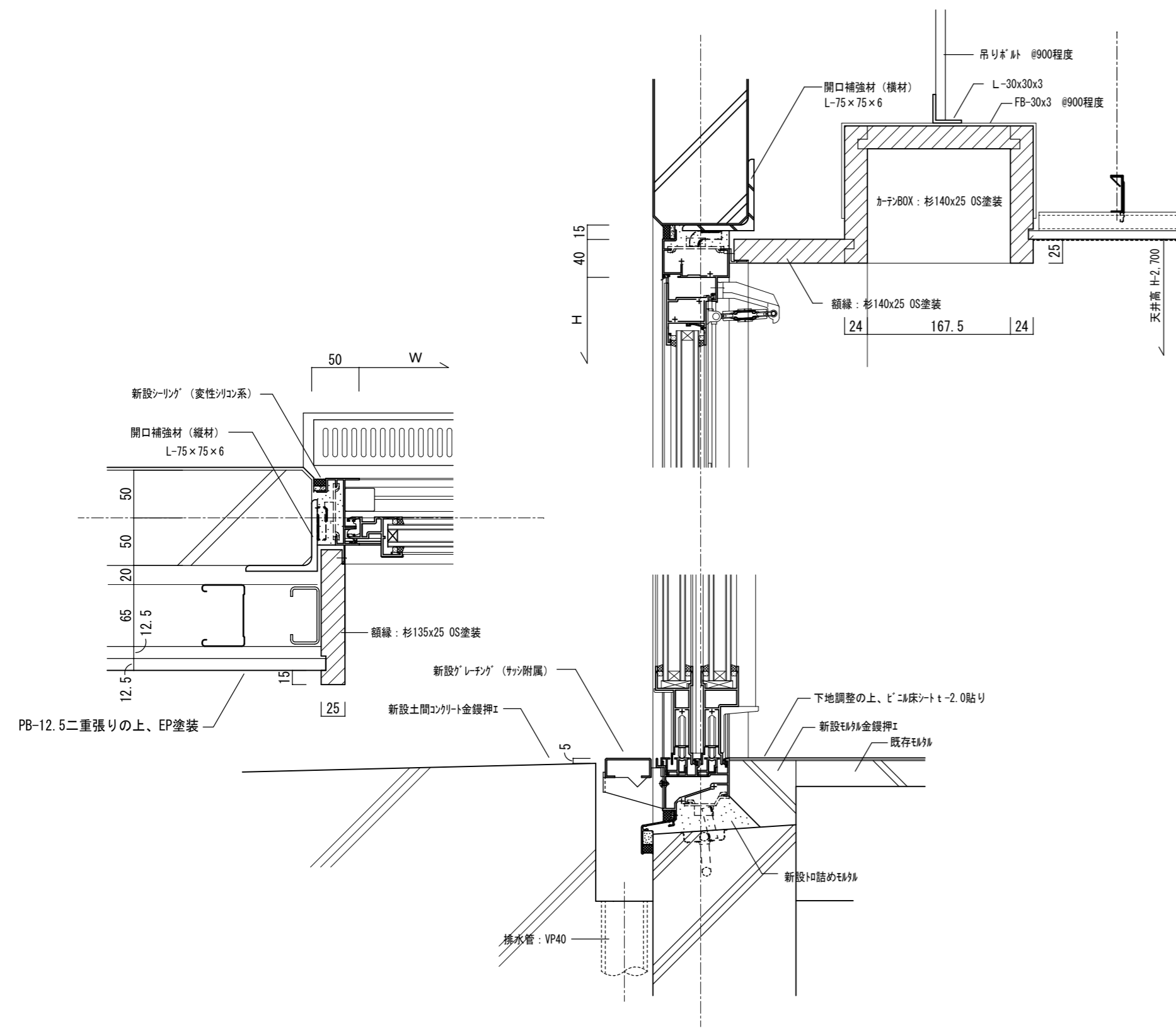
カフェ



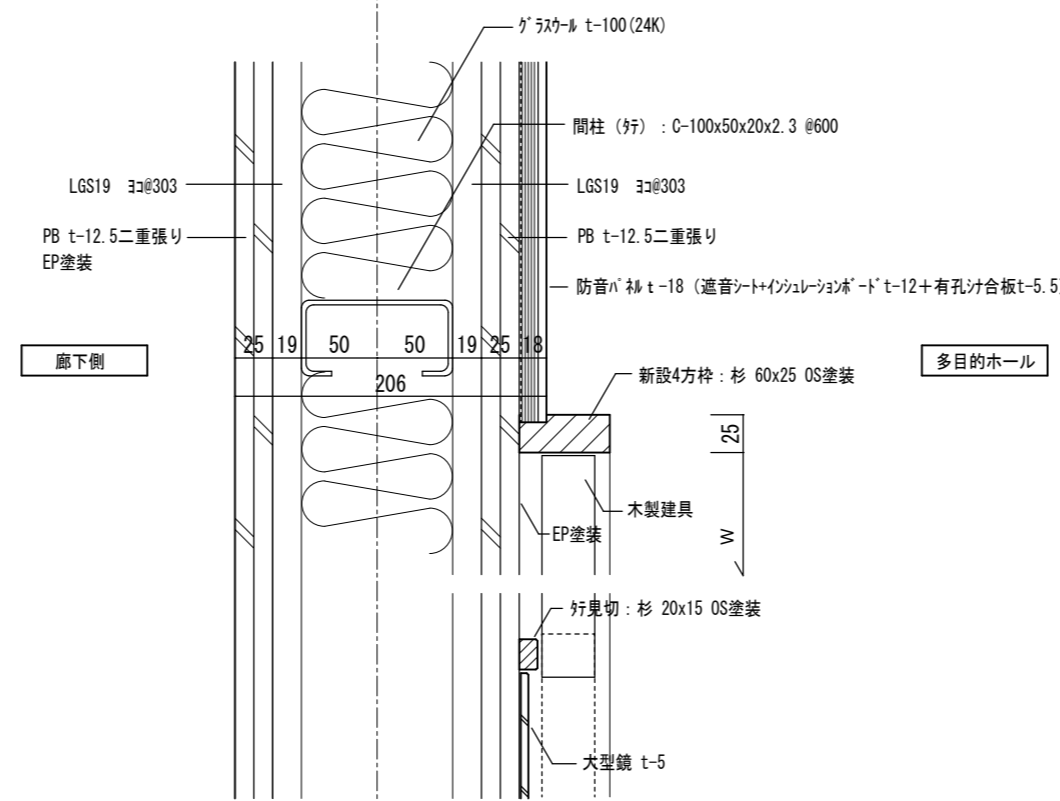
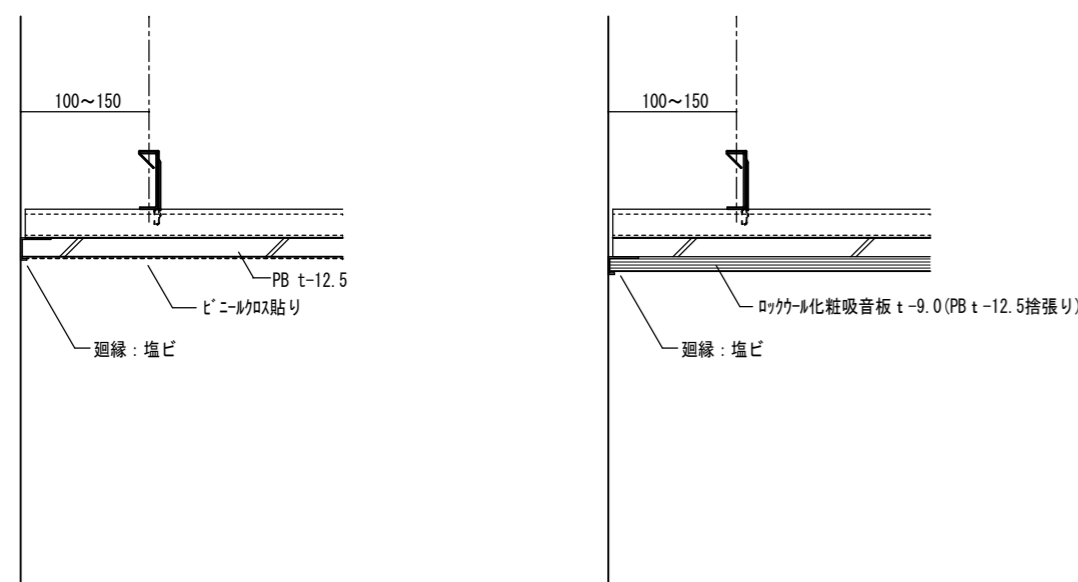
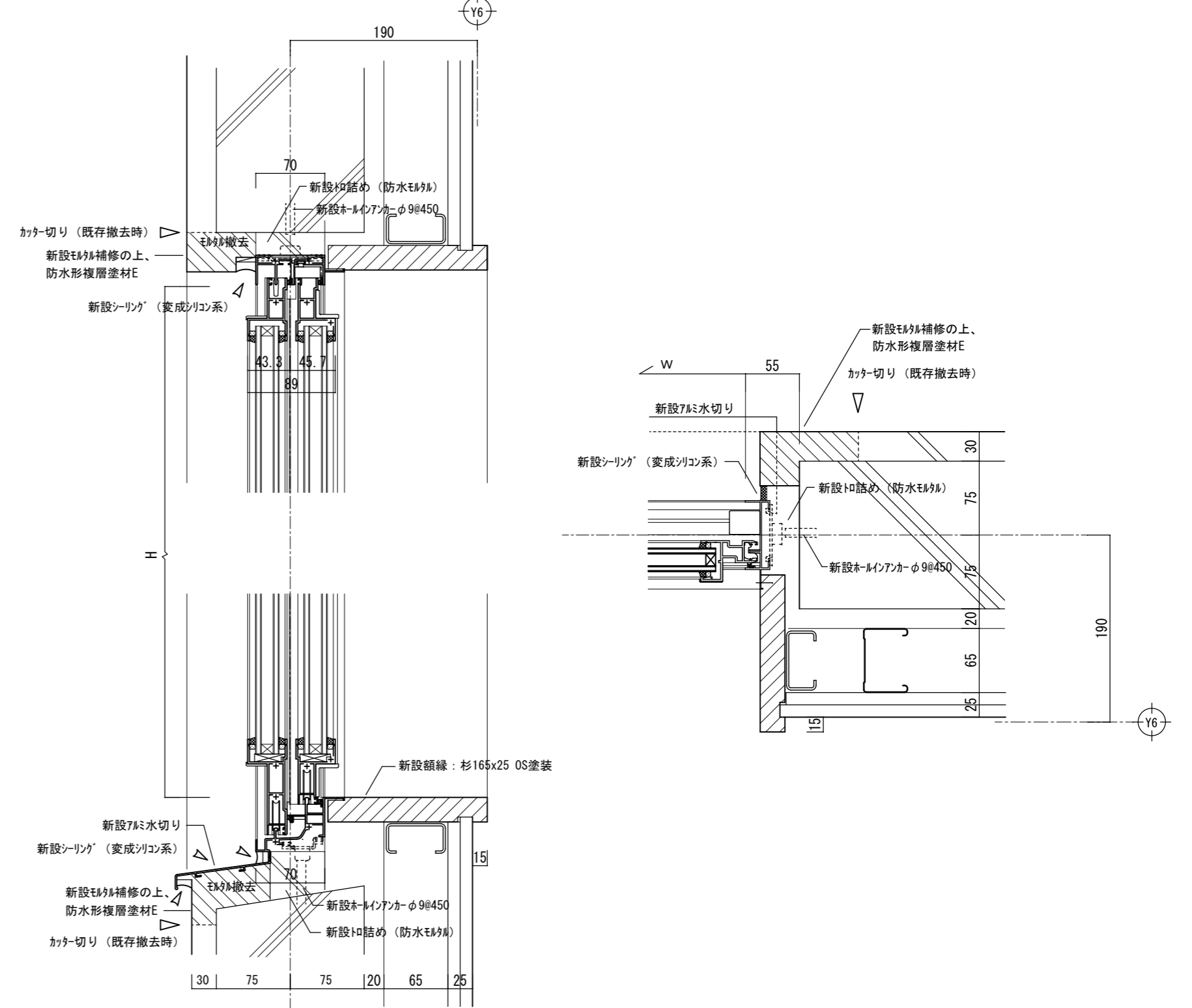
コミュニティショップ



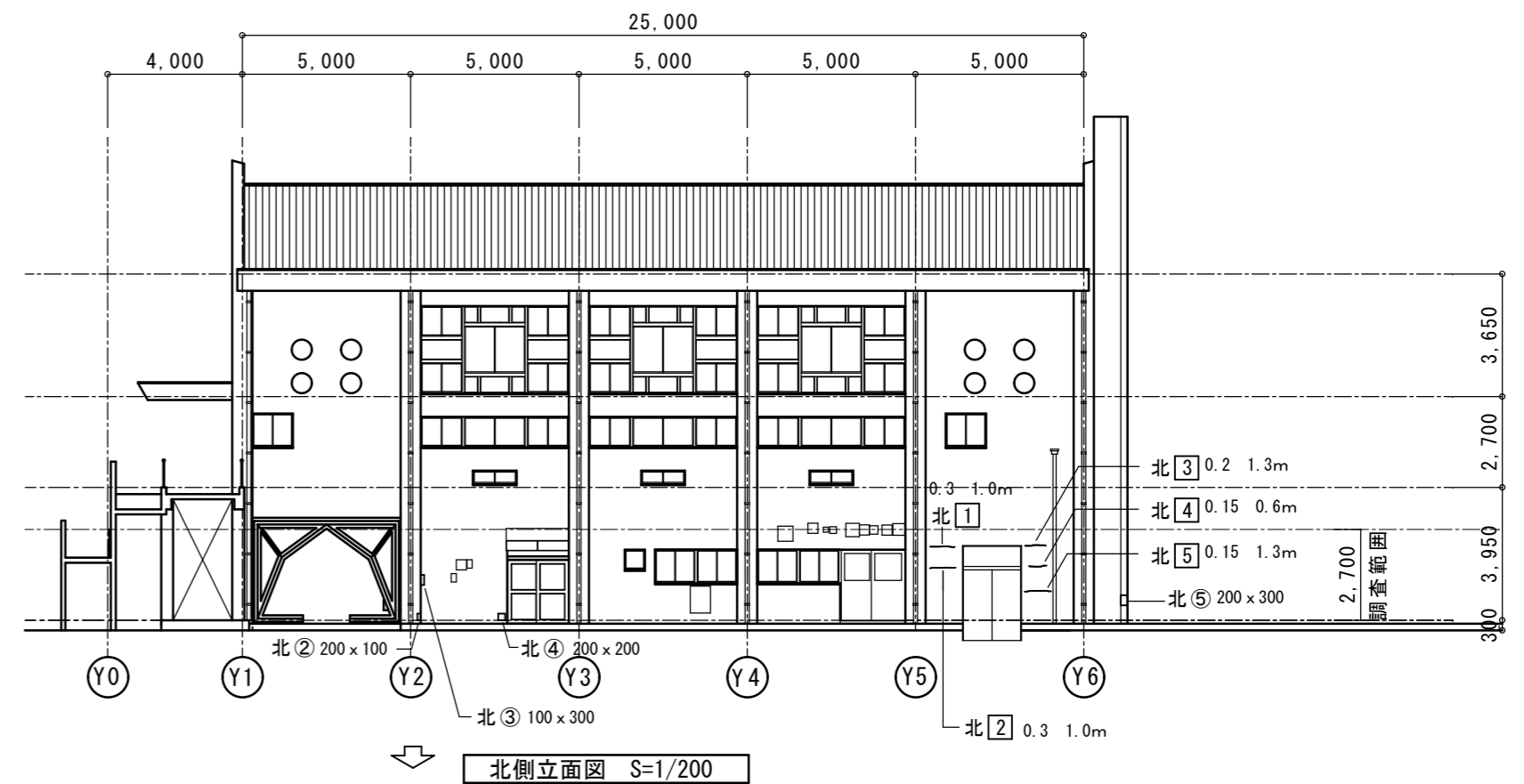
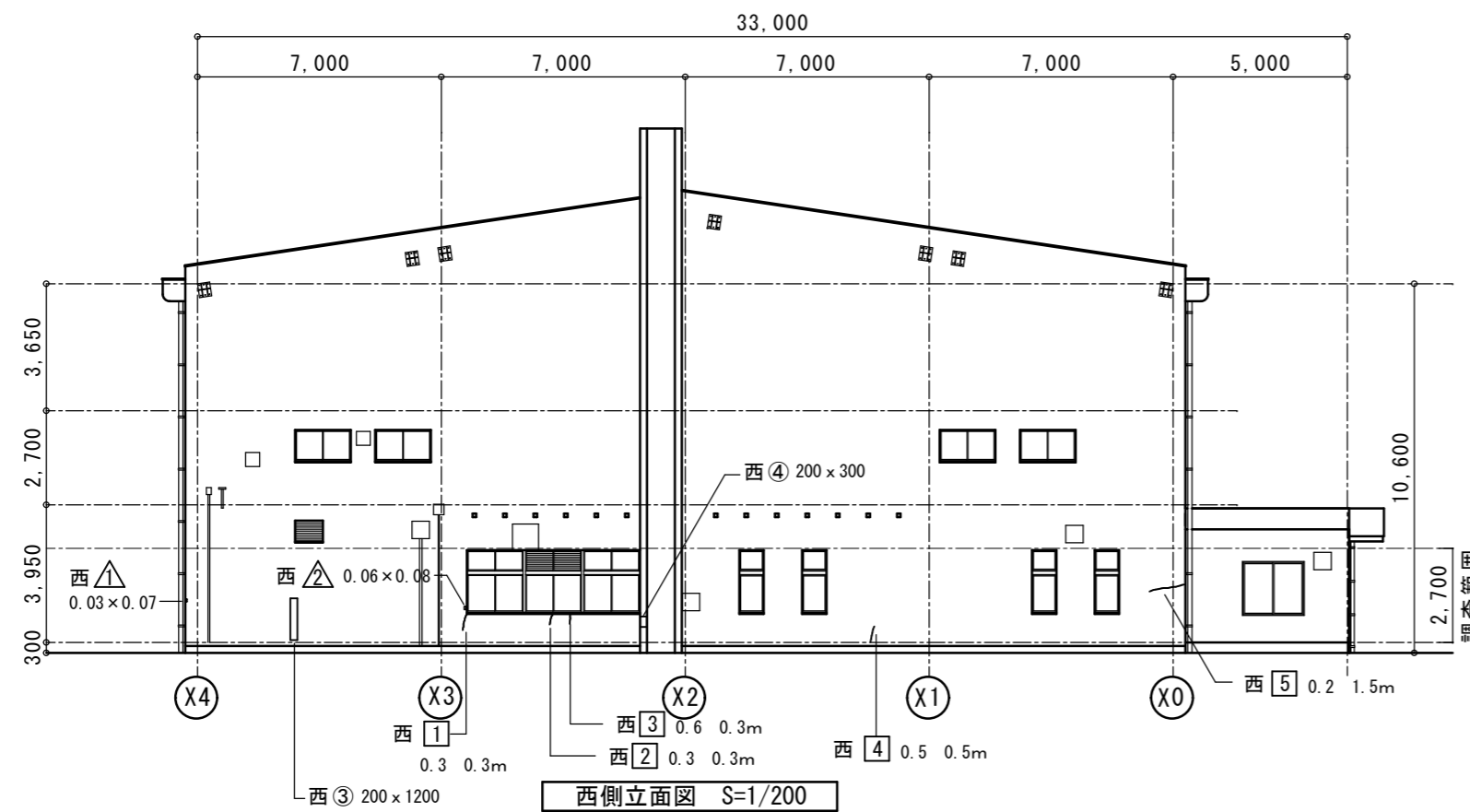
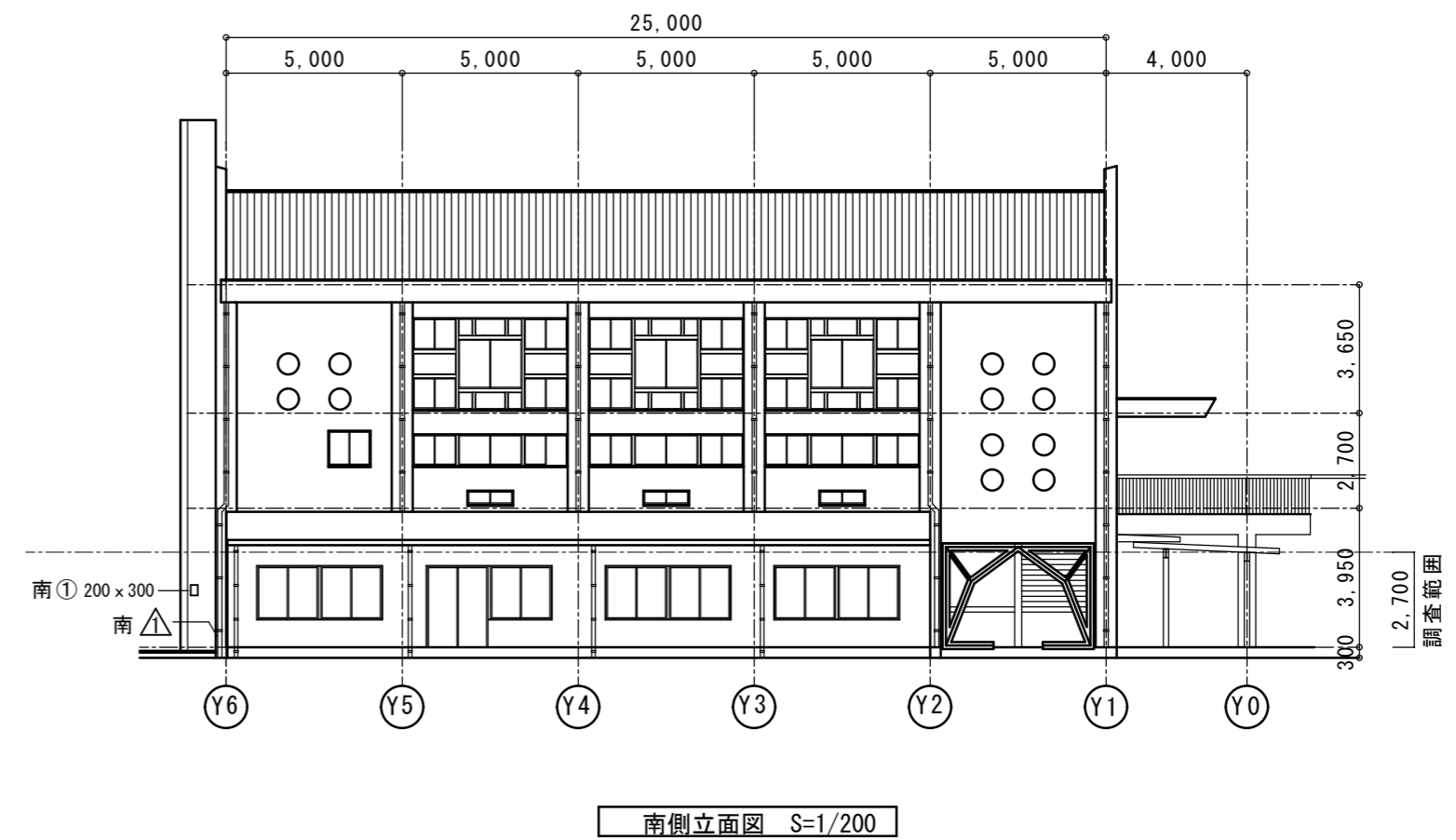
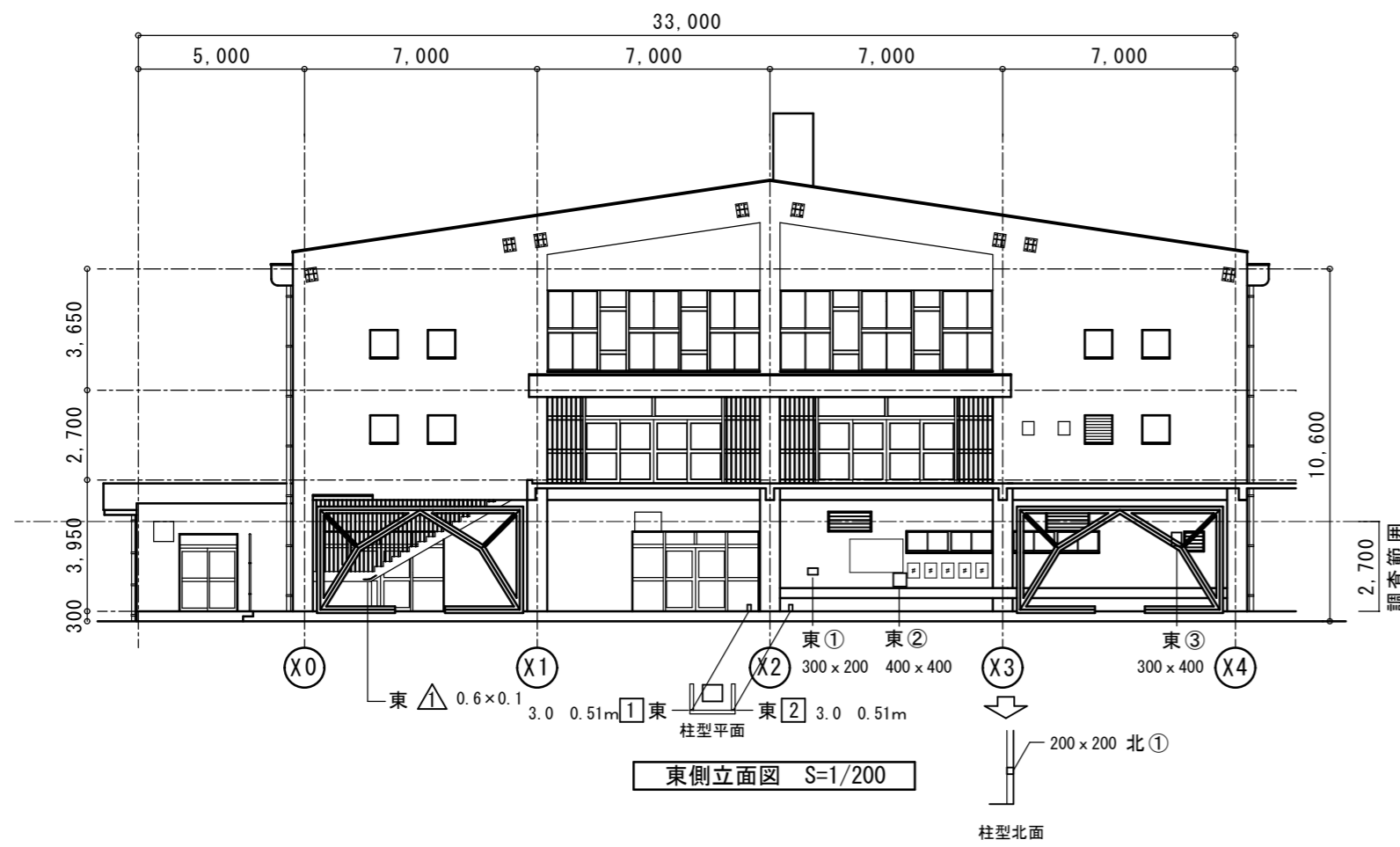
徳島県土整備部営繕課	●工事名	R8 宮緒 国府支援学校 徳・国府 ダイバーシティ棟改修工事建築	●図面番号	B-090	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目43番地 TEL (088) 625-1759 管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号
	●図面名	横引きパイプシャッター詳細図-2 (参考図)	●縮尺	1/5	



【撤去工法】



徳島県県土整備部営繕課	●工事名	R8 営繕 国府支援学校 徳・国府 ダイバーシティ棟改修工事建築	●図面番号	B-091	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目43番地 TEL (088) 625-1759 管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号
	●図面名	改修部分詳細図-1	●縮尺	1/5	



■モルタル浮き 東側

番号	計算式 (m)	面積 (㎡)	備考
①	0.20 × 0.30 =	0.0600	0.0600 狭幅部
②	0.40 × 0.40 =	0.1600	0.1600 0.25m2未満
③	0.40 × 0.30 =	0.1200	0.1200 0.25m2未満

■モルタル浮き 南側

番号	計算式 (m)	面積 (㎡)	備考
①	0.30 × 0.20 =	0.0600	0.0600 狭幅部

■クラック

番号	巾 (mm)	長さ (m)	備考
北			
①	0.30	- 1.80	
②	0.30	- 1.00	
③	0.20	- 1.30	
④	0.15	- 0.60	0.2mm未満
⑤	0.15	- 1.30	0.2mm未満
西			
①	0.30	- 0.30	
②	0.30	- 0.30	
③	0.60	- 0.30	
④	0.50	- 0.50	
⑤	0.20	- 1.50	
東			
①	3.00	- 0.51	
②	3.00	- 0.51	
合計		9.92	

■モルタル浮き 西側

番号	計算式 (m)	面積 (㎡)	備考
①	0.20 × 0.10 =	0.0200	0.0200 狭幅部
②	0.30 × 0.10 =	0.0300	0.0300 狭幅部
③	1.20 × 0.20 =	0.2400	0.2400 狭幅部
④	0.30 × 0.20 =	0.0600	0.0600 狭幅部

■モルタル浮き 北側

番号	計算式 (m)	面積 (㎡)	備考
①	0.20 × 0.20 =	0.0400	0.0400 狭幅部
②	0.20 × 0.10 =	0.0200	0.0200 狭幅部
③	0.30 × 0.10 =	0.0300	0.0300 狭幅部
④	0.20 × 0.20 =	0.0400	0.0400 狭幅部
⑤	0.30 × 0.20 =	0.0600	0.0600 狭幅部

モルタル浮き (0.25㎡未満)

想定数量計算書

場所	想定範囲 (㎡)	面積比率	低減率	計 (箇所)
想定箇所	1,042	4.65	0.9	8.37
面積比率算定				
場所	調査数量 (箇所)	調査面積 (㎡)		
調査箇所	2	224		2.00
合計				10.37

モルタル浮き (換幅部)

想定数量計算書

場所	想定範囲 (㎡)	面積比率	低減率	計 (m)
想定箇所	1,042	4.65	0.9	15.91
面積比率算定				
場所	調査数量 (m)	調査面積 (㎡)		
調査箇所	3.80	224		3.80
合計				19.71

モルタル浮き (0.25㎡以上)

想定数量計算書

場所	想定範囲 (㎡)	面積比率	低減率	計 (㎡)
想定箇所	1,042	4.65	0.9	0
面積比率算定				
場所	調査数量 (㎡)	調査面積 (㎡)		
調査箇所	0	224		0
合計				0

クラック

想定数量計算書

場所	想定範囲 (㎡)	面積比率	低減率	計 (m)
想定箇所	1,042	4.65	0.9	41.53
面積比率算定				
場所	調査数量 (m)	調査面積 (㎡)		
調査箇所	9.92	224		9.92
合計				51.45

凡例

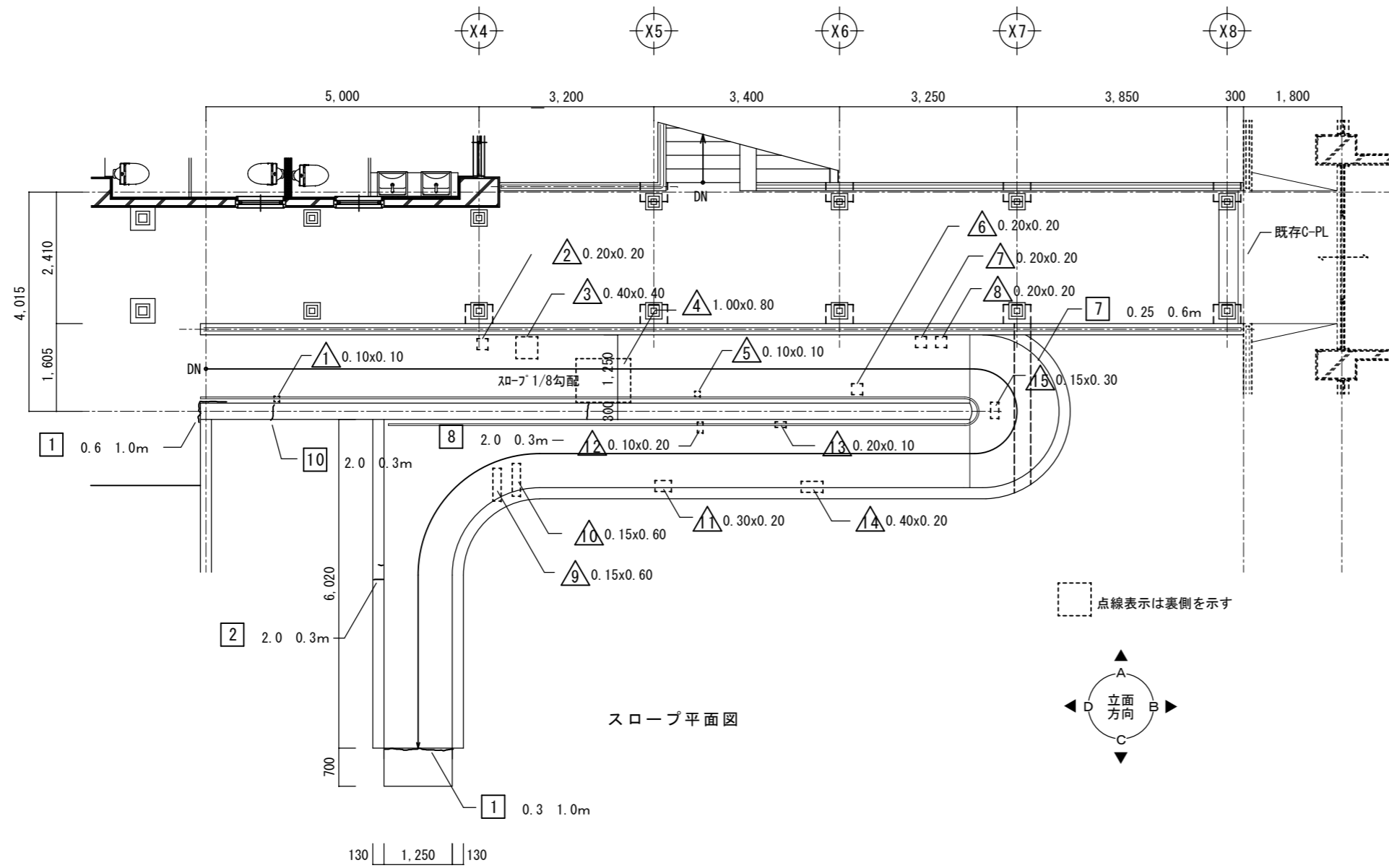
- モルタル浮き ① WxH (mm)
- クラック ① 巾 (mm) 長さ (mm)
- 爆裂 △ 爆裂

爆裂

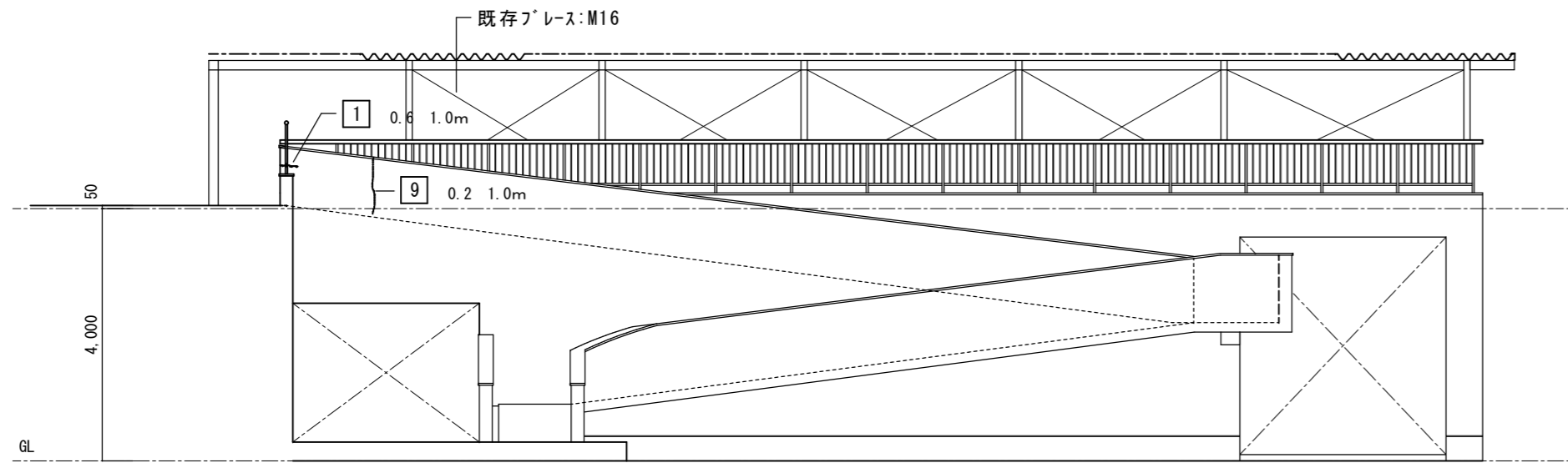
想定数量計算書

場所	想定範囲 (㎡)	面積比率	低減率	計 (箇所)
想定箇所	1,042	4.65	0.9	16.75
面積比率算定				
場所	調査数量 (箇所)	調査面積 (㎡)		
調査箇所	4.00	224		4.00
合計				20.75

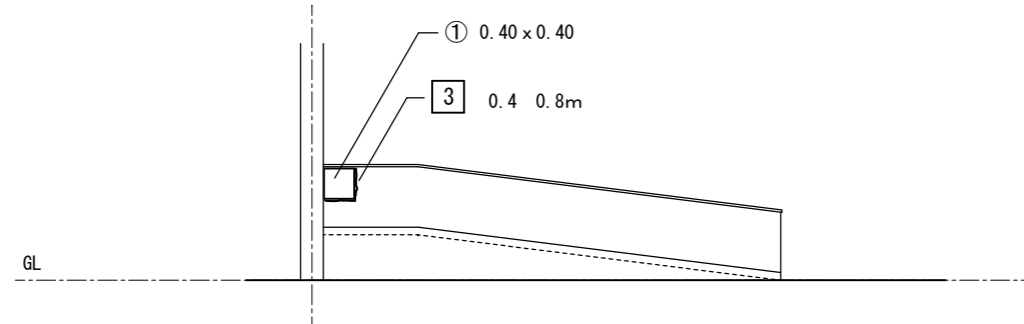
徳島県土木整備部営繕課	●工事名 R8 営繕 国府支援学校 徳・国府 ダイバーシティ棟改修工事建築	●図面番号 B-093	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目43番地 TEL (088) 625-1759
	●図面名 外壁等補修図 (本体)	●縮尺 1/200	管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号



スロープ平面図



A面立面図



B面立面図

■モルタル浮き 外部スロープ				
番号	計算式 (m)	面積 (㎡)	備考	
①	0.50 × 0.50 =	0.2500	0.2500	0.25㎡以上

■クラック			
番号	巾 (mm)	長さ (m)	備考
1	2.00	- 1.50	2.0mm以上
2	2.00	- 0.30	2.0mm以上
3	0.40	- 0.80	
4	0.30	- 0.50	
5	0.30	- 0.80	
6	0.50	- 2.50	
7	0.25	- 0.60	
8	2.00	- 0.15	2.0mm以上
9	0.20	- 1.00	
10	0.20	- 2.00	
11	0.60	- 1.00	
合計		11.15	

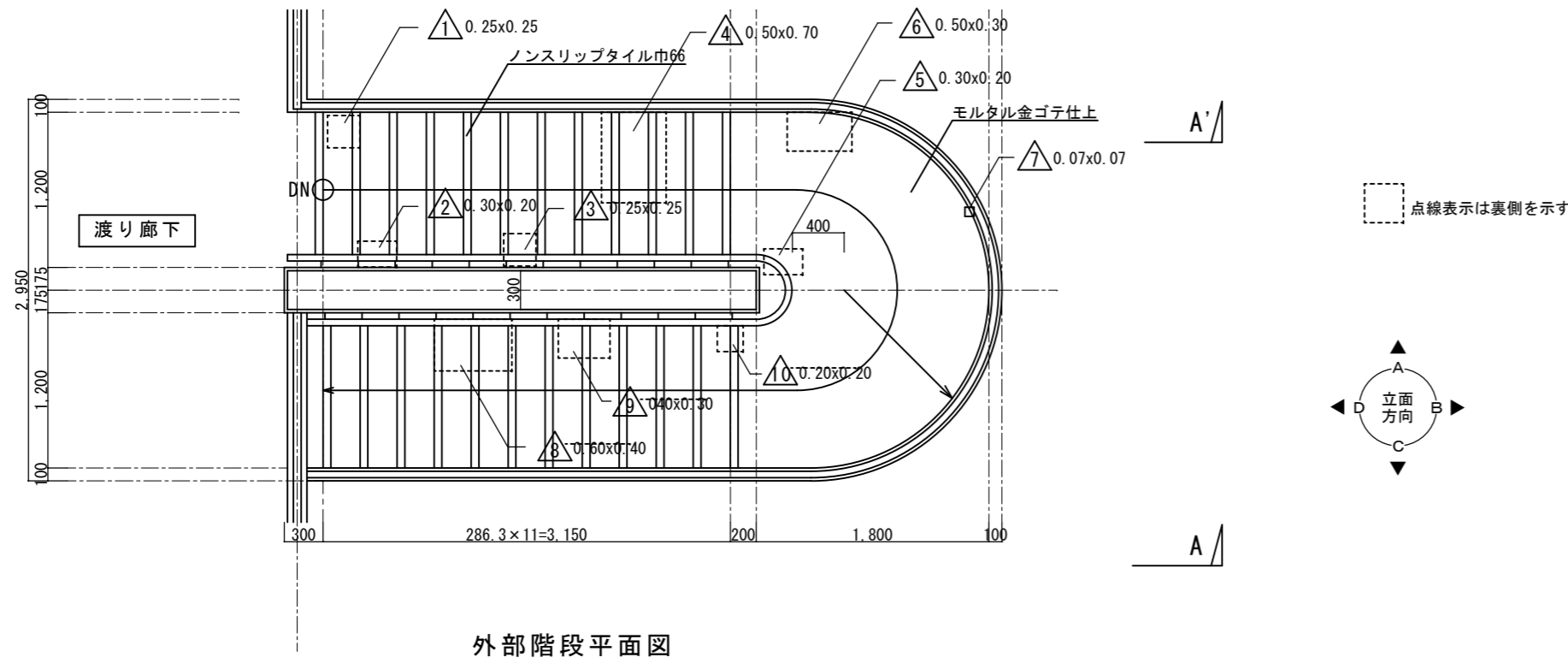
モルタル浮き (0.25㎡以上)				
想定数量計算書				
場所	想定範囲 (㎡)	面積比率	低減率	計 (㎡)
想定箇所	143	1.00	0.9	0.225
面積比率算定				
場所	調査数量 (㎡)	調査面積 (㎡)		
調査箇所	0.25	143		0.250
合計				0.475

クラック				
想定数量計算書				
場所	想定範囲 (㎡)	面積比率	低減率	計 (m)
想定箇所	143	1.00	0.9	10.04
面積比率算定				
場所	調査数量 (m)	調査面積 (㎡)		
調査箇所	11.15	143		11.15
合計				21.19

爆裂				
想定数量計算書				
場所	想定範囲 (㎡)	面積比率	低減率	計 (箇所)
想定箇所	143	1.00	0.9	13.50
面積比率算定				
場所	調査数量 (箇所)	調査面積 (㎡)		
調査箇所	15.00	143		15.00
合計				28.50

凡例

モルタル浮き	①	W×H (mm)
クラック	1	巾 (mm) 長さ (mm)
爆裂	△	爆裂



外部階段平面図

■モルタル浮き 外部階段				
番号	計算式 (m)		面積 (㎡)	備考
1	0.10	× 0.20 =	0.0200	0.0200 狭幅部
2	0.25	× 0.75 =	0.1875	0.1875 0.25m2未満
3	0.15	× 0.10 =	0.0150	0.0150 狭幅部
4	0.15	× 0.10 =	0.0150	0.0150 狭幅部
5	0.15	× 0.15 =	0.0225	0.0225 狭幅部
6	0.175	× 0.175 =	0.0306	0.0306 狭幅部
7	0.20	× 0.175 =	0.0350	0.0350 狭幅部
8	0.20	× 0.07 =	0.0140	0.0140 狭幅部

モルタル浮き (0.25㎡未満)

想定数量計算書				
場所	想定範囲(㎡)	面積比率	低減率	計(箇所)
想定箇所	52	2.36	0.9	2.13
面積比率算定				
場所	調査数量(箇所)	調査面積(㎡)		
調査箇所	1	22		1.00
合計				3.13

■クラック			
番号	巾(mm)	長さ(m)	備考
1	2.00	- 0.40	2.0mm以上
合計		0.40	

モルタル浮き (狭幅部)

想定数量計算書				
場所	想定範囲(㎡)	面積比率	低減率	計(m)
想定箇所	52	2.36	0.9	2.61
面積比率算定				
場所	調査数量(m)	調査面積(㎡)		
調査箇所	1.23	22		1.23
合計				3.83

凡例

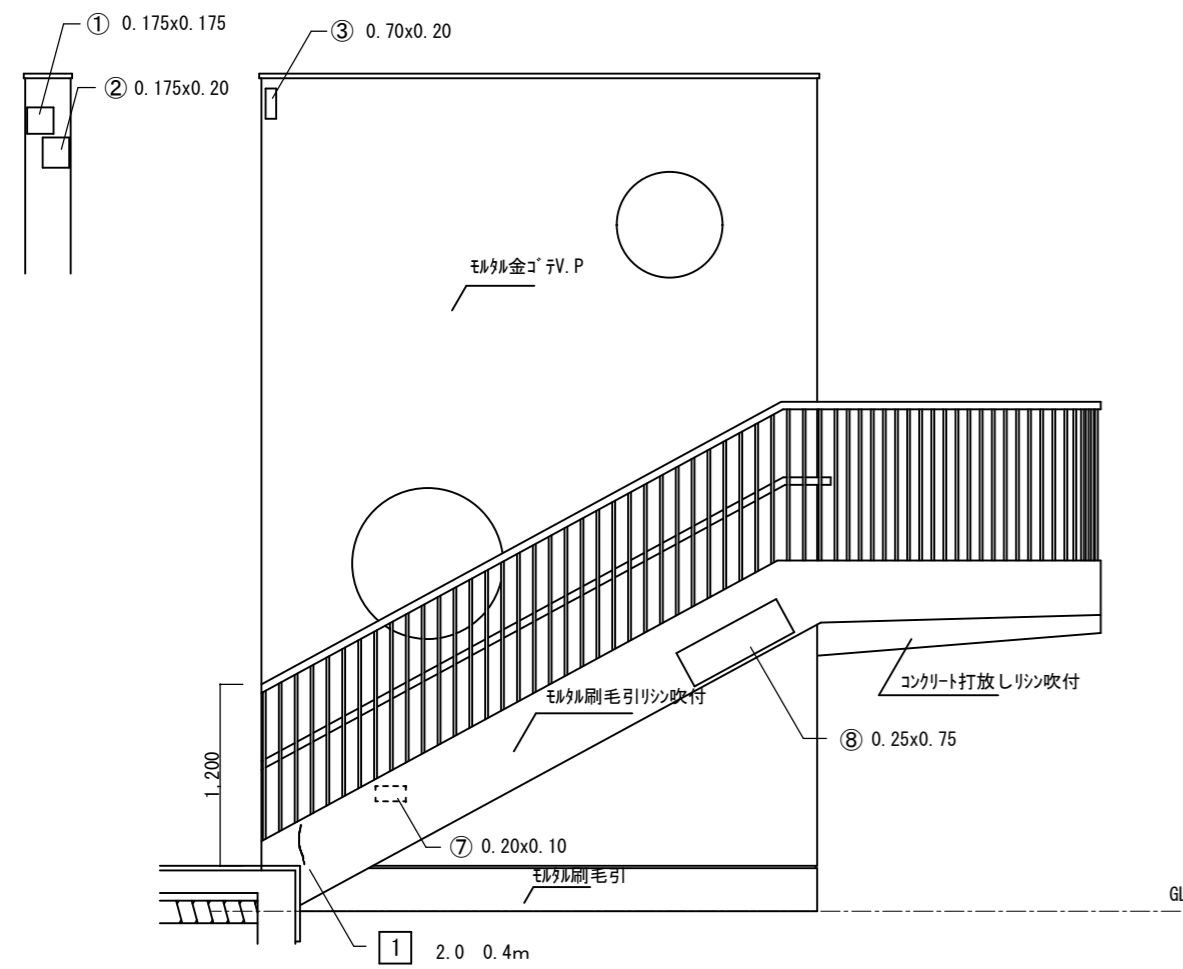
- モルタル浮き ① WxH (mm)
- クラック ① 巾 (mm) 長さ (mm)
- 爆裂 ① 爆裂

クラック

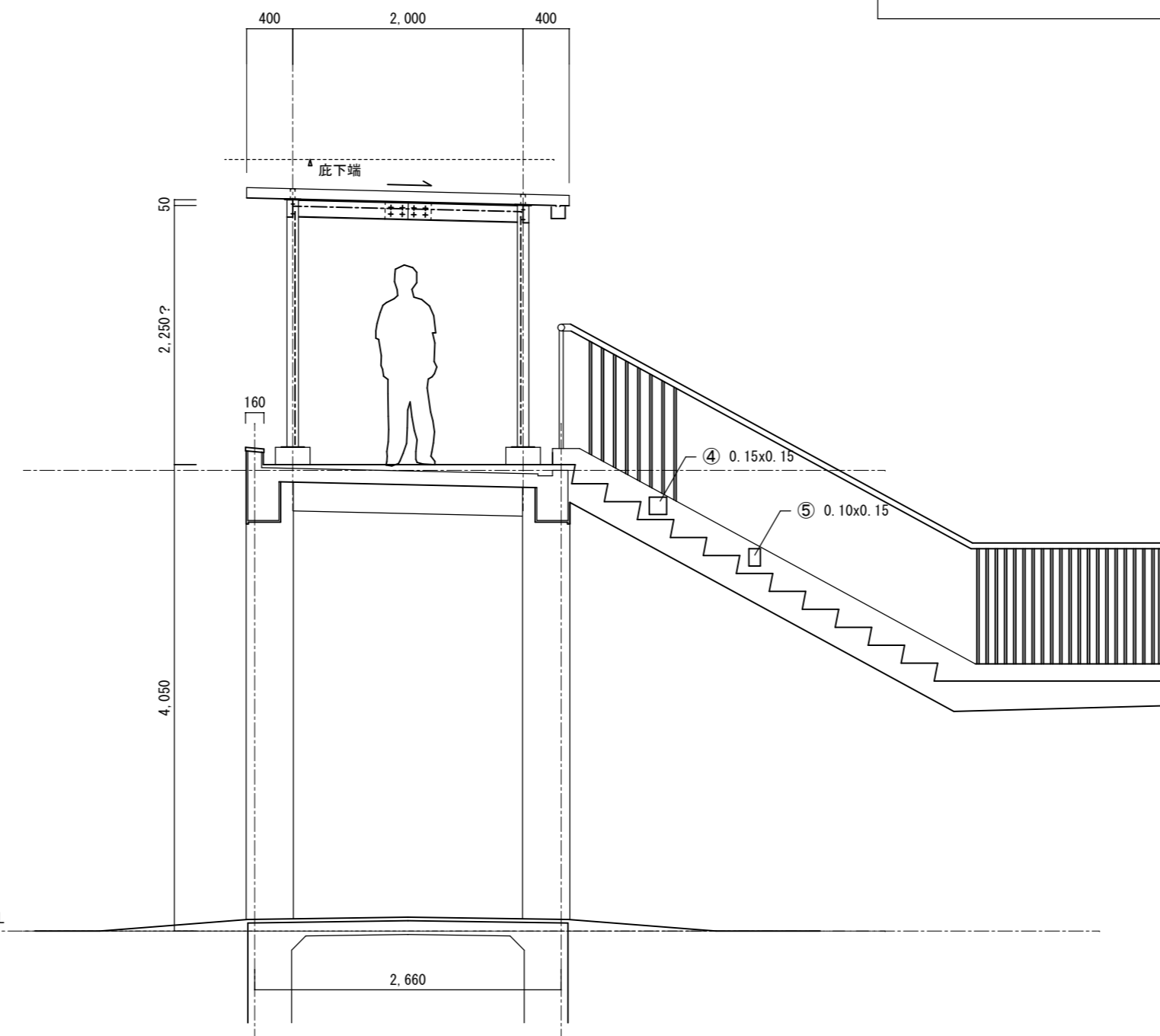
想定数量計算書				
場所	想定範囲(㎡)	面積比率	低減率	計(m)
想定箇所	52	2.36	0.9	0.85
面積比率算定				
場所	調査数量(m)	調査面積(㎡)		
調査箇所	0.40	22		0.40
合計				1.25

爆裂

想定数量計算書				
場所	想定範囲(㎡)	面積比率	低減率	計(箇所)
想定箇所	52	2.36	0.9	12.76
面積比率算定				
場所	調査数量(箇所)	調査面積(㎡)		
調査箇所	6.00	22		6.00
合計				18.76

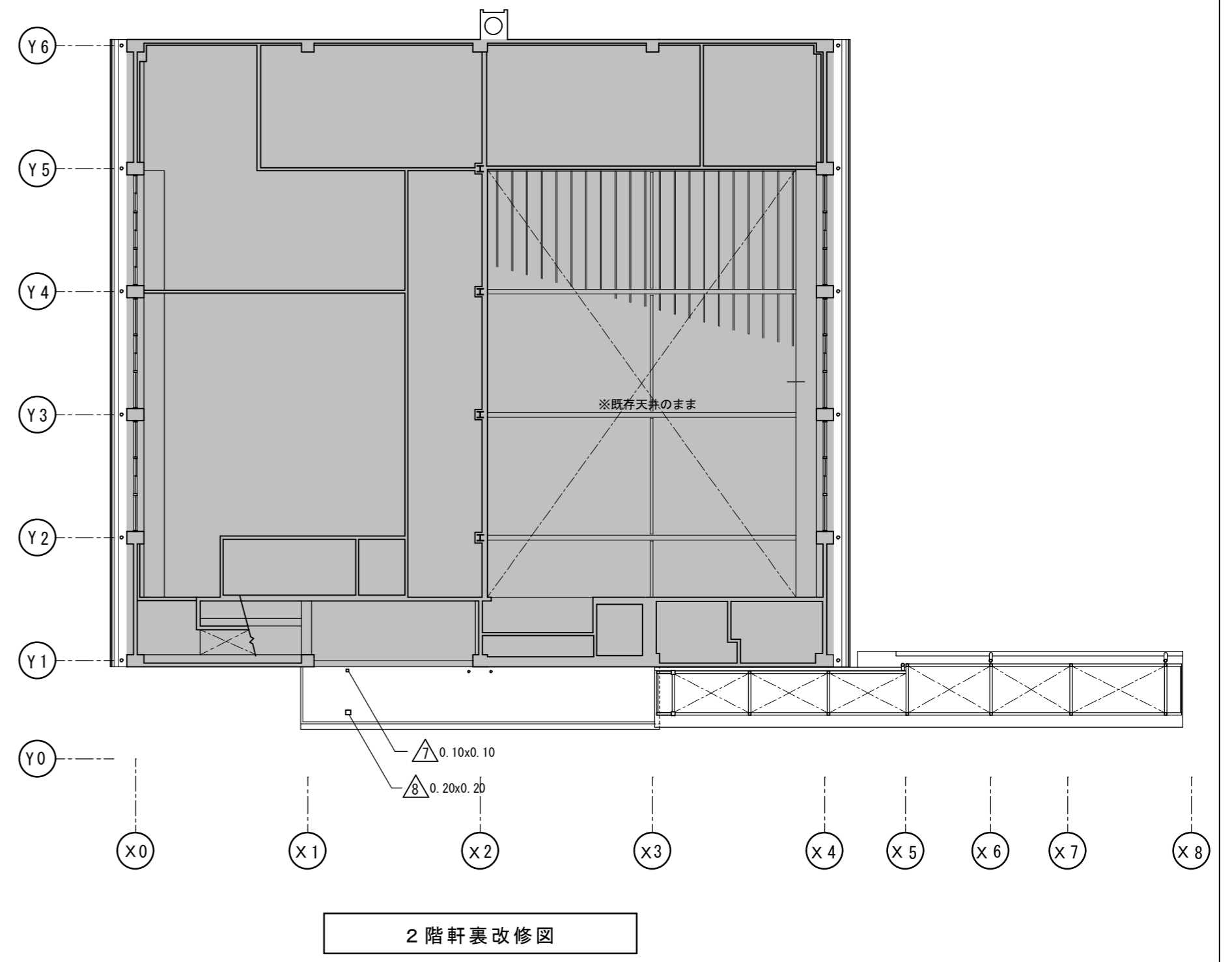
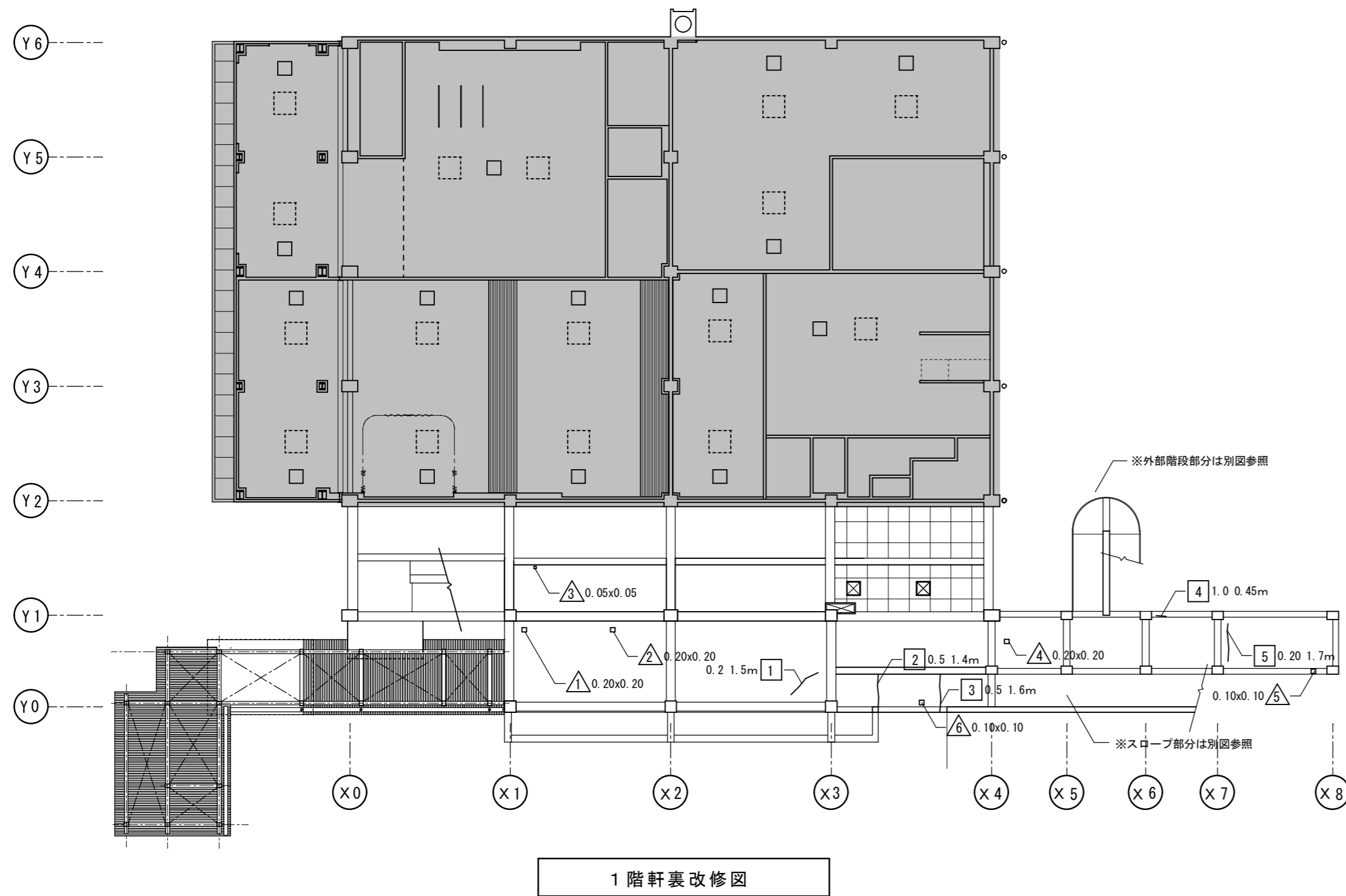


A面 立面図



A'面 断面図

徳島県県土整備部営繕課	●工事名 R 8 営繕 国府支援学校 徳・国府 ダイバーシティ棟改修工事建築	●図面番号 B-095	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目4番地 TEL (088) 625-1759
	●図面名 外壁等補修図 (階段-2)	●縮尺 1/50	管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号

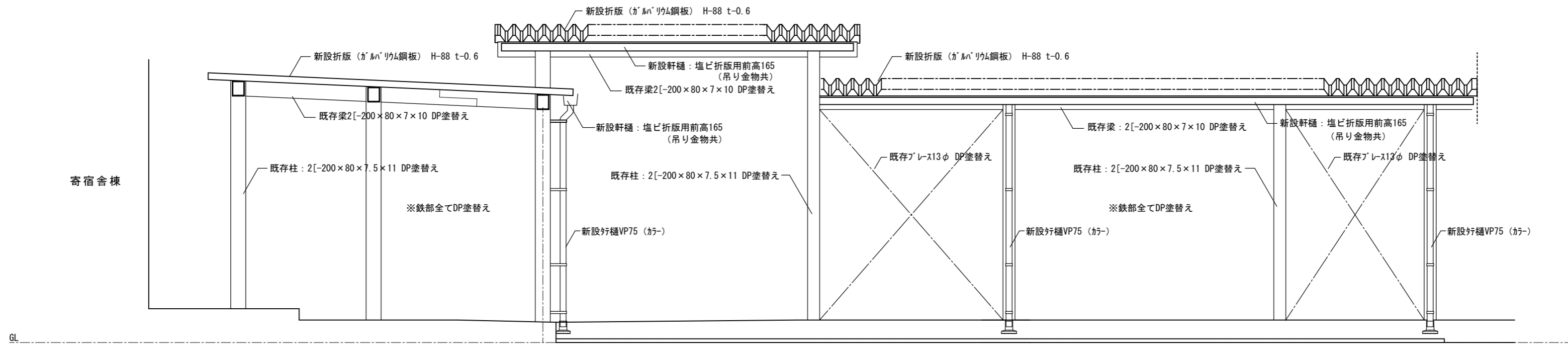


■クラック			
番号	巾 (mm)	長さ (m)	備考
軒裏			
1	0.20	-	1.50
2	0.50	-	1.40
3	0.50	-	1.60
4	1.00	-	0.45
5	0.20	-	1.70
合計			6.65

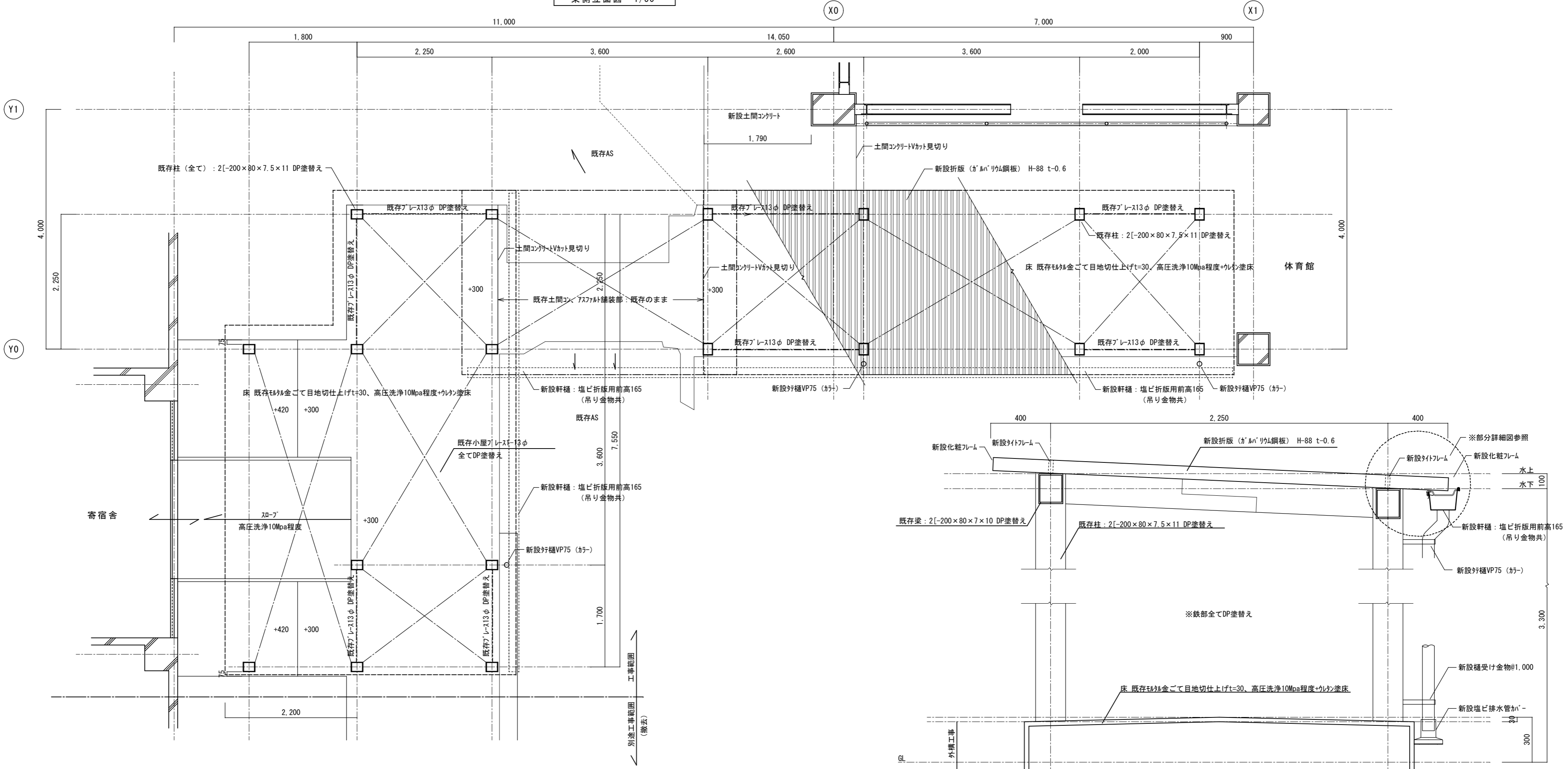
クラック				
想定数量計算書				
場所	想定範囲 (㎡)	面積比率	低減率	計 (m)
想定箇所	498	1.00	0.9	5.99
面積比率算定				
場所	調査数量 (箇所)	調査面積 (㎡)		
調査箇所	6.65	498		6.65
合計				12.64

爆裂				
想定数量計算書				
場所	想定範囲 (㎡)	面積比率	低減率	計 (箇所)
想定箇所	498	1.00	0.9	7.20
面積比率算定				
場所	調査数量 (箇所)	調査面積 (㎡)		
調査箇所	8.00	498		8.00
合計				15.20

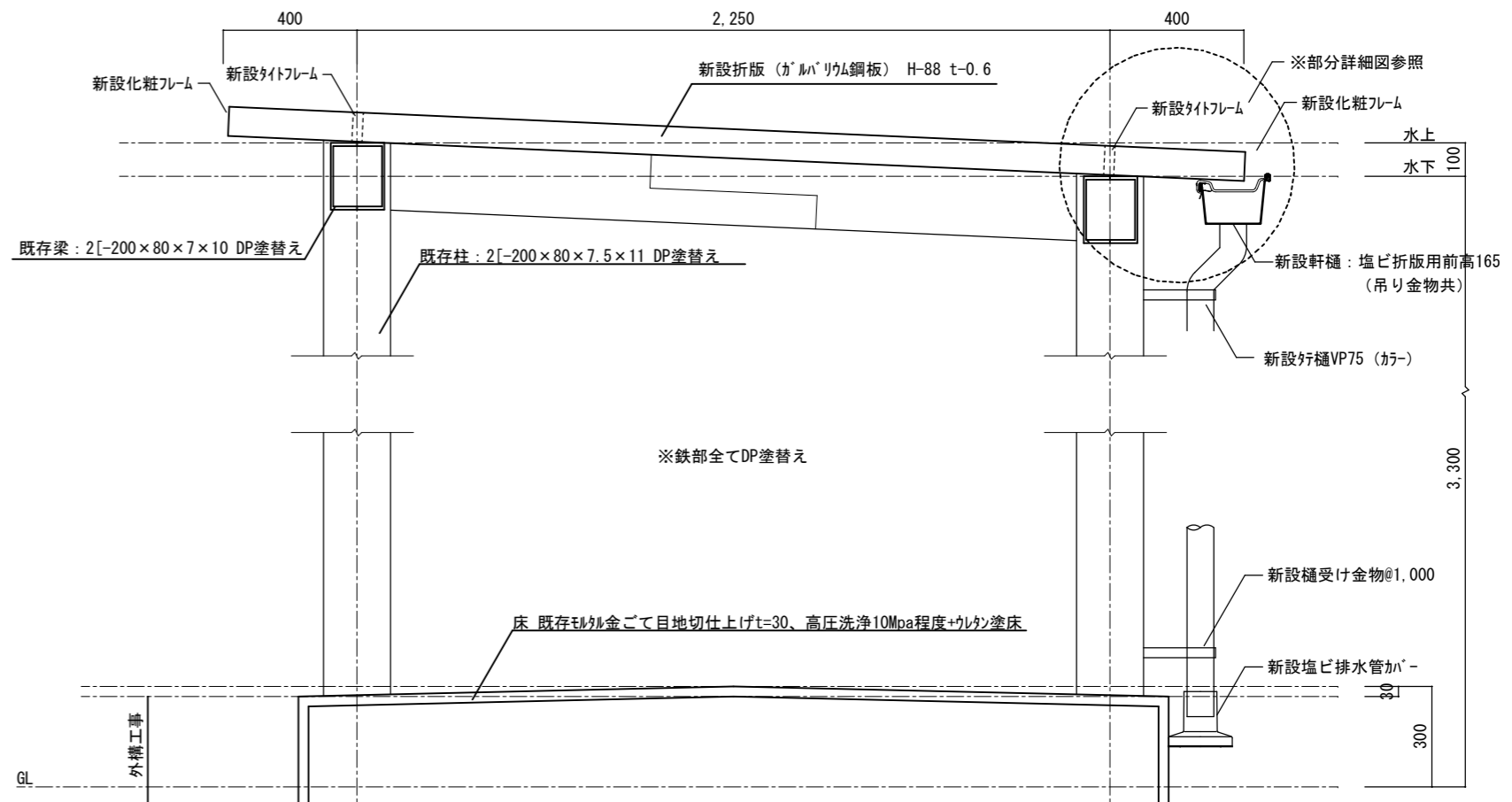
凡例	
凸凹浮き	① WxH (mm)
クラック	1 巾 (mm) 長さ (mm)
爆裂	1 爆裂



東側立面図 1/50

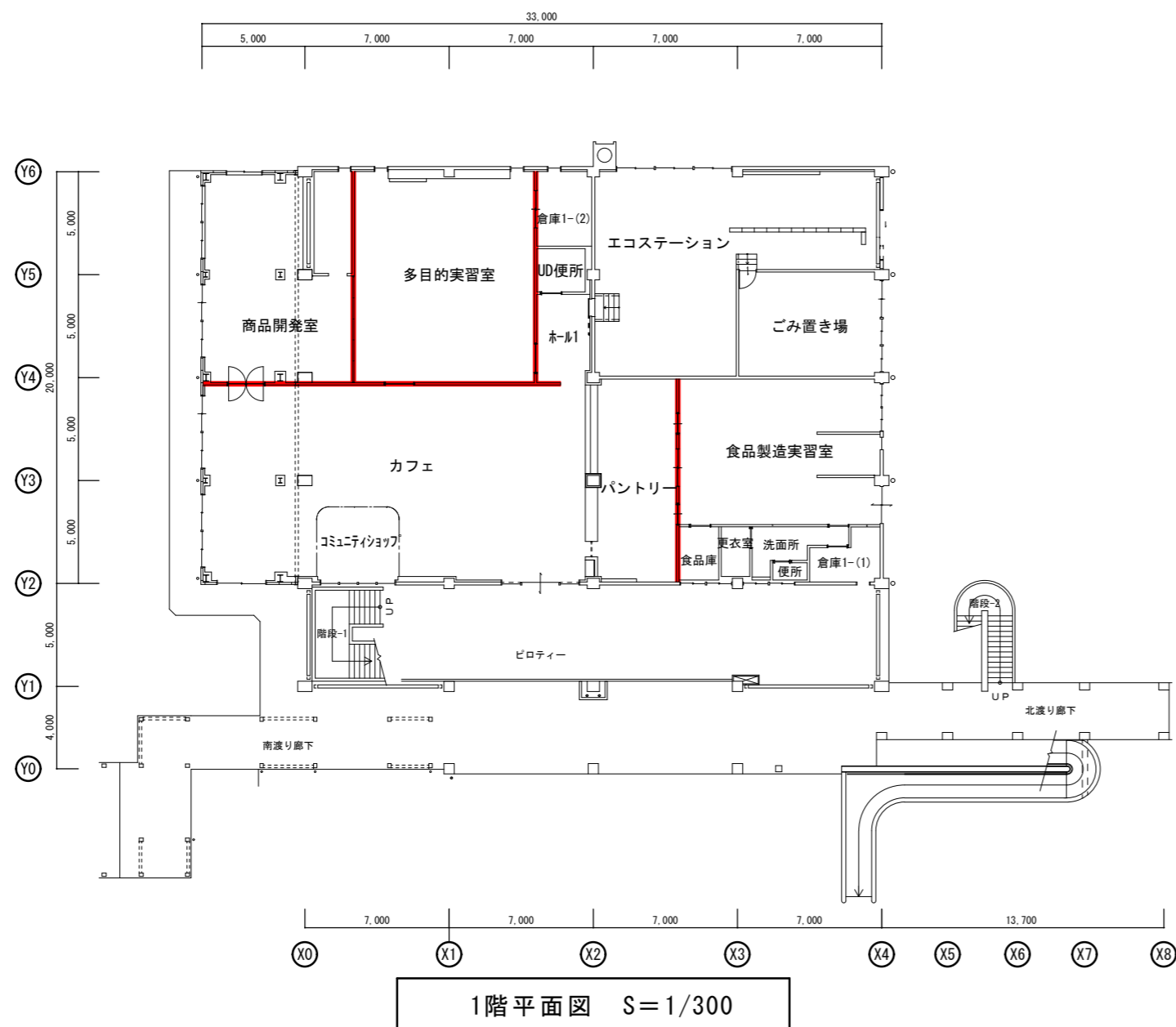
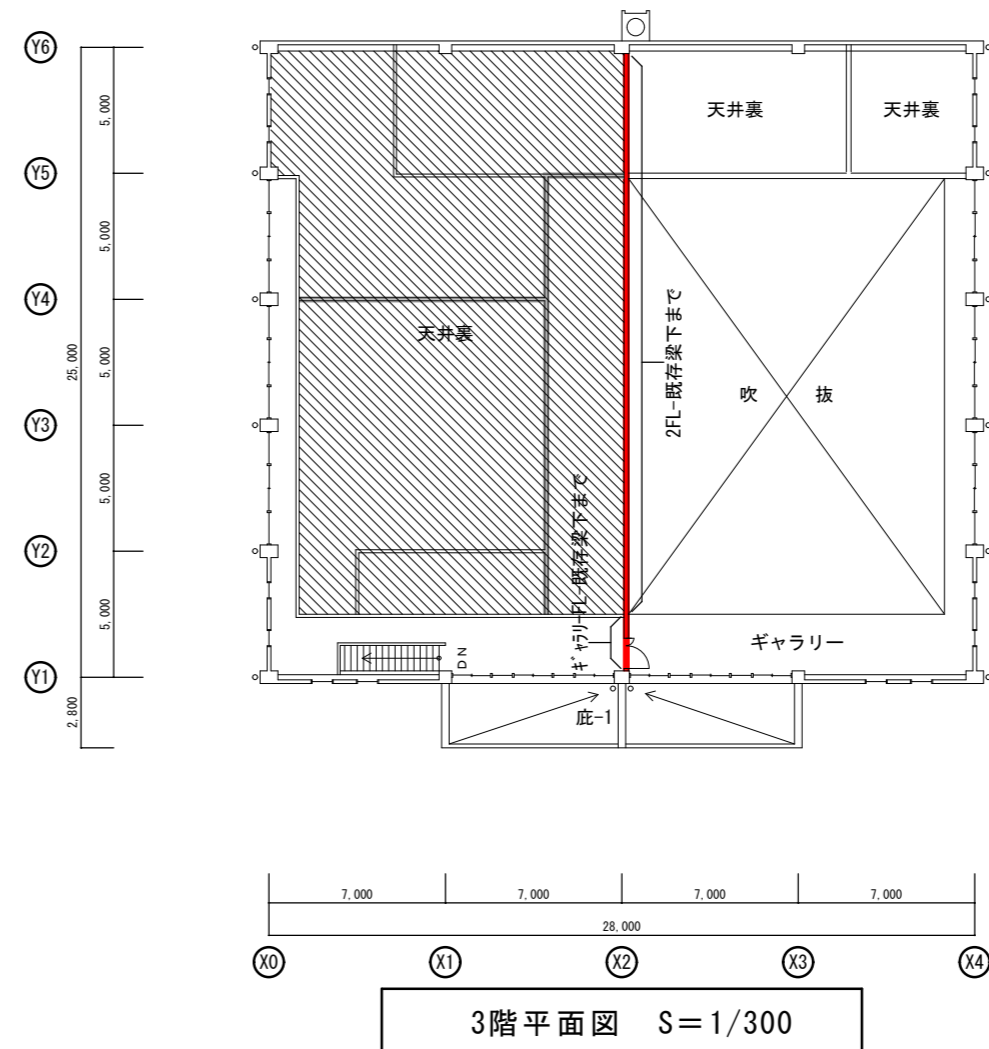
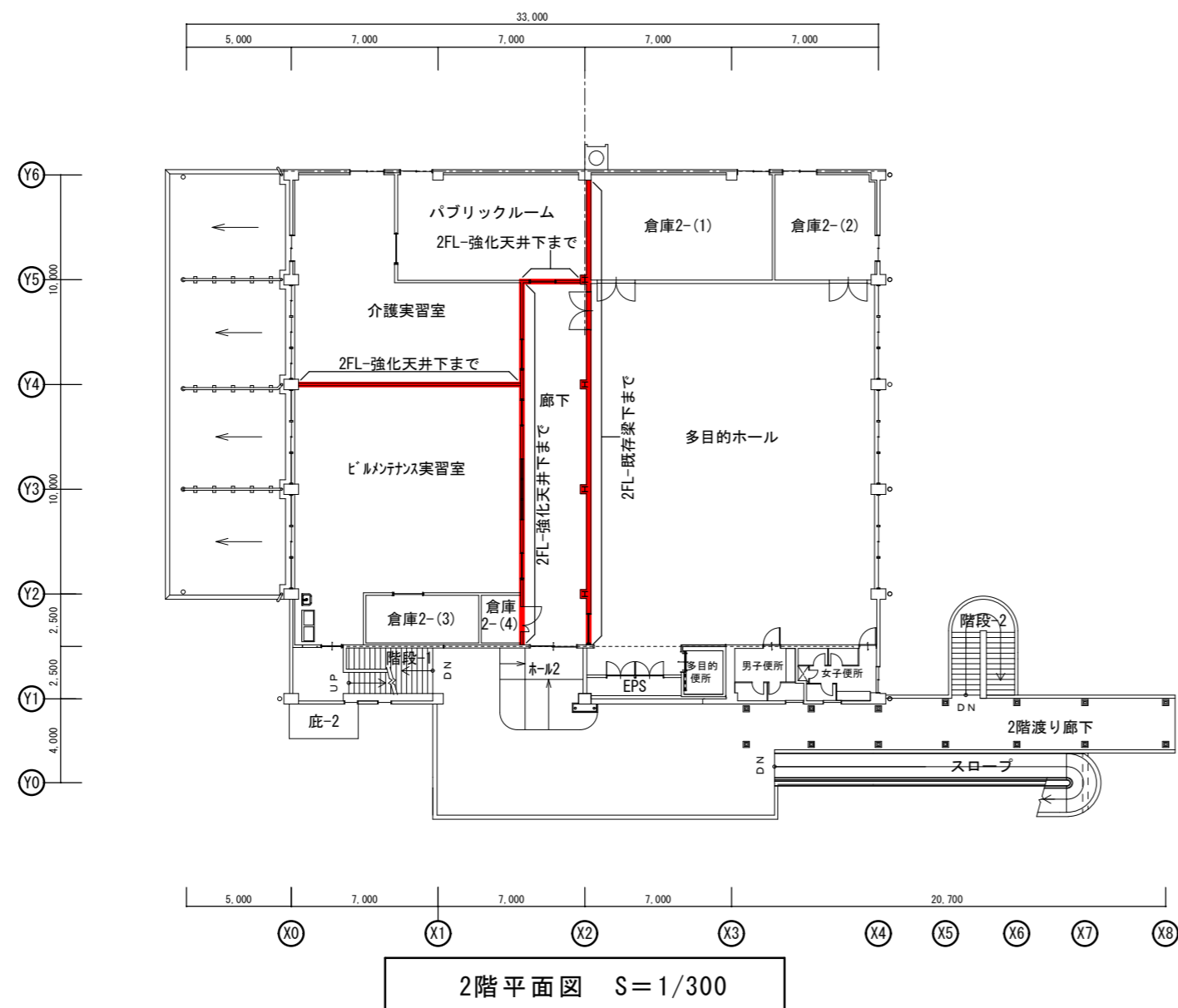


平面詳細図 1/50



断面詳細図 1/20

徳島県土整備部営繕課	●工事名	R8 営繕 国府支援学校 徳・国府 ダイバーシティ棟改修工事建築	●図面番号	B-099	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目43番地 TEL (088) 625-1759 管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号
	●図面名	改修南渡り廊下詳細図	●縮尺	1/50・20	



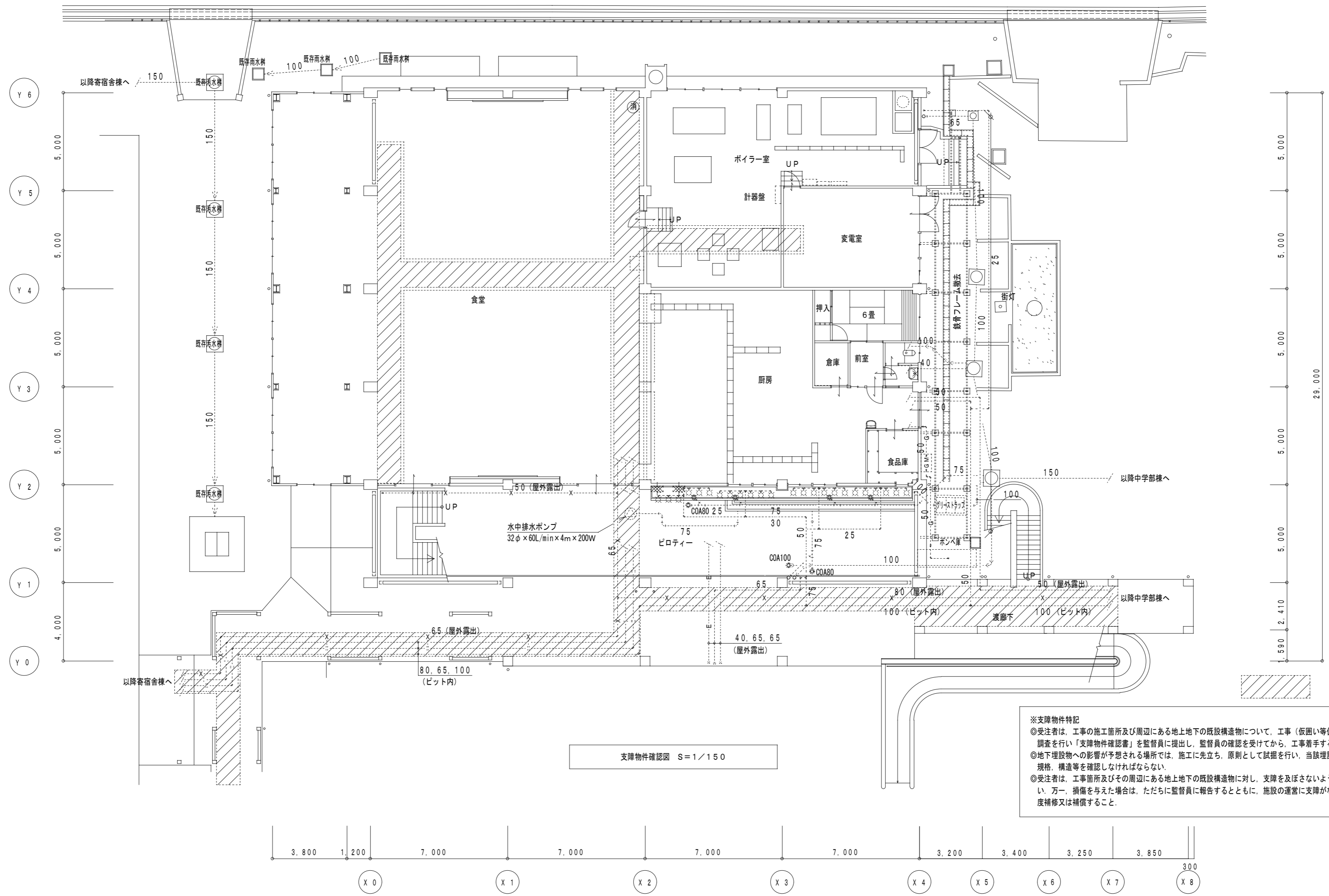
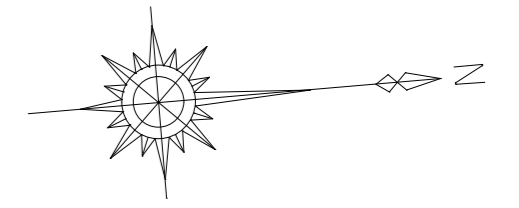
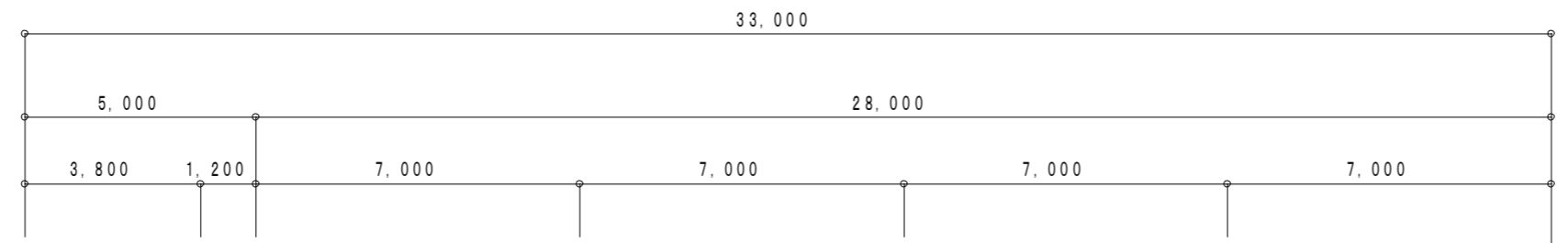
114条区画 凡例

	1時間準耐火構造：PB t-12.5 2重張り(両面)を示す
	強化天井：強化PB t-21+強化PB t-15を示す

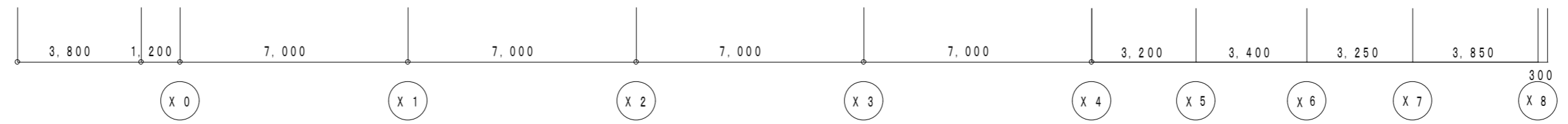
徳島県県土整備部営繕課	●工事名	R8 営繕 国府支援学校 徳・国府 ダイバーシティ棟改修工事建築	●図面番号	B-100	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目4番地 TEL (088) 625-1759 管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号
	●図面名	防火上主要な間仕切壁 位置図	●縮尺	1/300	

概略工事工程表

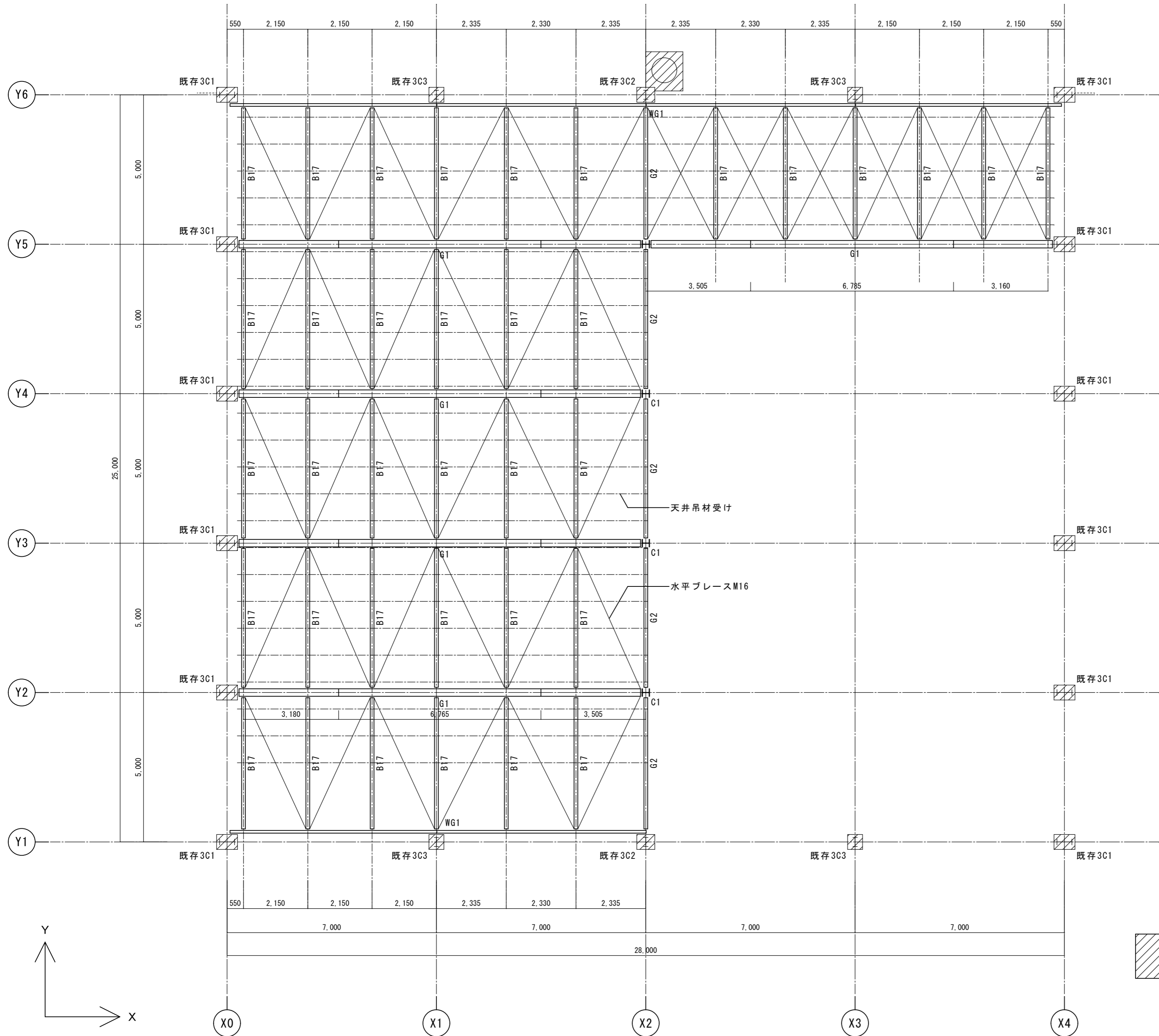
月		1ヶ月目		2ヶ月目		3ヶ月目		4ヶ月目		5ヶ月目		6ヶ月目		7ヶ月目		8ヶ月目		9ヶ月目		10ヶ月目		11ヶ月目		12ヶ月目		
		1	15	31	1	15	31	1	15	31	1	15	31	1	15	31	1	15	31	1	15	31	1	15	31	1
工事項目	外部	準備期間	準備期間		支障物件調査																					
		仮設工事	仮囲い・現場事務所		外部足場組立		外部足場(6ヶ月)								南足場解体		外部足場解体									
		防水改修工事			大屋根防水		大屋根軒樋塗膜防水						陸屋根防水撤去		陸屋根下地調整・防水工事		2階軒等塗膜防水									
		屋根改修工事 (渡り廊下)	折版撤去				施工図		工場製作		搬入・取付等		鉄骨塗替え等		屋根工事		樋取付									
		外壁改修工事	外壁調査		施工図検討		外壁補修																			
		外壁ALC撤去 (南)	外壁ALC撤去				外壁ALC新設 (南)		下地調整		外壁吹付等		樋取付													
		建具改修工事	施工図		工場製作(2か月)		外部建具取付																			
		検査・手直し															【外壁改修】 中間検査		手直し							
		電気設備工事 (別途工事)	準備期間		配管・配線		機器取外し				準備期間		配管・配線		機器取付											
		機械設備工事 (別途工事)	準備期間		配管・配線		機器取外し				準備期間		配管・配線		機器取付											
内部	内部	鉄骨改修工事	施工図		工場製作		搬入・取付等		検査																	
		建具改修工事	内部建具撤去		施工図		工場製作		1階内部建具取付		検査		2階内部建具取付		検査											
		内装改修工事	内部撤去		1階内部下地		1階内部仕上						2階内部下地		2階内部仕上											
		塗装改修工事															塗装									
		家具工事	家具撤去												製作期間		家具据付									
		電気設備工事 (別途工事)	準備期間		配管・配線		機器取外し				準備期間		配管・配線		機器取付											
		機械設備工事 (別途工事)	準備期間		配管・配線		機器取外し				準備期間		配管・配線		機器取付											
		検査・手直し	VOC検査																		VOC検査		竣工検査			



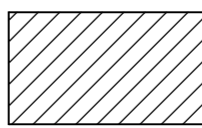
※支障物件特記
 ◎受注者は、工事の施工箇所及び周辺にある地上地下の既設構造物について、工事（仮囲い等仮設材設置を含む）着手までに調査を行い「支障物件確認書」を監督員に提出し、監督員の確認を受けてから、工事着手すること。
 ◎地下埋設物への影響が予想される場所では、施工に先立ち、原則として試掘を行い、当該埋設物の種類、位置（平面・深さ）規格、構造等を確認しなければならない。
 ◎受注者は、工事箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物に対し、支障を及ぼさないような措置を施さなければならない。万一、損傷を与えた場合は、ただちに監督員に報告するとともに、施設の運営に支障がないよう受注者の負担でその都度補修又は補償すること。



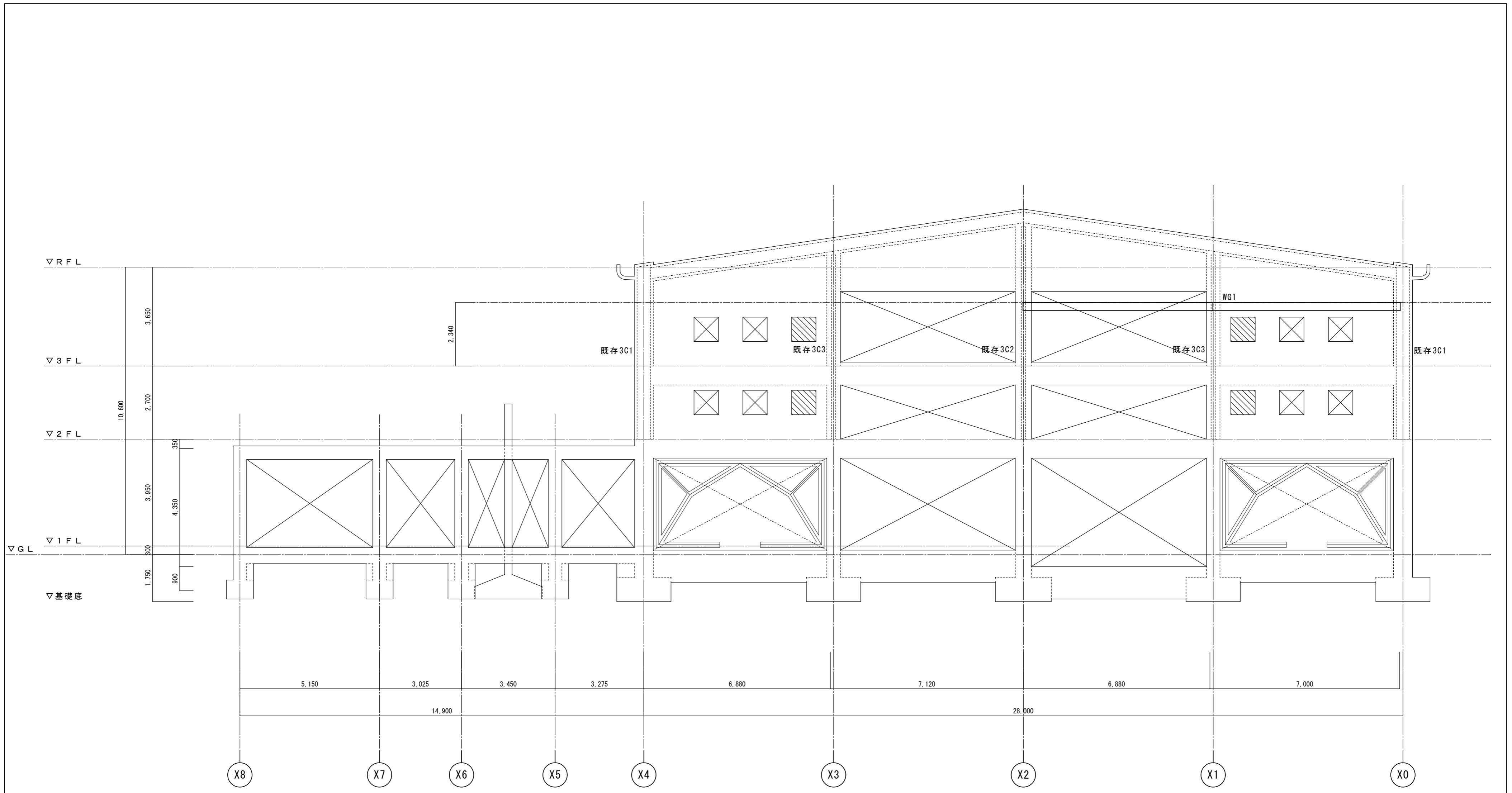
徳島県土整備部営繕課	●工事名	R8営繕 国府支援学校 徳・国府 ダイバーシティ棟改修工事建築	●図面番号	B-102	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目43番地 TEL (088) 625-1759 管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号
	●図面名	支障物件確認図	●縮尺	1/150	



部材リスト	
G 1	H-340×250×9×14
G 2	H-250×125×6×9
WG 1	[-300×90×9×13
WG 2	H-125×125×6.5×9 (ヨコ)
B 1 7	H-175×90×5×8
C 1	H-250×250×9×14
P 1	□-100×100×3.2
縦胴縁	C-100×50×20×2.3@600
吊材受け	C-100×50×20×3.2@900
水平ブレース	M20 (建築用ターンバックル筋違)
鋼材	SS400 STKR400 SSC400
	高力ボルト S10T

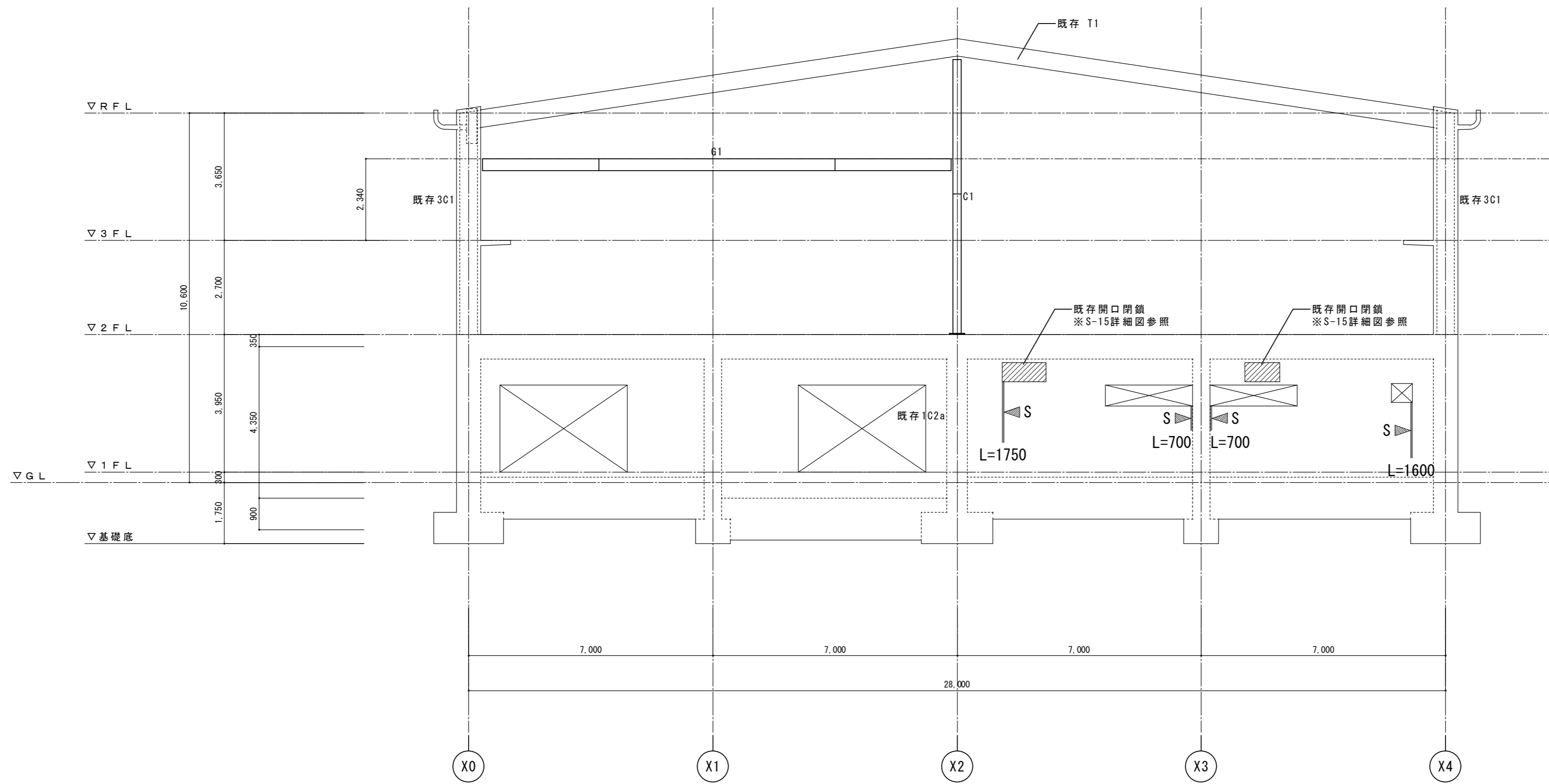
 既存鉛直部材を示す

天井受け梁図 1/100



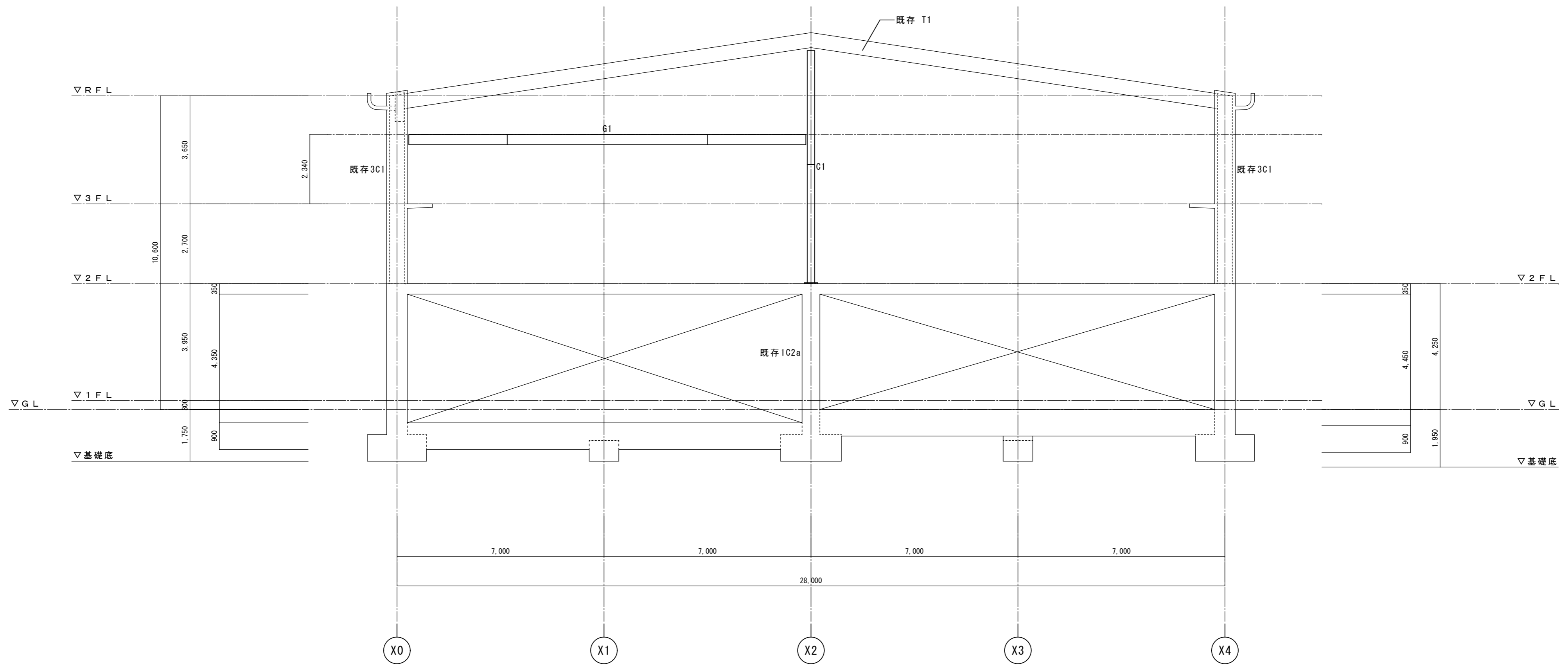
Y1通軸組図 1/100

	徳島県土整備部営繕課	●工事名 R8営繕 国府支援学校 徳・国府 ダイバーシティ棟改修工事建築 ●図面名 新設天井受け鉄骨 Y1通軸組図	●図面番号 S-02 ●縮尺 1/100	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目43番地 TEL (088) 625-1759 管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号
--	------------	---	-------------------------	---



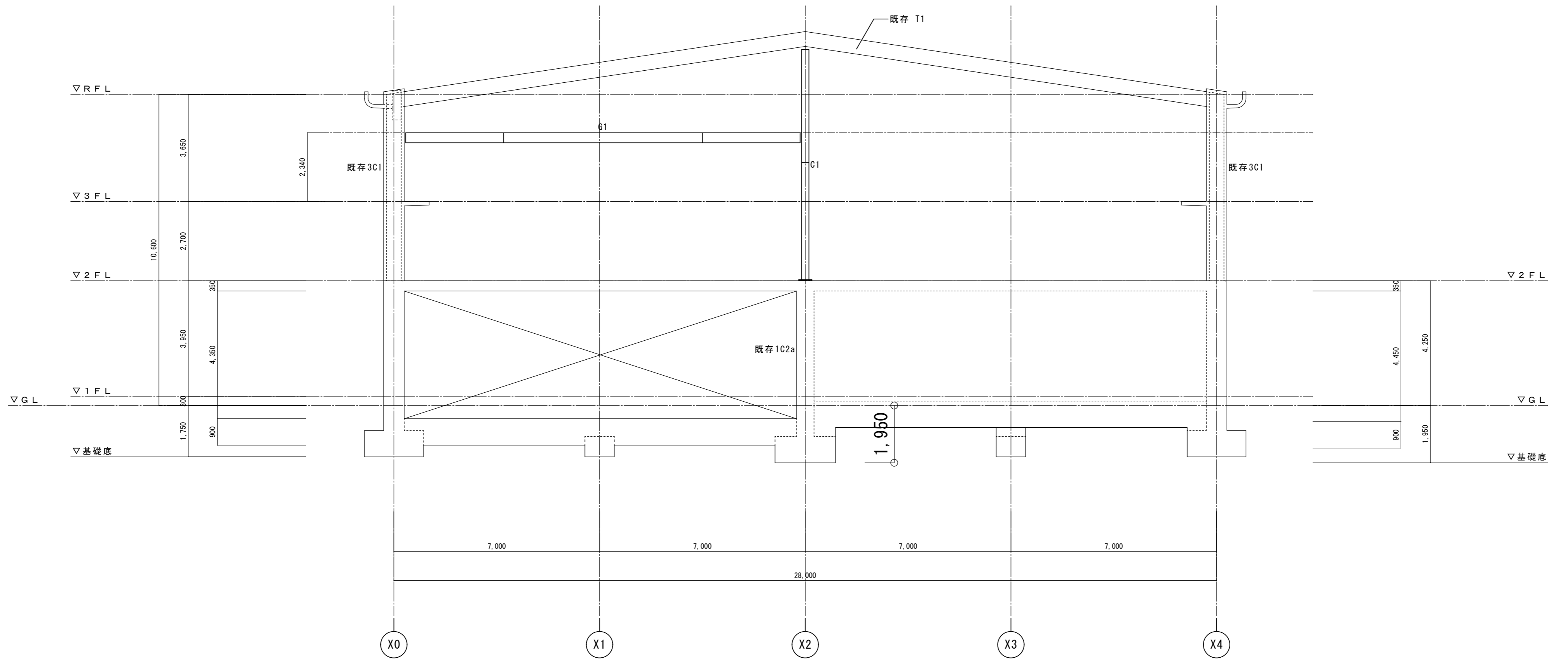
Y2通軸組図 1/100

	徳島県土整備部営繕課	●工事名 R8 営繕 国府支援学校 徳・国府 ダイバーシティ棟改修工事建築	●図面番号 S-03	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目4番地 TEL (088) 625-1759
		●図面名 新設天井受け鉄骨 Y2通軸組図	●縮尺 1/100	管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号



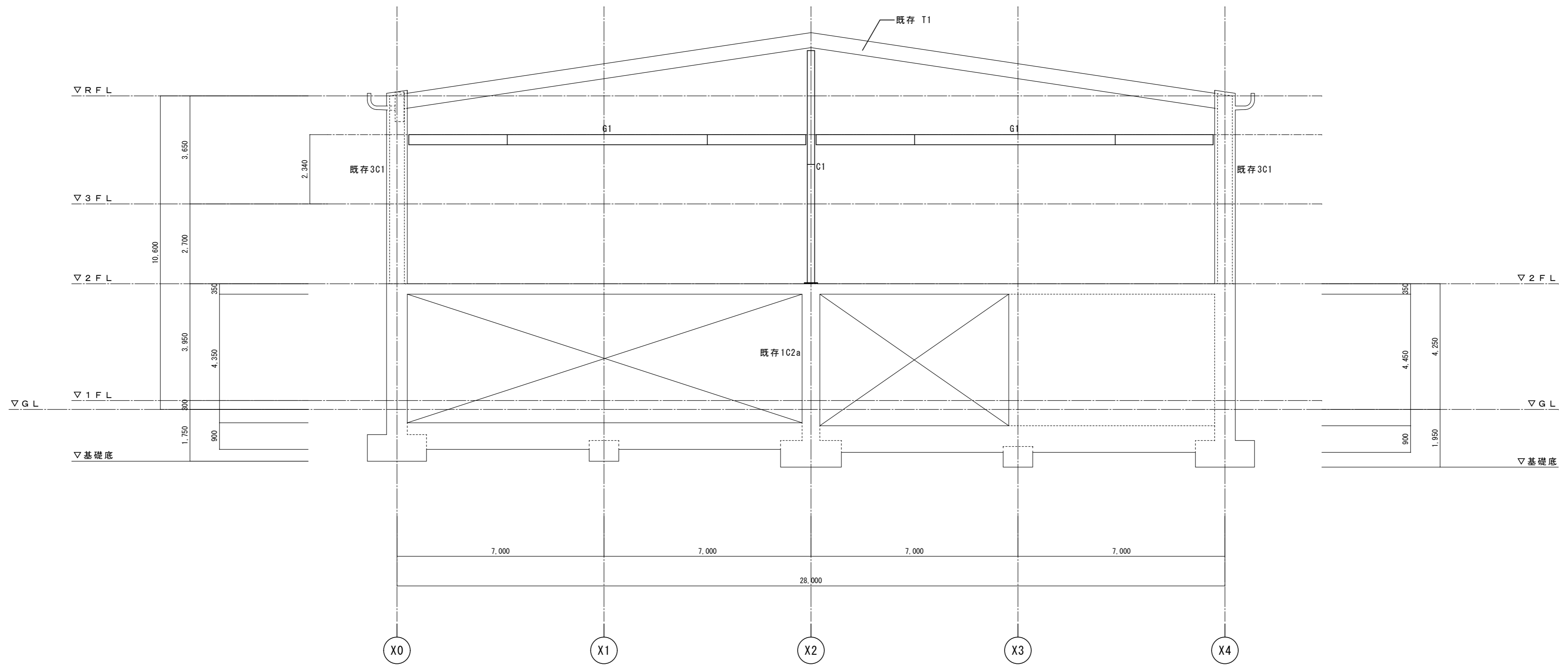
Y3通軸組図 1/100

徳島県土整備部営繕課	●工事名 R8 営繕 国府支援学校 徳・国府 ダイバーシティ棟改修工事建築 ●図面名 新設天井受け鉄骨 Y3 通軸組図	●図面番号 S-04 ●縮尺 1/100	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目43番地 TEL (088) 625-1759 管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号
------------	---	-------------------------	---



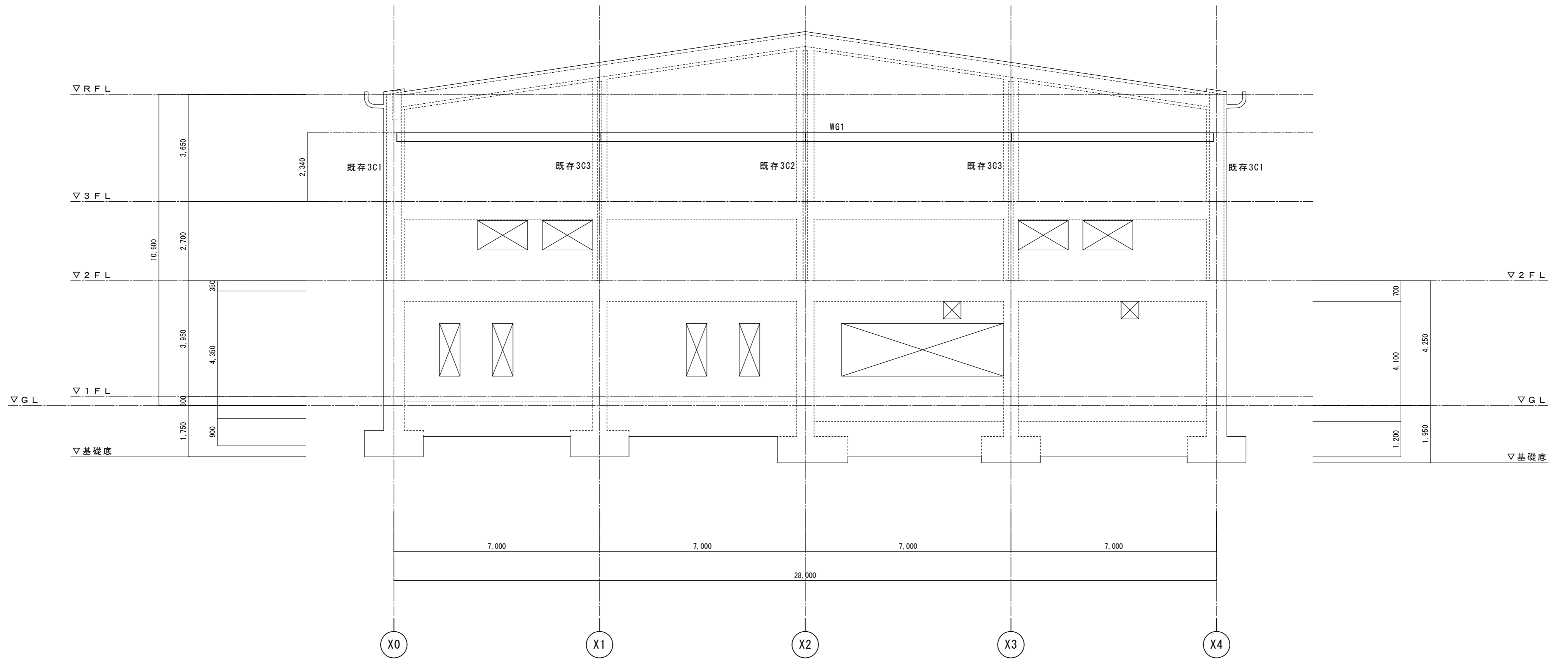
Y4通軸組図 1/100

徳島県土整備部営繕課	●工事名 R8 営繕 国府支援学校 徳・国府 ダイバーシティ棟改修工事建築 ●図面名 新設天井受け鉄骨 Y4 通軸組図	●図面番号 S-05 ●縮尺 1/100	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目43番地 TEL (088) 625-1759 管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号
------------	---	-------------------------	---



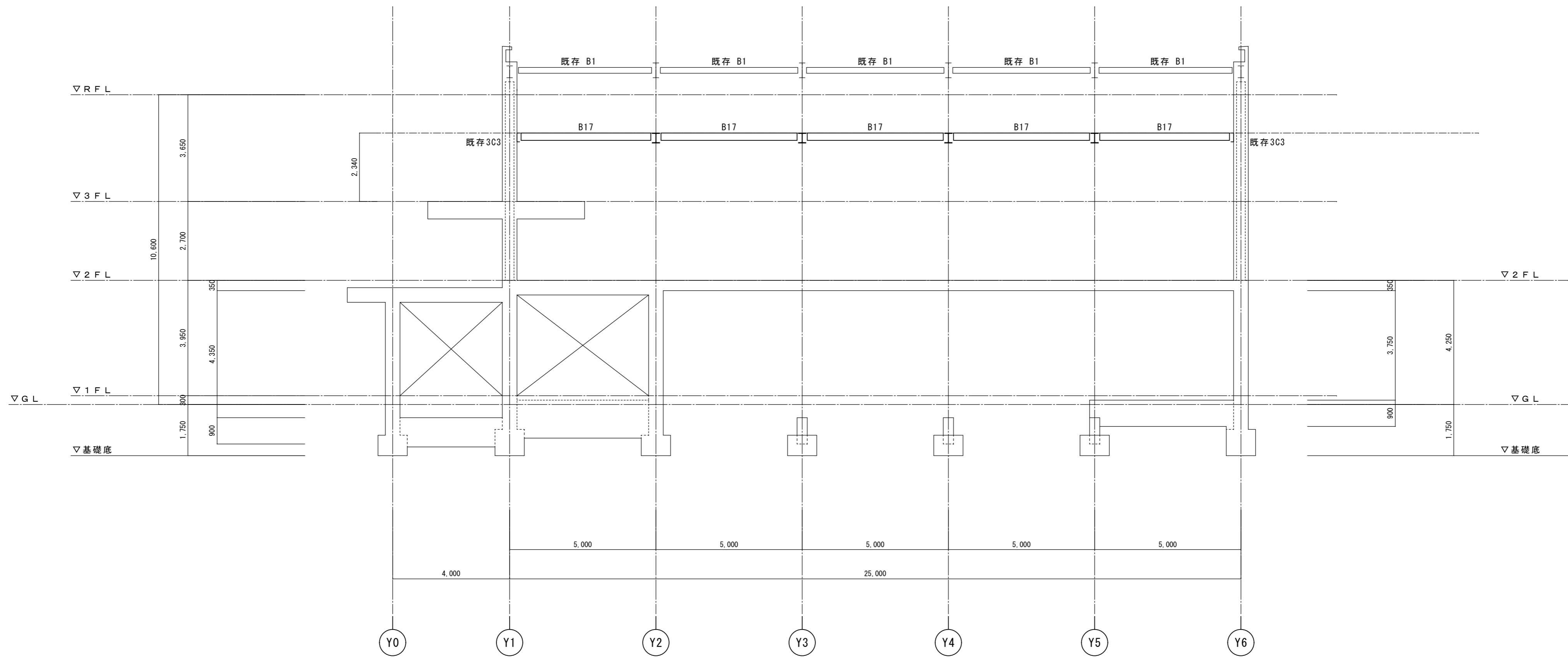
Y5通軸組図 1/100

徳島県土整備部営繕課	●工事名 R8 営繕 国府支援学校 徳・国府 ダイバーシティ棟改修工事建築 ●図面名 新設天井受け鉄骨 Y5 通軸組図	●図面番号 S-06 ●縮尺 1/100	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目43番地 TEL (088) 625-1759 管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号
------------	---	-------------------------	---



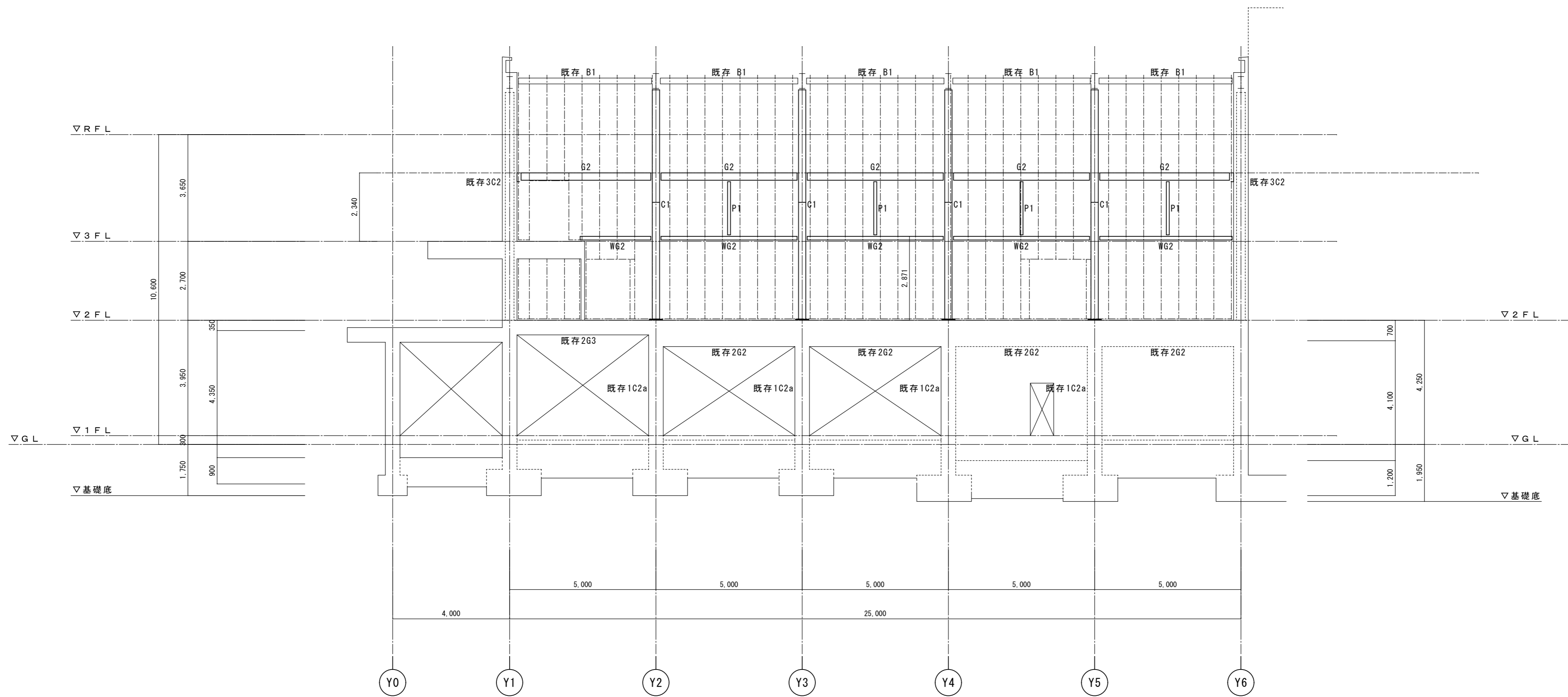
Y6通軸組図 1/100

	徳島県土整備部営繕課	●工事名 R8 営繕 国府支援学校 徳・国府 ダイバーシティ棟改修工事建築 ●図面名 新設天井受け鉄骨 Y6 通軸組図	●図面番号 S-07 ●縮尺 1/100	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目43番地 TEL (088) 625-1759 管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号
--	------------	---	-------------------------	---



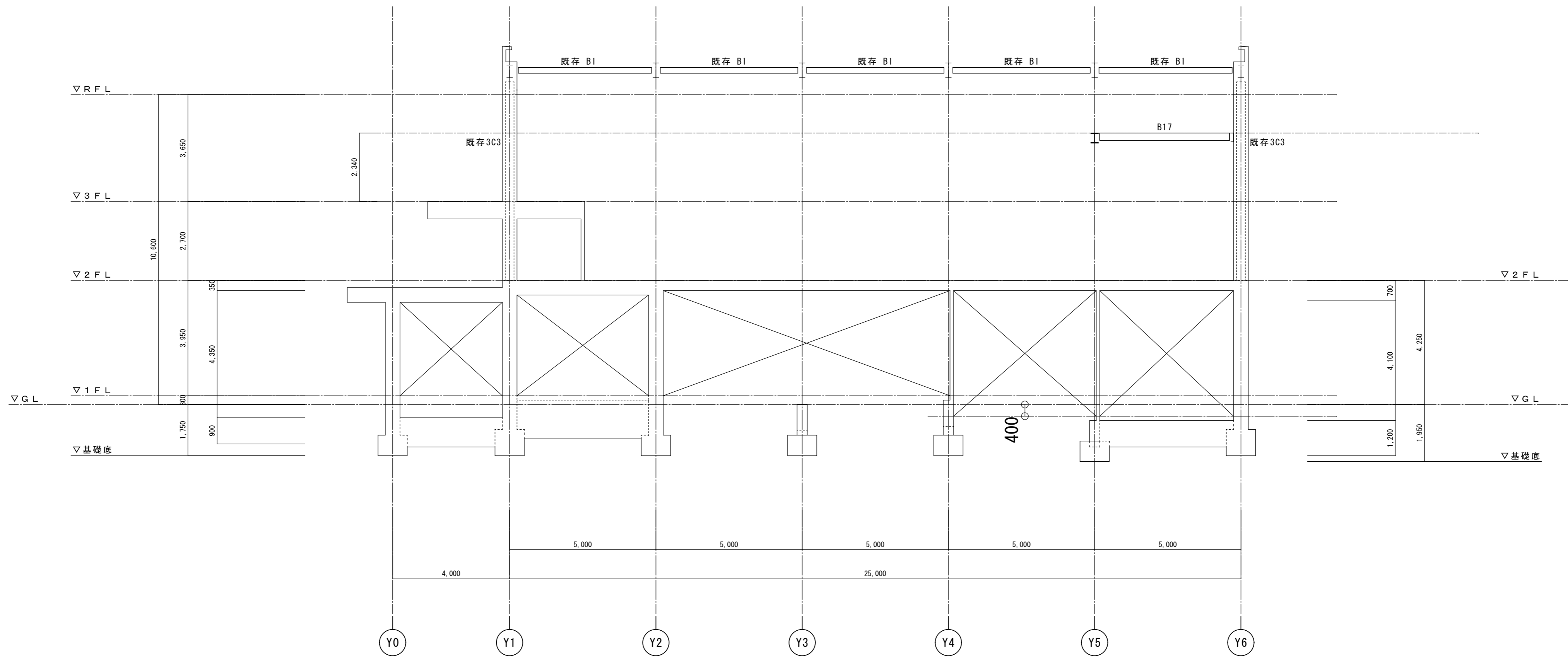
X1通軸組図 1/100

	徳島県土整備部営繕課	●工事名 R8 営繕 国府支援学校 徳・国府 ダイバーシティ棟改修工事建築 ●図面名 新設天井受け鉄骨 X1 通軸組図	●図面番号 S-08 ●縮尺 1/100	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目43番地 TEL (088) 625-1759 管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号
--	------------	---	-------------------------	---



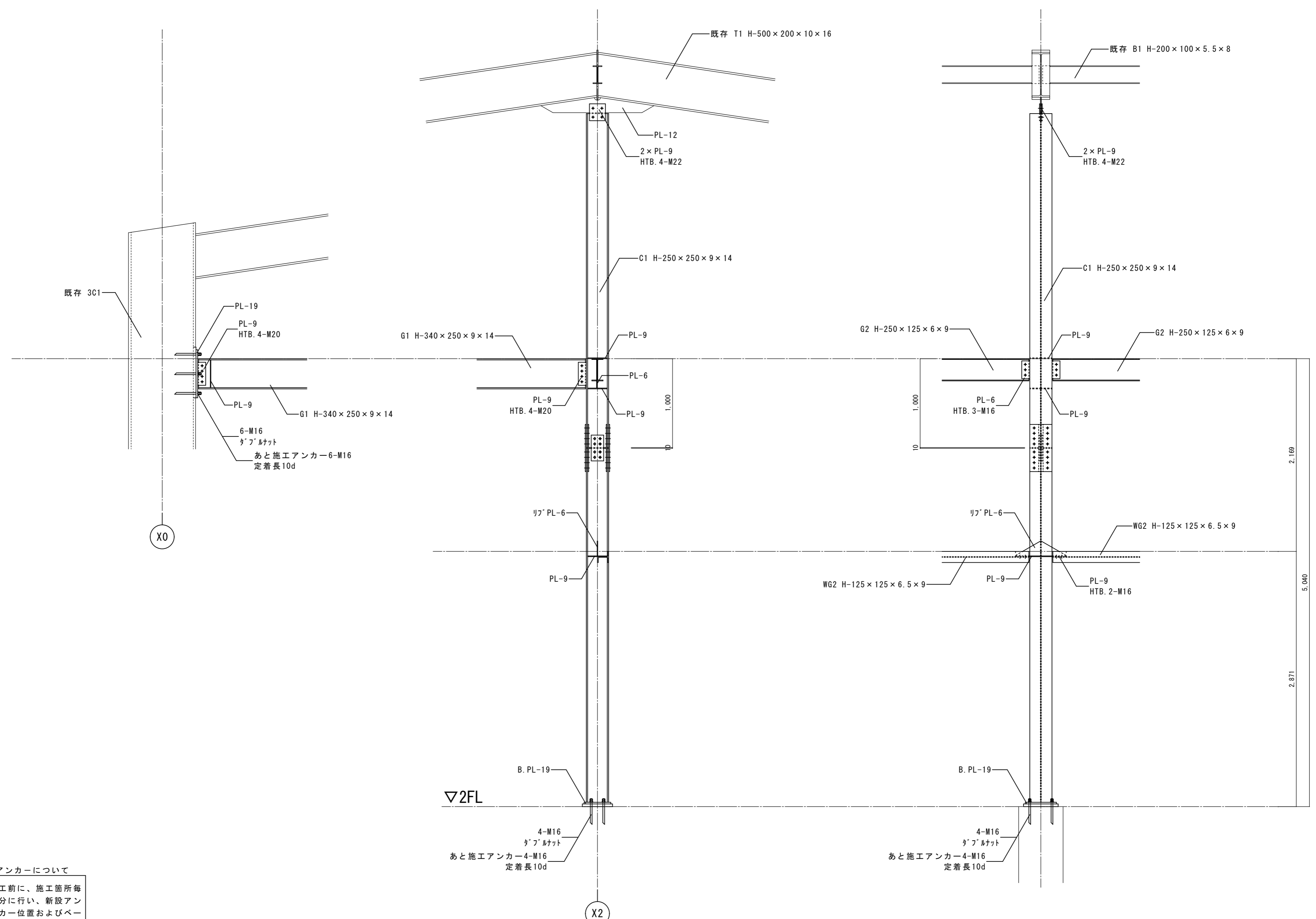
X2通軸組図 1/100

徳島県土整備部管轄課 徳島県土整備部管轄課	●工事名 R8 営繕 国府支援学校 徳・国府 ダイバーシティ棟改修工事建築 ●図面名 新設天井受け鉄骨 X2 通軸組図	●図面番号 S-09 ●縮尺 1/100	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目43番地 TEL (088) 625-1759 管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号
--------------------------	---	-------------------------	---



X3通軸組図 1/100

徳島県土整備部営繕課	●工事名 R 8 営繕 国府支援学校 徳・国府 ダイバーシティ棟改修工事建築 ●図面名 新設天井受け鉄骨 X 3 通軸組図	●図面番号 S-10 ●縮尺 1/100	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町 1 丁目 4 3 番地 TEL (088) 625-1759 管理建築士 板東 毅 1 級建築士登録 3 3 3 7 0 4 号
------------	---	-------------------------	---

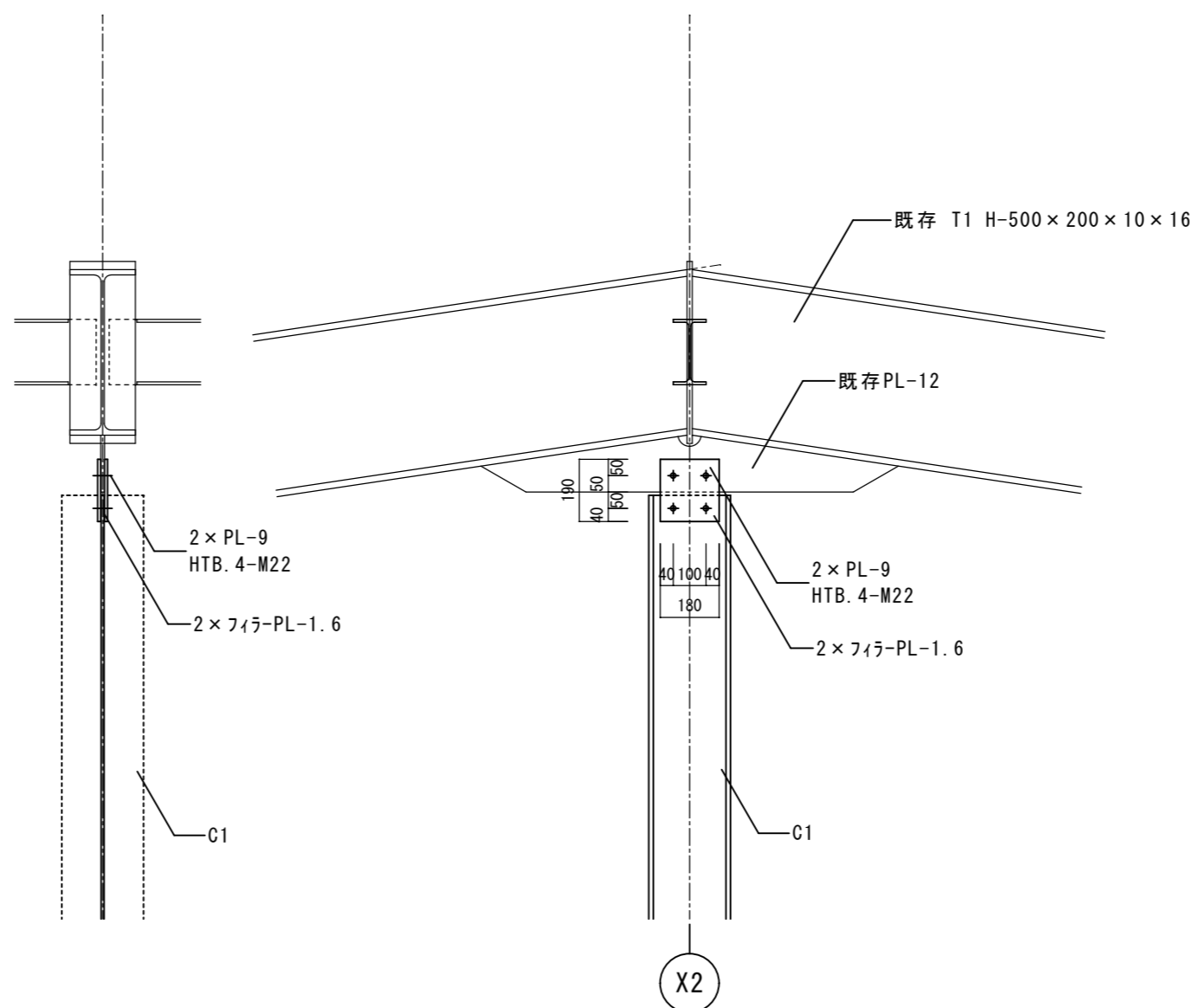
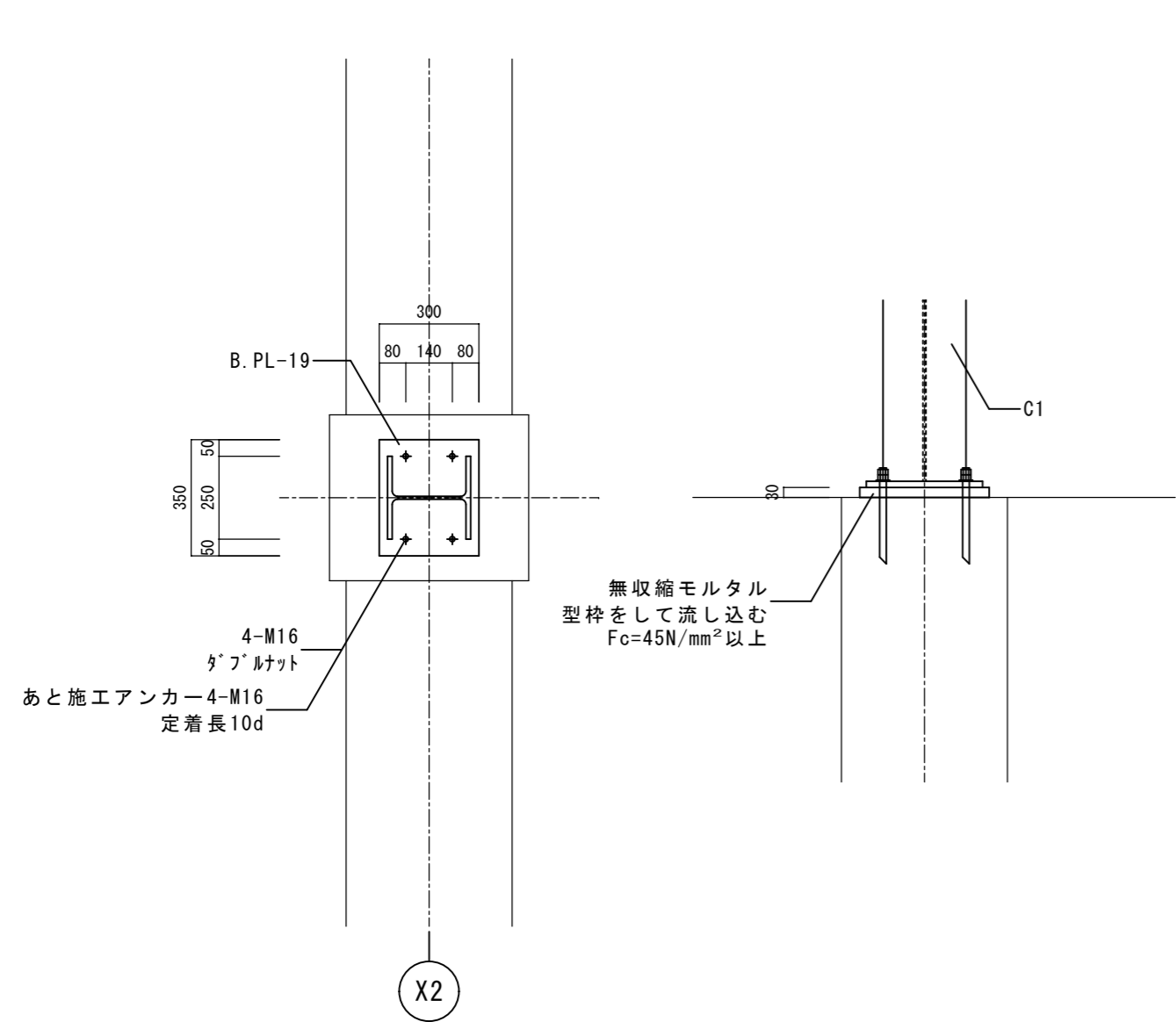


既存部材へのあと施工アンカーについて
 あと施工アンカー施工前に、施工箇所毎に既存鉄筋の探査を十分に行い、新設アンカーと干渉しないアンカー位置およびベースプレート形状を監理者と協議の上、決定すること。

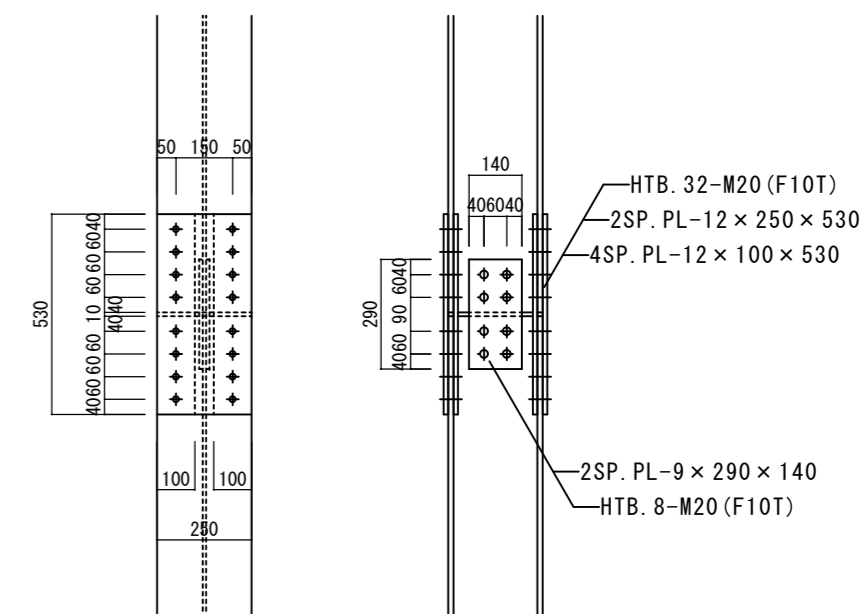
架構詳細図 1/30

※溶接は全て隅肉溶接とする。

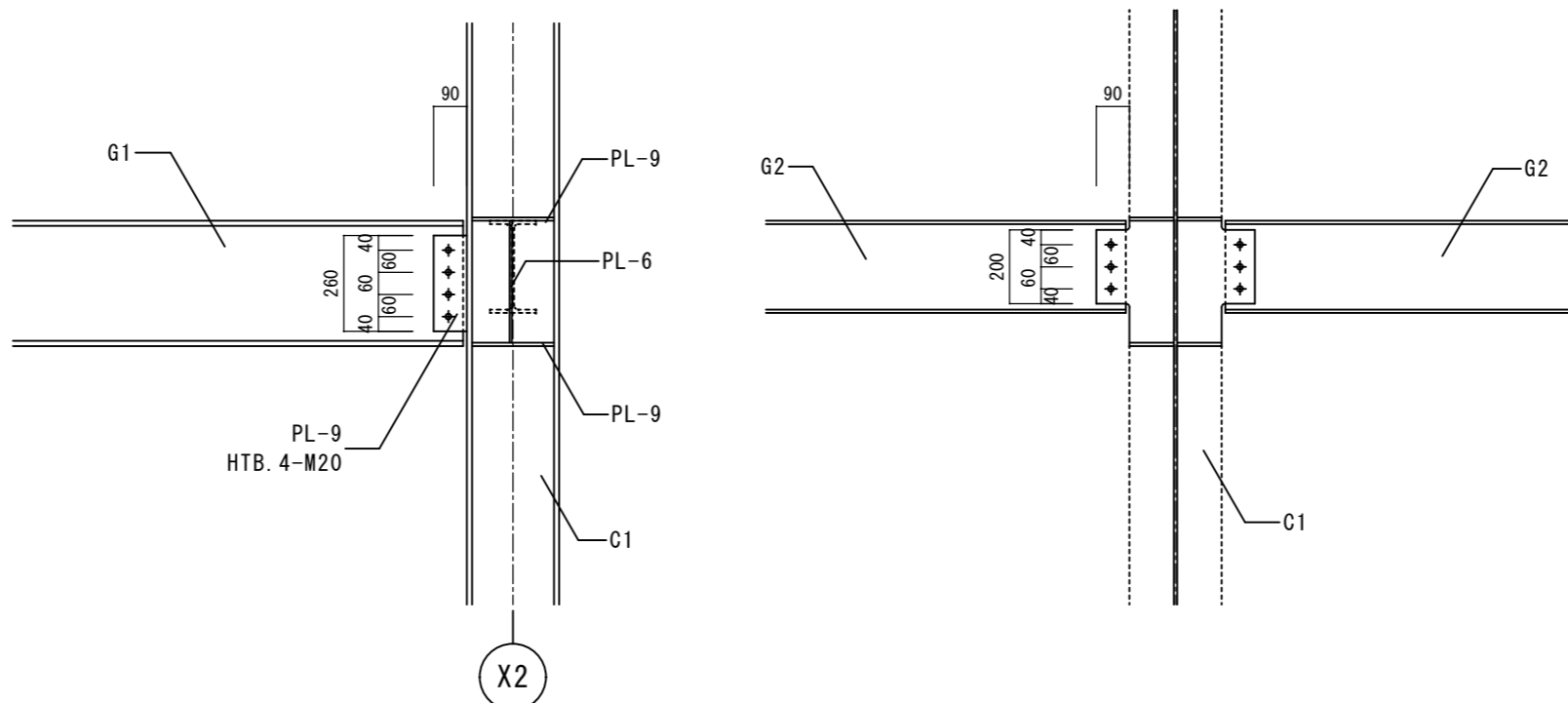
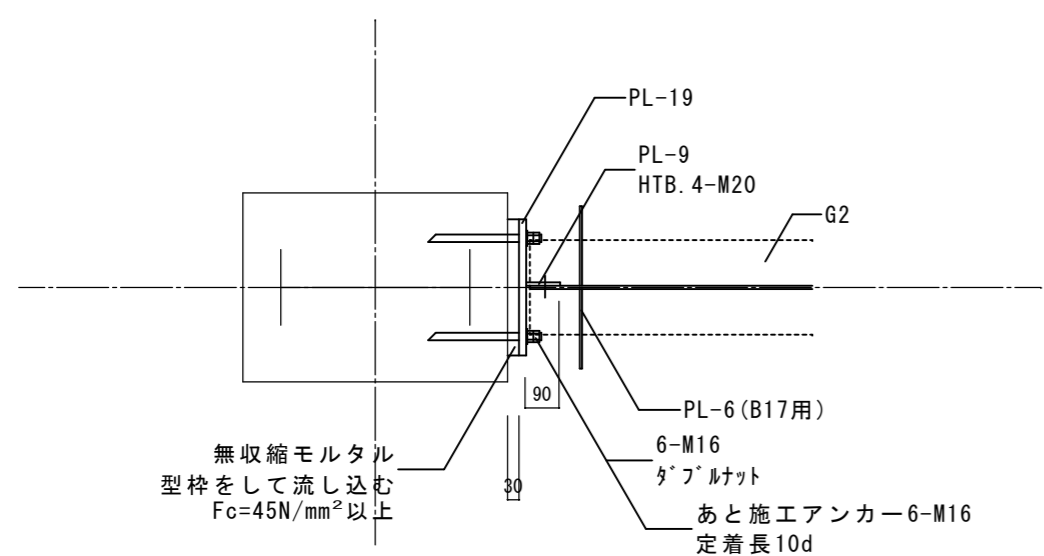
徳島県土整備部営繕課	●工事名	R8 営繕 国府支援学校 徳・国府 ダイバーシティ棟改修工事建築	●図面番号	S-11	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目4番地 TEL (088) 625-1759 管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号
	●図面名	新設天井受け鉄骨 鉄骨詳細図 1	●縮尺	1/30	



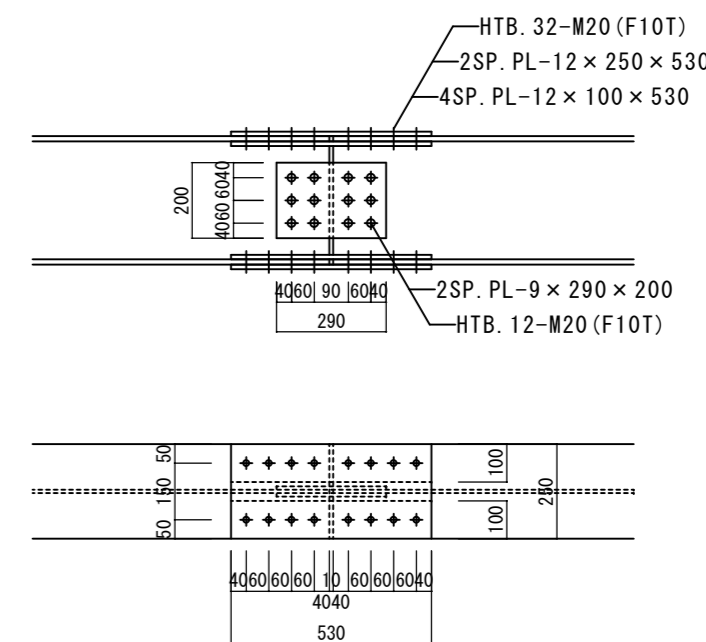
H-250x250x9x14 (柱継手)



C1 詳細図 1/20



G1 H-340x250x9x14 (梁継手)



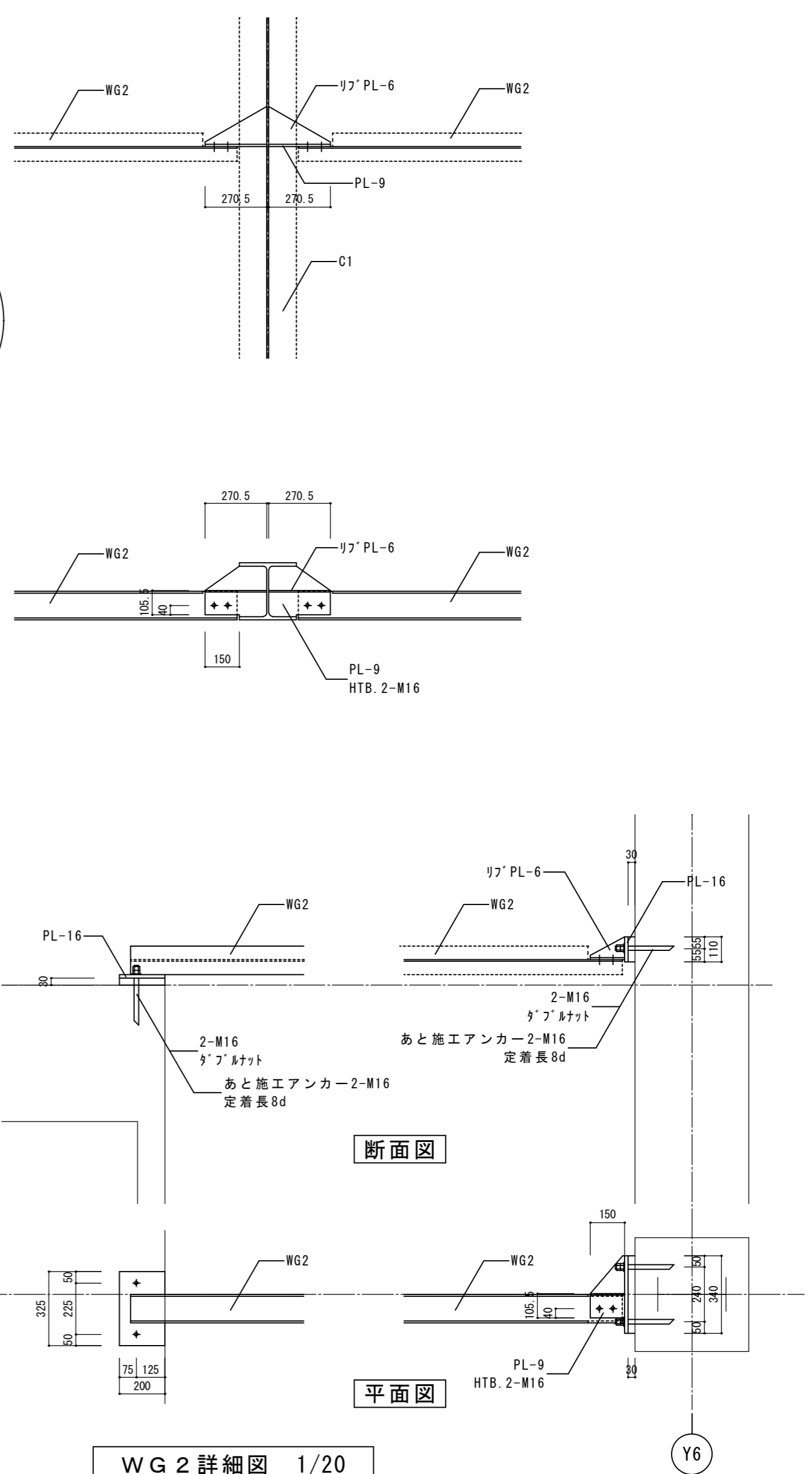
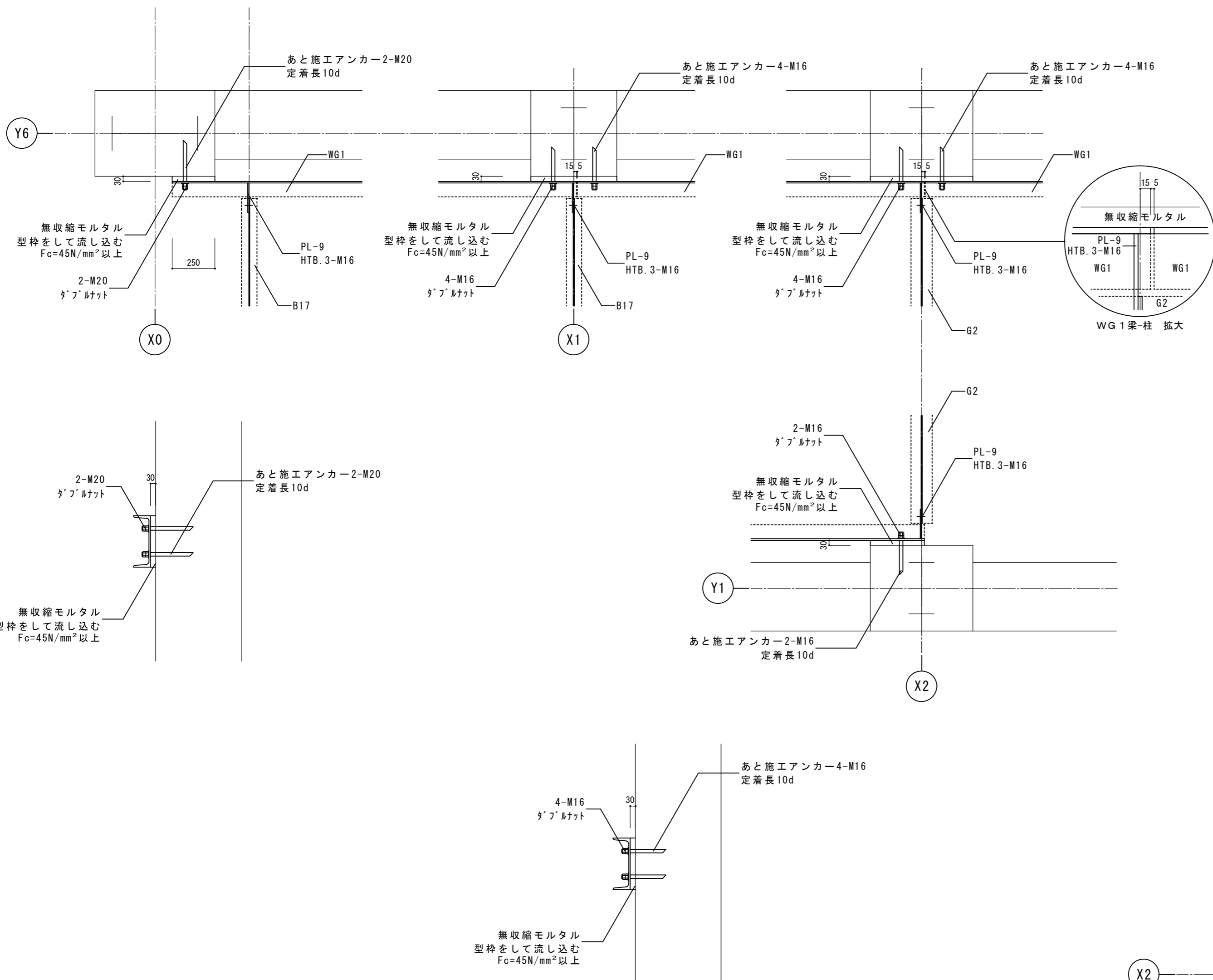
既存部材へのあと施工アンカーについて

あと施工アンカー施工前に、施工箇所毎に既存鉄筋の探査を十分に行い、新設アンカーと干渉しないアンカー位置およびベースプレート形状を監理者と協議の上、決定すること。

G1・G2 詳細図 1/20

※溶接は全て隅肉溶接とする。

徳島県土整備部管轄課	●工事名	R8 営繕 国府支援学校 徳・国府 ダイバーシティ棟改修工事建築	●図面番号	S-12	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目4番地 TEL (088) 625-1759 管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号
	●図面名	新設天井受け鉄骨 鉄骨詳細図 2	●縮尺	1/20	

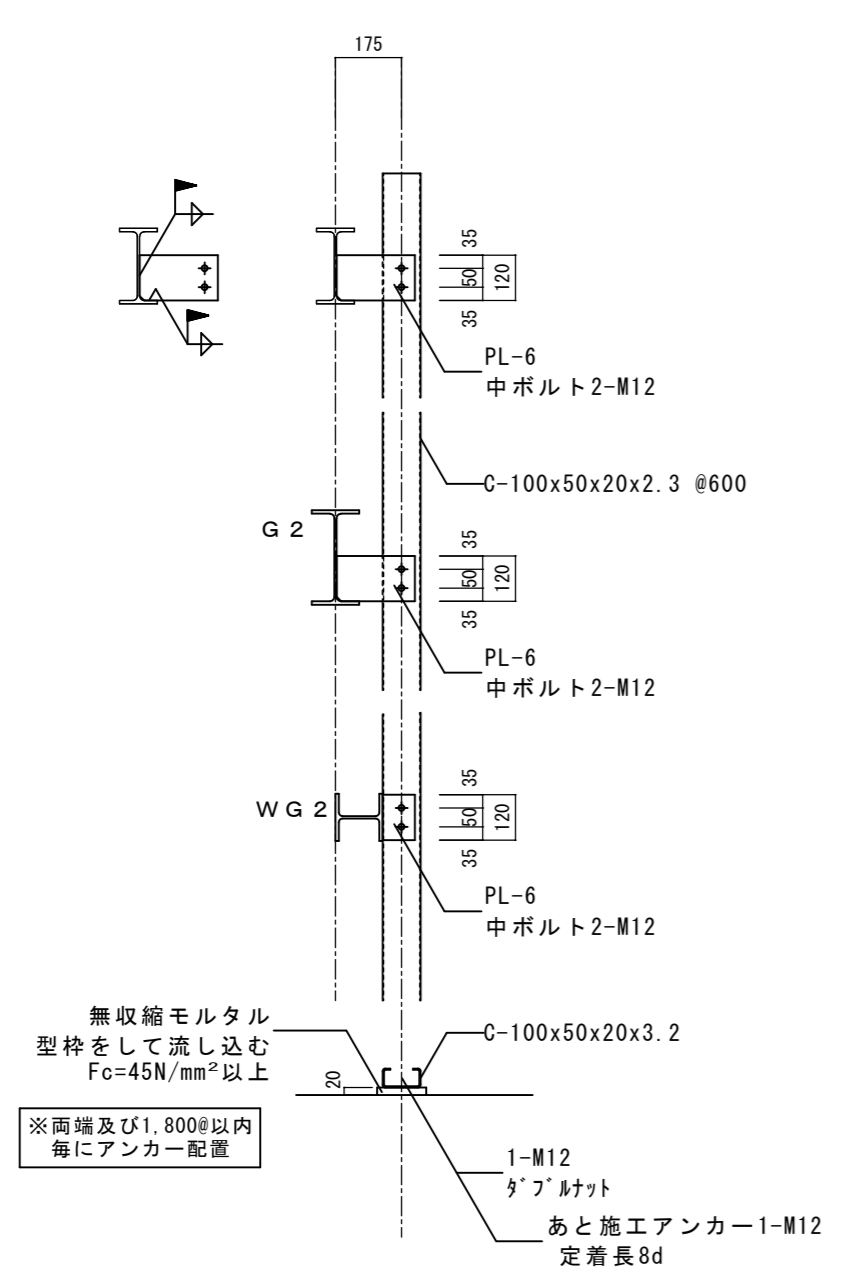


既存部材へのあて施工アンカーについて

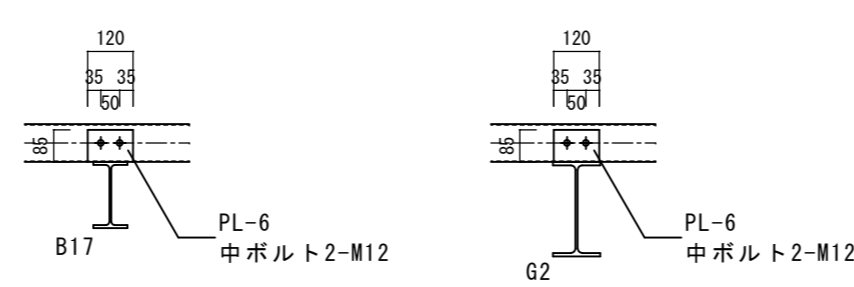
あて施工アンカー施工前に、施工箇所毎に既存鉄筋の探査を十分に行い、新設アンカーと干渉しないアンカー位置およびベースプレート形状を監理者と協議の上、決定すること。

※溶接は全て隅肉溶接とする。

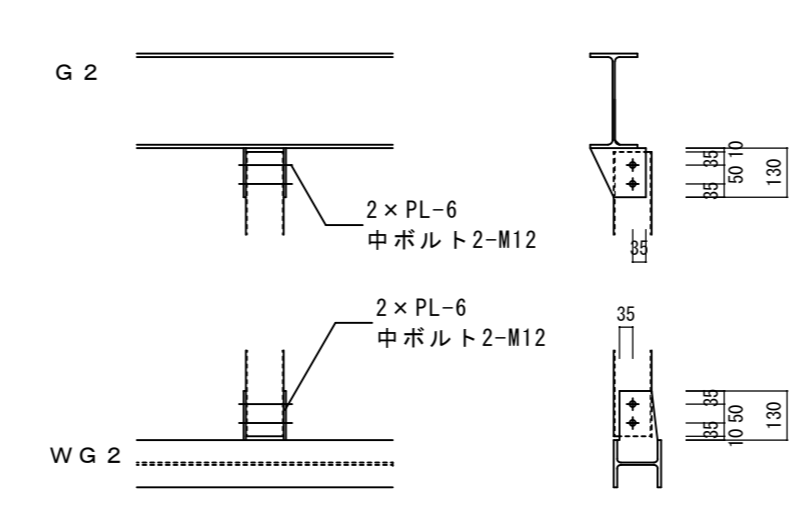
徳島県土整備部営繕課	●工事名	R8 営繕 国府支援学校 徳・国府 ダイバーシティ棟改修工事建築	●図面番号	S-13	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目43番地 TEL (088) 625-1759 管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号
	●図面名	新設天井受け鉄骨 鉄骨詳細図3	●縮尺	1/20	



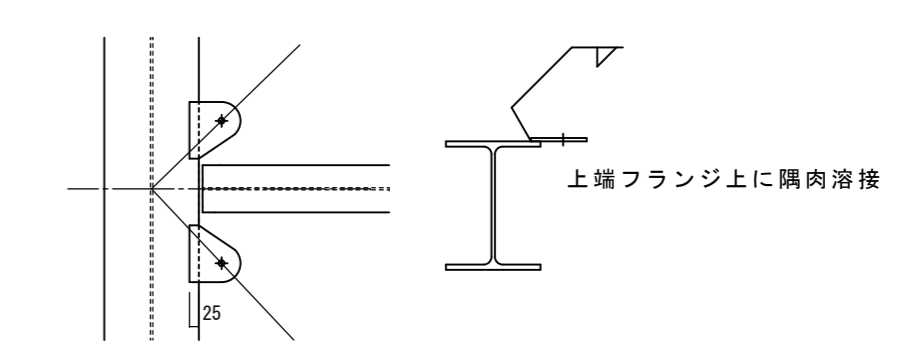
縦胴縁詳細図 1/20



吊り受け材詳細図 1/20

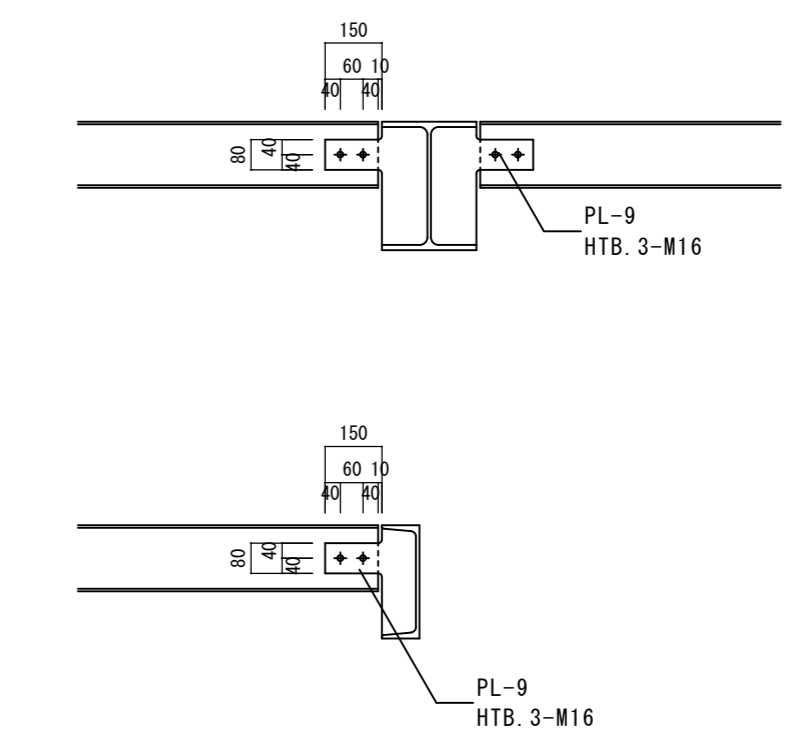


P 1 詳細図 1/20

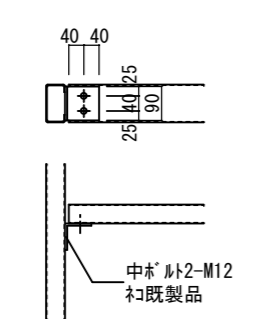


- ・梁及びプレースのゲージラインは原則として合わせる。
- ・既製品のプレースシートで合うのがなければ、切り板を使う。
- ・プレースシートは小梁を取り付けるG 1に取り付ける。

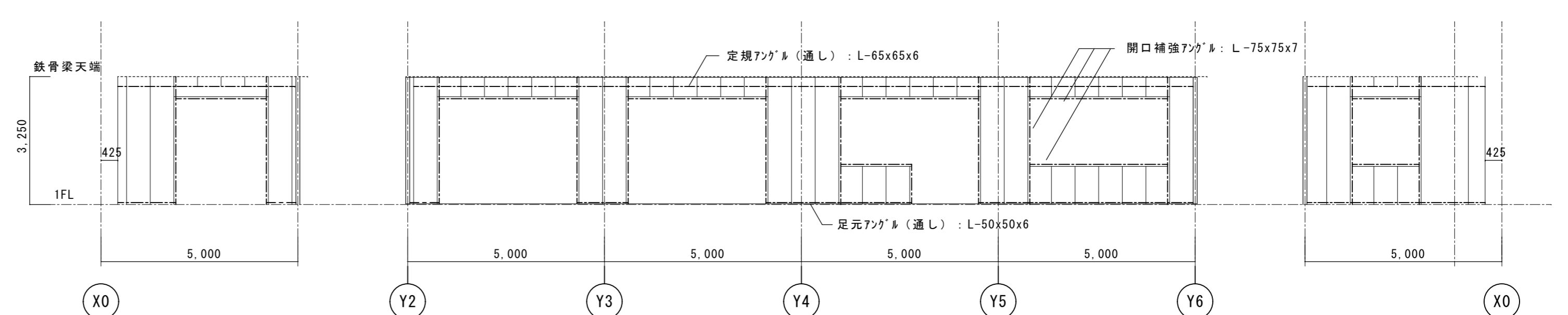
水平ブレース詳細図 1/20



B 1 7 詳細図 1/20



縦胴縁詳細図 1/20



Y2通軸組図 1/100

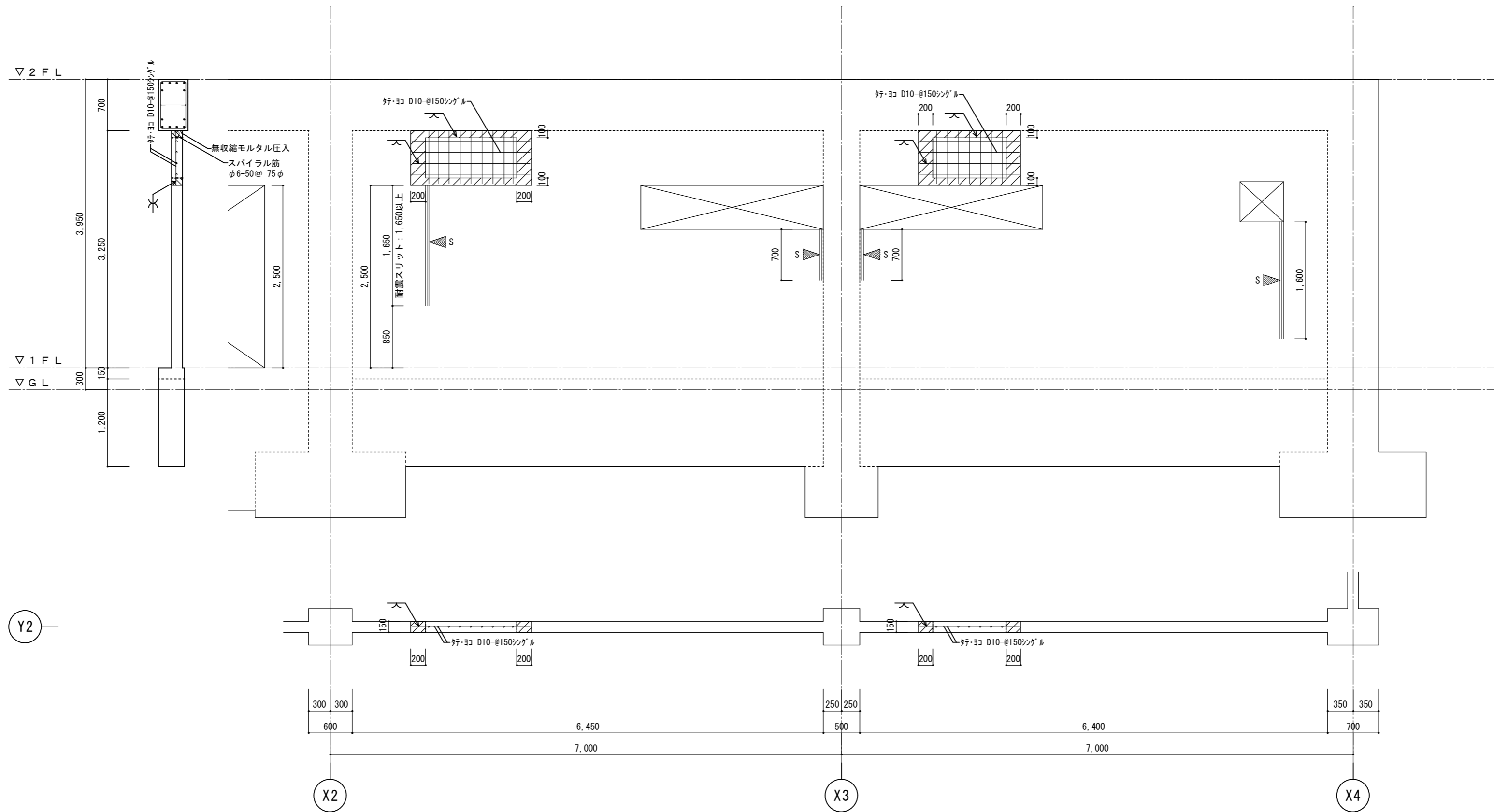
X0-5,000通軸組図 1/100

Y6通軸組図 1/100

既存部材へのあと施工アンカーについて
 あと施工アンカー施工前に、施工箇所毎に既存鉄筋の探査を十分に行い、新設アンカーと干渉しないアンカー位置およびベースプレート形状を監理者と協議の上、決定すること。

※溶接は全て隅肉溶接とする。

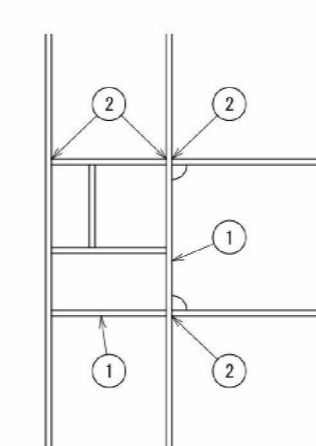
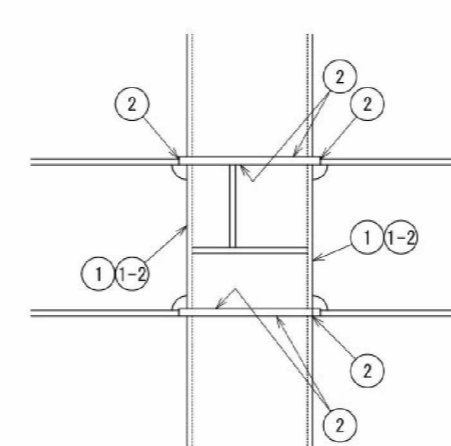
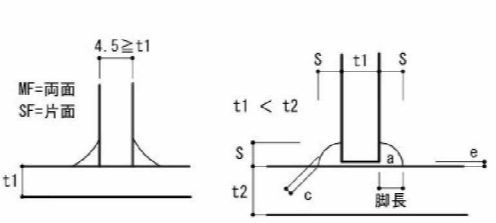
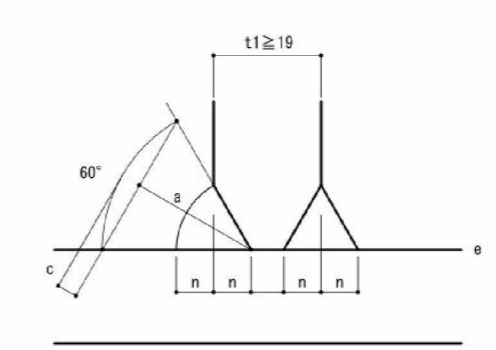
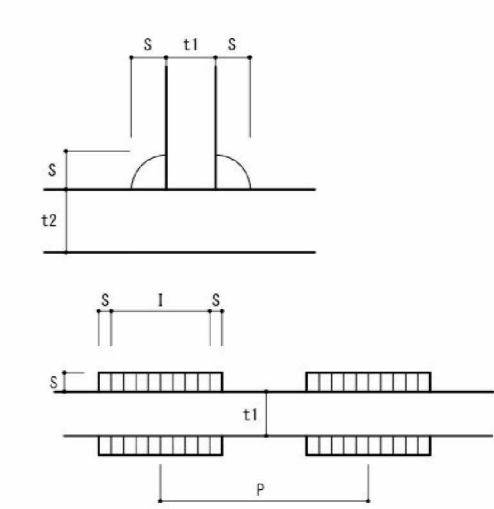
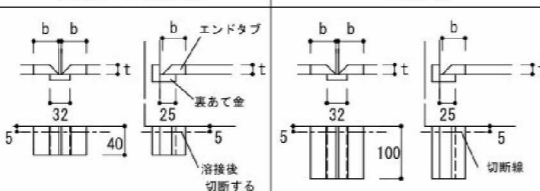
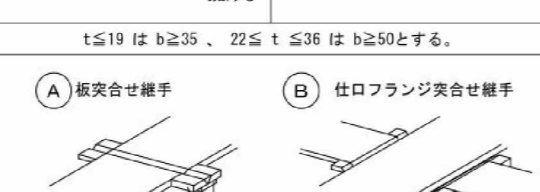

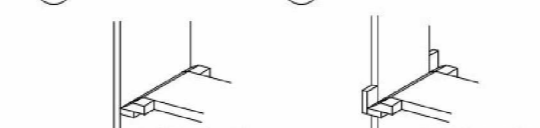
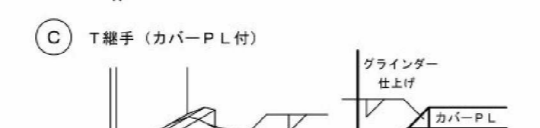

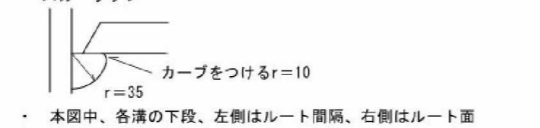
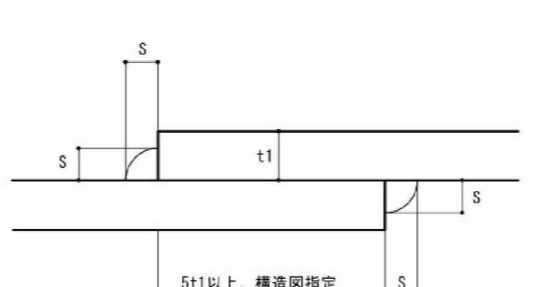
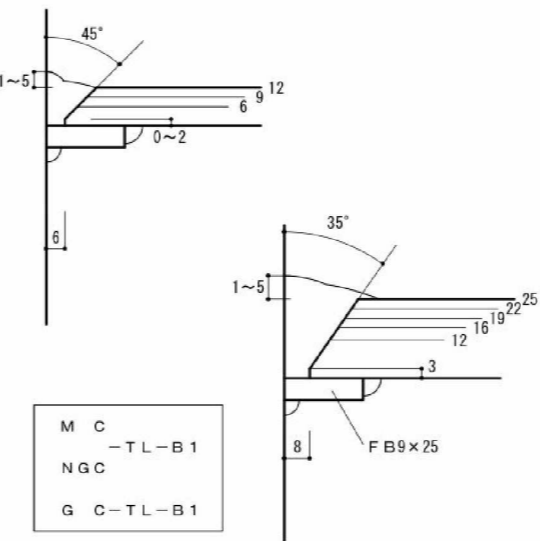
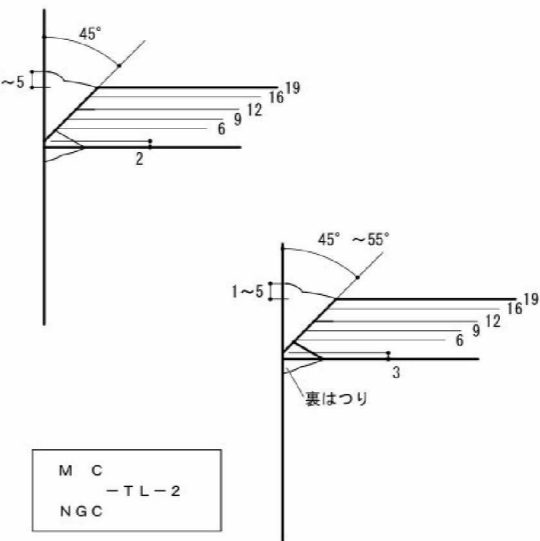
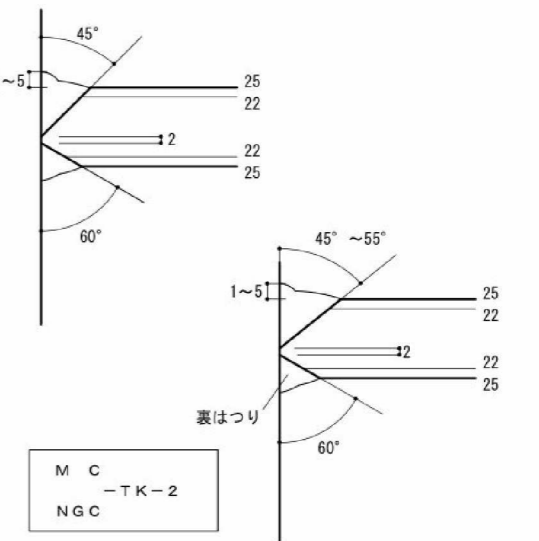
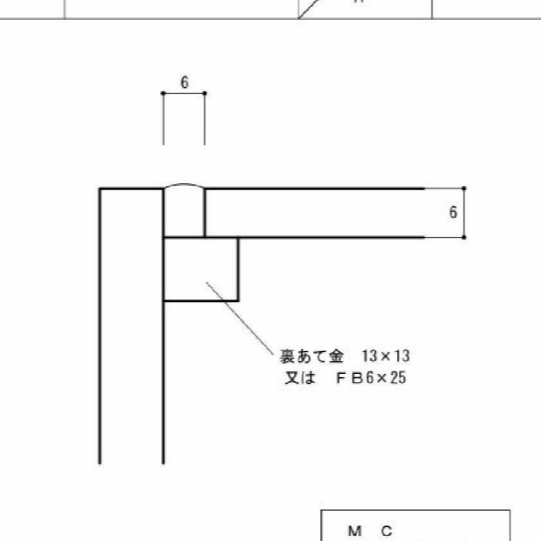
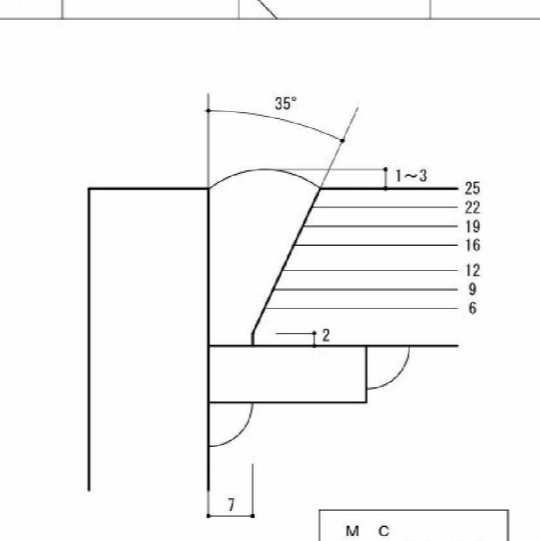
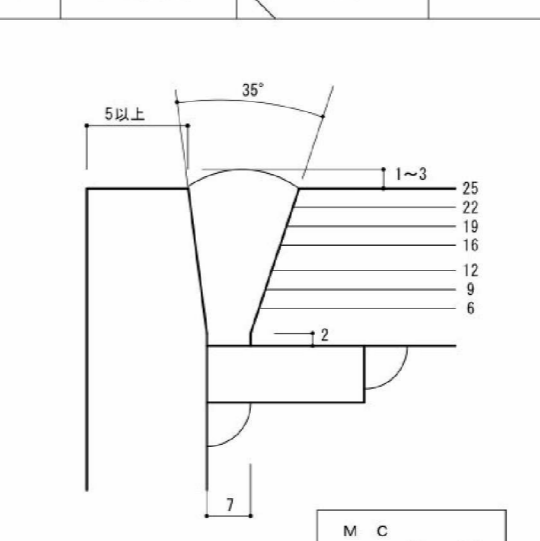
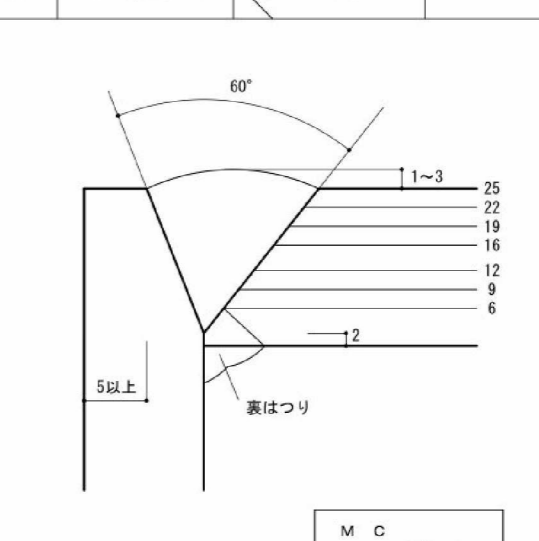
徳島県県土整備部営繕課	●工事名	R 8 営繕 国府支援学校 徳・国府 ダイバーシティ棟改修工事建築	●図面番号	S-14	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目4番地 TEL (088) 625-1759 管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号
	●図面名	新設天井受け鉄骨 鉄骨詳細図 4	●縮尺	1/20	



印部分は鉄筋はつり出し範囲を示し
新設壁筋と溶接を行う。

開口閉鎖部 壁詳細図 1/50

徳島県県土整備部営繕課	●工事名	R8 営繕 国府支援学校 徳・国府 ダイバーシティ棟改修工事建築	●図面番号	S-15	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目43番地 TEL (088) 625-1759 管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号
	●図面名	開口閉鎖部 壁詳細図	●縮尺	1/50	

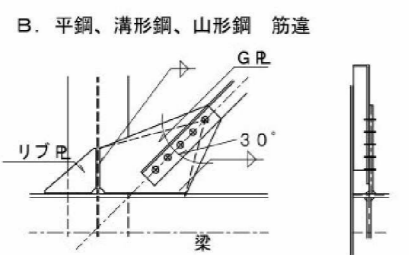
鉄骨構造標準図 7-3 (溶接A)	6 仕口部溶接図示例	1 すみ肉溶接	1-2 K型すみ肉溶接	1-3 断続すみ肉溶接																																																																									
<p>特記事項</p> <p>1 適用範囲</p> <ol style="list-style-type: none"> 本標準図は「溶接作業基準・解説、Iアーク溶接、IVサブマージアーク自動溶接、Vガスシールド半自動溶接：日本建築学会」に従い、工場溶接を行う場合に適用する。 特に設計者の指示がある場合はそれに従う。 本図によらない場合は、設計者の承認を受ける。 本構造標準図は、設計者の責任において使用すること。 <p>2 適用鋼材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>溶接法</th> <th colspan="4">鋼材の記号</th> <th>板厚(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M</td> <td>SS400</td> <td>SSC400</td> <td>STKR400</td> <td>STK400</td> <td>STK490</td> <td>2.3~6</td> </tr> <tr> <td>M</td> <td>SS400</td> <td>SM490YA</td> <td>STKR400</td> <td>STK490</td> <td></td> <td>6~25</td> </tr> <tr> <td>M</td> <td>SM400A</td> <td>SM490B</td> <td>SN400B・C</td> <td>SN490B・C</td> <td></td> <td>6~32</td> </tr> <tr> <td>NG</td> <td>SM490A</td> <td>SM520B</td> <td>SN400B・C</td> <td>SN490B・C</td> <td></td> <td>6~38</td> </tr> <tr> <td>G</td> <td>SN400B・C</td> <td>BCR295</td> <td>BCP235</td> <td>BCP295</td> <td></td> <td>6~45</td> </tr> <tr> <td>S</td> <td>SN400B・C</td> <td>SN490B・C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6~45</td> </tr> <tr> <td></td> <td>SM400B</td> <td>SM400C・SM520C</td> <td>SM570</td> <td></td> <td></td> <td>6~50</td> </tr> </tbody> </table> <p>予断は、数量工事技術指針に準じ行うものとする。技術指針に該当しない鋼材については、必要な試験を行った上、適切な熱管理のもとで準用してよい。</p>	溶接法	鋼材の記号				板厚(mm)	M	SS400	SSC400	STKR400	STK400	STK490	2.3~6	M	SS400	SM490YA	STKR400	STK490		6~25	M	SM400A	SM490B	SN400B・C	SN490B・C		6~32	NG	SM490A	SM520B	SN400B・C	SN490B・C		6~38	G	SN400B・C	BCR295	BCP235	BCP295		6~45	S	SN400B・C	SN490B・C				6~45		SM400B	SM400C・SM520C	SM570			6~50	<p>柱H形鋼の場合</p>  <p>柱角形鋼管の場合</p> 	<p>1 すみ肉溶接</p>  <p>MF=片面 SF=片面</p> <p>$4.5 \geq t1$</p> <p>$t1 < t2$</p> <p>脚長</p> <table border="1"> <caption>1 表</caption> <thead> <tr> <th>S</th> <th>t1</th> <th>3.2</th> <th>4.5</th> <th>6</th> <th>9</th> <th>12</th> <th>16</th> <th>19</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手・半自動・自動</td> <td>4.5</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>14</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>且つ、自動溶接では $t1=3.2, 4.5$ については片面溶接終始端は、まわし溶接を行う。</p> <p>隙間e $-0 \sim +5$、ただしeが2mmをこえる場合はサイズをeだけ増加する。2mmをこえるすき間は全長にあってはならない。</p> <p>サイズs $-0 \sim +3$、ただし溶接の長さの10%以内については $-0 \sim +5$ を認める。</p> <p>余盛c $-0 \sim + (0.1S+1)$、ただし溶接長さの10%以内については $-0.07S$ を認める。</p>	S	t1	3.2	4.5	6	9	12	16	19	手・半自動・自動	4.5	6	6	7	9	12	14		<p>1-2 K型すみ肉溶接</p>  <p>$t1 \geq 19$</p> <p>60°</p> <p>a</p> <p>n</p> <p>n</p> <p>n</p> <p>n</p> <p>e</p> <p>$n1=n2=0.4t1$</p> <p>許容誤差</p> <p>a, c, e 同差 n1 n2 $-0 \sim +3$</p>	<p>1-3 断続すみ肉溶接</p>  <p>S</p> <p>t1</p> <p>S</p> <p>t2</p> <p>S</p> <p>I</p> <p>S</p> <p>t1</p> <p>P</p> <p>$I \geq 10S$ 且つ $I \geq 40mm$</p> <p>$P \geq I + 10t1$</p>
溶接法	鋼材の記号				板厚(mm)																																																																								
M	SS400	SSC400	STKR400	STK400	STK490	2.3~6																																																																							
M	SS400	SM490YA	STKR400	STK490		6~25																																																																							
M	SM400A	SM490B	SN400B・C	SN490B・C		6~32																																																																							
NG	SM490A	SM520B	SN400B・C	SN490B・C		6~38																																																																							
G	SN400B・C	BCR295	BCP235	BCP295		6~45																																																																							
S	SN400B・C	SN490B・C				6~45																																																																							
	SM400B	SM400C・SM520C	SM570			6~50																																																																							
S	t1	3.2	4.5	6	9	12	16	19																																																																					
手・半自動・自動	4.5	6	6	7	9	12	14																																																																						
<p>3 適用溶接法と記号</p> <p>M アーク手溶接</p> <p>NG ノンガスシールドアーク半自動溶接</p> <p>G ガスシールドアーク半自動溶接</p> <p>S サブマージアーク自動溶接</p> <p>C 突合せ溶接</p> <p>P 部分溶け込み溶接</p> <p>F すみ肉溶接</p> <p>T T継ぎ手</p> <p>L 角継ぎ手</p> <p>B 突合せ継ぎ手</p> <p>I I形</p> <p>V V形</p> <p>レ レ形</p> <p>K K形</p> <p>X X形</p> <p>B 裏あて金</p> <p>1 片面溶接</p> <p>2 両面溶接 MC, NGC, GC は、表はつりをする。</p> <p>(例) MC-TL-B1はアーク手溶接突合せレ形T継ぎ手-裏あて金付き片面溶接</p>	<p>7 エンドタブ、裏あて金、補強隅肉、スカーラップ</p> <ul style="list-style-type: none"> 突合せ溶接の両端にはエンドタブを取付け、アークの開始および終了点とする。寸法は下図による。 裏あて金の厚さは、母材の厚さ6mmの場合6mm、25mmまでは9mm、25mm以上は12mmとする。 スチール製エンドタブに替えてフラックススタブ・セラミックスタブを監督員の承認を得て使用する事ができる。 <p>手溶接、半自動溶接</p>  <p>自動溶接</p>  <p>$t \leq 19$ は $b \geq 35$、$22 \leq t \leq 36$ は $b \geq 50$ とする。</p> <p>(A) 板突合せ継手 (B) 仕口フランジ突合せ継手</p>  <p>(C) T継手 (柱巾大) (D) T継手 (柱梁同巾)</p>  <p>(C) T継手 (カバーP.L付)</p>  <p>グラインダー仕上げ</p> <p>カバーP.L</p> <p>梁フランジ</p> <p>T継手、角継手には補強すみ肉を行う。</p>  <p>スカーラップ</p>  <p>カーブをつける $r=10$</p> <p>$r=35$</p> <p>本図中、各継手の下段、左側はルート間隔、右側はルート面の許容誤差寸法を示す。</p>	<p>1-4 重ねすみ肉溶接</p>  <p>S</p> <p>t1</p> <p>S</p> <p>S</p> <p>$5t1$以上、構造図指定</p> <p>Sは1表による。</p> <p>許容誤差</p> <p>隙間e $-0 \sim +2mm$ S, a, cは1(すみ肉溶接)と同じ</p>	<p>2 レ型突合せ</p>  <p>45°</p> <p>1~5</p> <p>6</p> <p>9</p> <p>12</p> <p>0~2</p> <p>35°</p> <p>1~5</p> <p>8</p> <p>12</p> <p>16</p> <p>19</p> <p>22</p> <p>25</p> <p>3</p> <p>FB9x25</p> <p>M C -TL-B1</p> <p>NGC</p> <p>G C-TL-B1</p> <p>-1 +2</p> <p>-2 +0</p>	<p>3 レ型突合せ</p>  <p>45°</p> <p>1~5</p> <p>6</p> <p>9</p> <p>12</p> <p>16</p> <p>19</p> <p>2</p> <p>45° ~ 55°</p> <p>1~5</p> <p>3</p> <p>裏はつり</p> <p>M C -TL-2</p> <p>NGC</p> <p>G C-TL-2</p> <p>-0 +2</p> <p>-2 +0</p> <p>-0 +3</p> <p>-3 +0</p>	<p>4 K型突合せ</p>  <p>45°</p> <p>1~5</p> <p>25</p> <p>22</p> <p>12</p> <p>22</p> <p>25</p> <p>60°</p> <p>45° ~ 55°</p> <p>1~5</p> <p>25</p> <p>22</p> <p>25</p> <p>裏はつり</p> <p>M C -TK-2</p> <p>NGC</p> <p>G C-TK-2</p> <p>-0 +2</p> <p>-2 +0</p> <p>-0 +3</p> <p>-3 +0</p>																																																																								
<p>4 溶接姿勢</p> <p>F 下向姿勢</p> <p>H 水平又は、横向往姿勢</p> <p>V 立向姿勢</p> <p>O 上向姿勢</p> <p>手溶接における姿勢は、特記あるものを除き、原則として下向とする。</p> <p>5 その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 使用板厚は半自動、自動溶接の場合は6mm以上とする。 手溶接において、1層目の溶接を行う棒径は4mm以下とする。 寸法の許容誤差で図示したもの以外は、下記による。 <ol style="list-style-type: none"> 開先角度は、$-3' \sim +5'$ とする。 裏あて金のすきまは0とし許容誤差は、$-0 \sim +1$ とする。 重ね継ぎ手のすきまは0とし許容誤差は、$-0 \sim +2$ とする。 グループ溶接部の相互の目違いは0とし、許容誤差は、$-1 \sim +1$ とする。 突合せ溶接及び部分溶け込み溶接の余盛の高さは、特記なき場合は、右記詳細図によるものとする。 	<p>5 I型突合せ</p>  <p>6</p> <p>裏あて金 13x13</p> <p>又は FB6x25</p> <p>M C -L1-B1</p> <p>NGC</p> <p>G C-L1-B1</p> <p>-1 +2</p> <p>-2 +0</p>	<p>6 レ型突合せ</p>  <p>35°</p> <p>1~3</p> <p>25</p> <p>22</p> <p>19</p> <p>16</p> <p>12</p> <p>9</p> <p>6</p> <p>1~2</p> <p>7</p> <p>M C -LL-B1</p> <p>NGC</p> <p>G C-LL-B1</p> <p>-1 +2</p> <p>-2 +0</p>	<p>7 V型突合せ</p>  <p>5以上</p> <p>35°</p> <p>1~3</p> <p>25</p> <p>22</p> <p>19</p> <p>16</p> <p>12</p> <p>9</p> <p>6</p> <p>1~2</p> <p>7</p> <p>M C -LV-B1</p> <p>NGC</p> <p>G C-LV-B1</p> <p>-1 +2</p> <p>-2 +0</p>	<p>8 V型突合せ</p>  <p>60°</p> <p>5以上</p> <p>1~3</p> <p>25</p> <p>22</p> <p>19</p> <p>16</p> <p>12</p> <p>9</p> <p>6</p> <p>1~2</p> <p>7</p> <p>裏はつり</p> <p>M C -LV-2</p> <p>NGC</p> <p>G C-LV-2</p> <p>-0 +2</p> <p>-2 +0</p>																																																																									

<p>徳島県土木整備部営繕課</p>	<p>●工事名 R8 営繕 国府支援学校 徳・国府 ダイバーシティ棟改修工事建築</p> <p>●図面名 鉄骨構造標準図 1</p>	<p>●図面番号 S-16</p> <p>●縮尺 NON</p>	<p>有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目43番地 TEL (088) 625-1759</p> <p>管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号</p>
--------------------	--	----------------------------------	--

鉄骨構造標準図 7-7

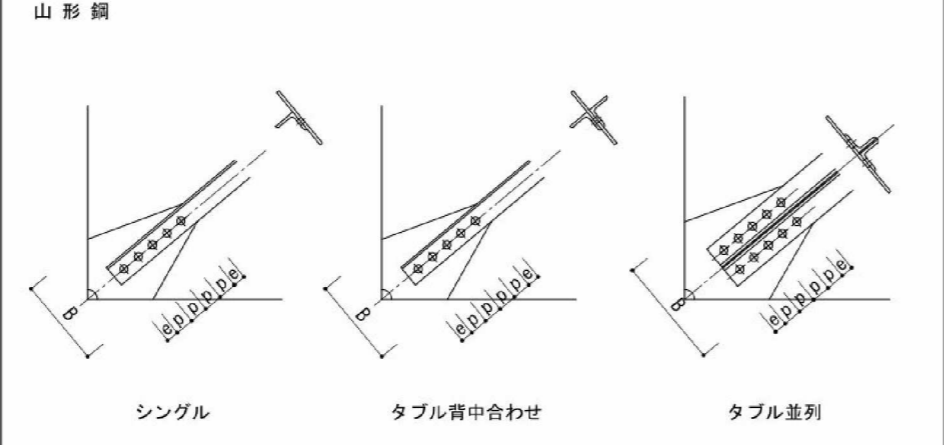
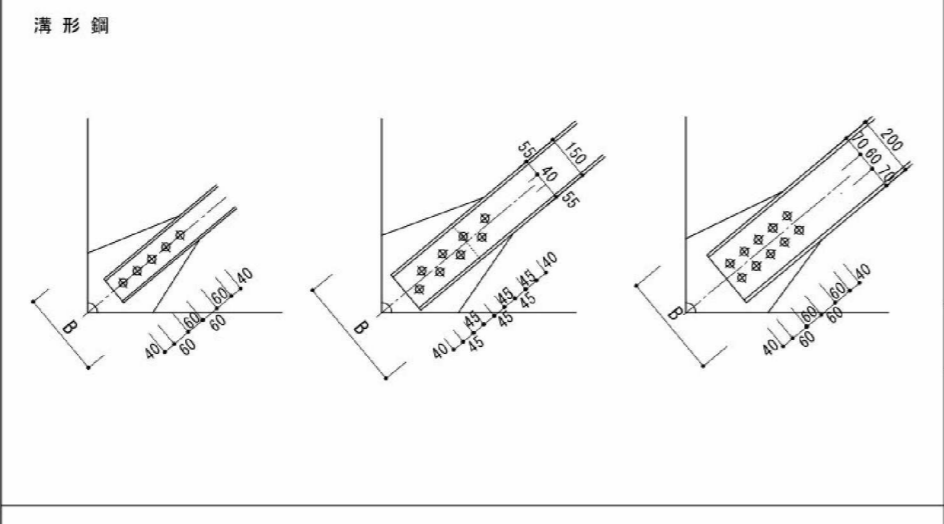
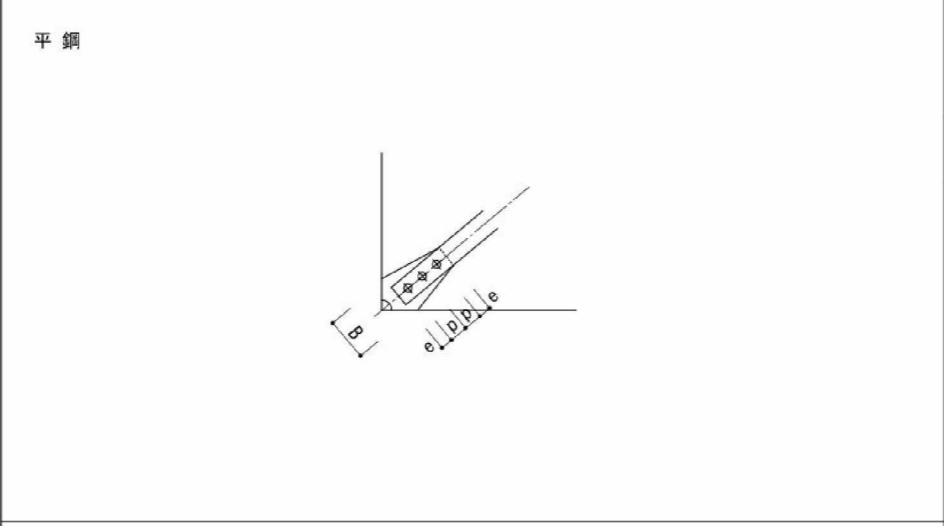
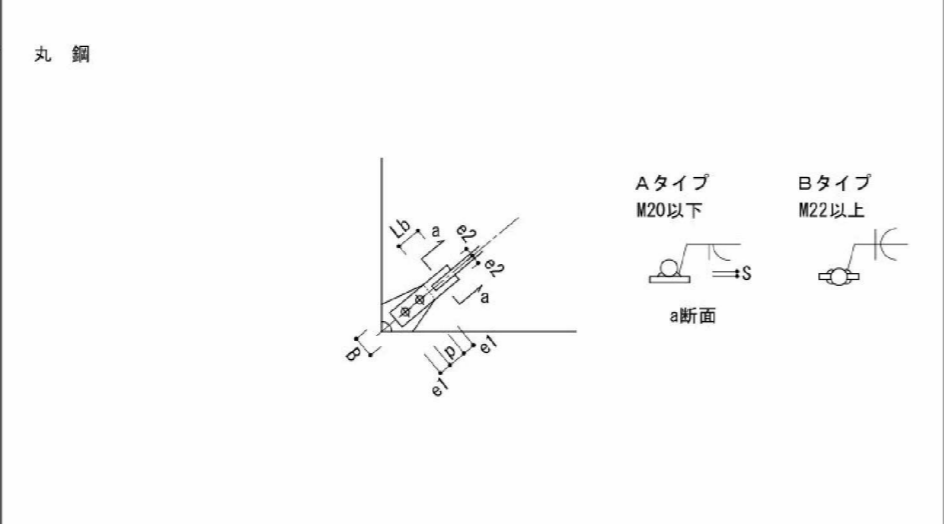
(筋かい)

- A. ターンバックル筋違 JIS A5540
- 1) ターンバックルボルト
JIS A 5542の規格品、性能評定品。
材質 SS400 (JIS G3101)
種類 羽子板ボルトJIS記号: S
 - 2) ターンバックル鋼
JIS A 5541の規格品、性能評定品。
材質 SS400 (JIS G3101), ST
KM11A, 12A, 13A,
14A (JIS G3445)
種類 1種 (割付式 JIS記号: ST)
2種 (パイプ式 JIS記号: PT)
 - 3) 接合用高力ボルトは S10T及び F10Tとする。
 - 4) ターンバックルボルトの羽子板部分に製造メーカーの略号を刻印にて明示すること。
 - 5) 筋かい端部の接合はせん断接合である。



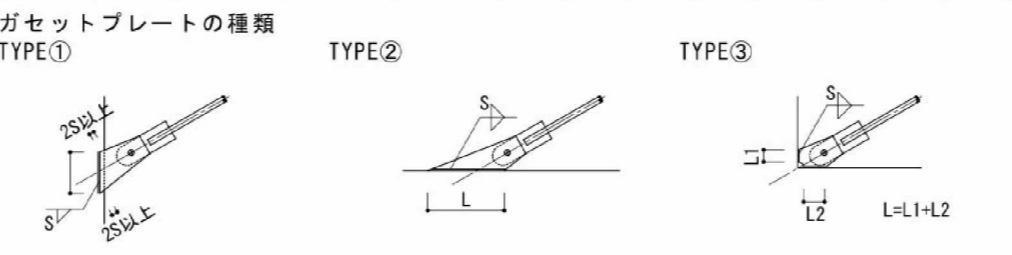
- B. 平鋼、溝形鋼、山形鋼 筋違
- 1) 使用鋼材 SS400・SM400A-B
 - 2) 筋違端部板の面内力だけでは力が伝達されない場合は、必ず水平あるいは鉛直のスチフナーをもうけ変形を防止し、十分な力を伝達させる対策を講じなければならない。
 - 3) ガセットプレートの縁は第一ボルトの位置から筋違の軸線の左右各30度の線を切つてはならない。止むを得ずこれを切る場合は偏心による接合応力度の検討を行わなければならない。
 - 4) 原則として梁は突出継手とし、ガセットプレートは梁心に合わせて溶接する。止むを得ず偏心する場合は局部変形防止の設計を行わなければならない。
 - 5) すみ肉溶接の有効長さには、一辺の長さ 10S 以下は算入しない。
 - 6) ガセットプレートの取付く部材厚はS以上とする。
 - 7) トルシア形高力ボルトは S10T または、六角高力ボルトは F10T とする。
 - 8) 特記なき寸法はmmとする。
 - 9) ガセットプレートを実合せ溶接とする場合は詳細設計を行うものとする。
 - 10) 柱梁とガセットプレートの接合部を変更する場合は詳細設計を行うものとする。
 - 11) プレースの付く柱脚では引抜力はアンカーボルトで、水平力及び偏心力は根巻き鉄筋コンクリートによって処理するものとする。止むを得ず実施出来ない場合は引抜力水平力及び偏心力に対するアンカーボルトの設計を行わなければならない。
 - 12) 本標準図に記載されていないものは別途詳細設計を行うこと。

壁面プレース (床面プレースもこれに準ずる)



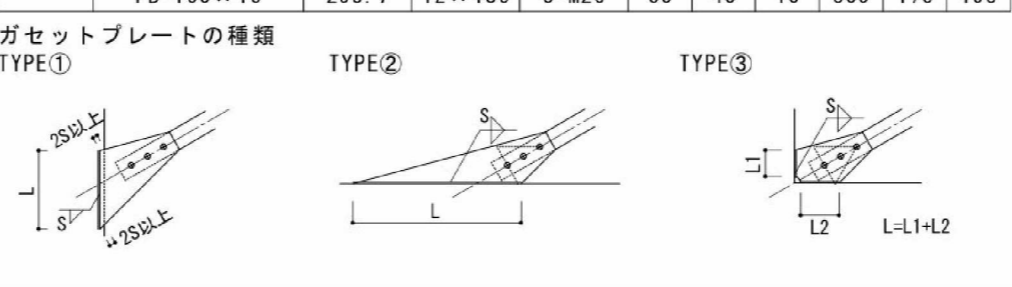
丸鋼 (JISターンバックル筋かい) e2は、平鋼を使用した場合の値

採用部材	引張耐力 (kN)	gtxB 厚x幅	HTB (F10T)	p (mm)	e1 (mm)	e2 (mm)	Lb (mm)	S (mm)	溶接長 L (mm)		
									TYPE①	TYPE②	TYPE③
M12	21.0	6×60	1-M12	-	35	19.0	40	6	60	42	54
M14	28.7	6×60	1-M16	-	40	25.0	50	6	64	44	56
M16	38.6	9×70	1-M16	-	45	25.0	55	8	80	56	72
M18	48.1	9×70	1-M20	-	50	32.5	60	8	80	56	72
M20	60.6	9×80	1-M20	-	50	32.5	75	8	102	67	83
M22	74.7	12×80	1-M22	-	55	37.5	85	10	101	71	91
M24	87.7	12×90	2-M20	50	50	37.5	85	10	118	79	99
M27	113.8	12×90	2-M20	50	50	45.0	90	10	152	96	116
M30	139.3	12×100	2-M22	55	55	45.0	95	10	186	113	133
M33	172.6	12×110	2-M22	55	55	50.0	110	10	229	135	155



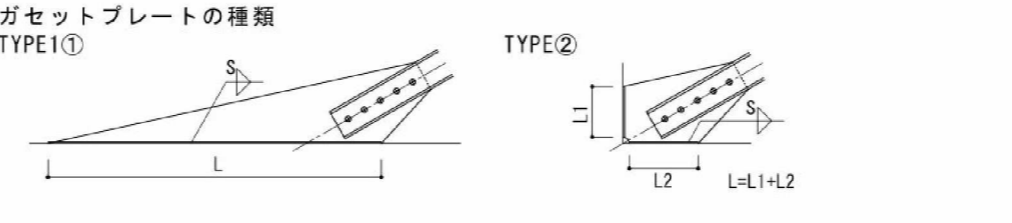
平鋼

採用部材	引張耐力 (kN)	gtxB 厚x幅	HTB (F10T)	p (mm)	e (mm)	S (mm)	溶接長 L (mm)		
							TYPE①	TYPE②	TYPE③
FB-65×6	66.4	6×65	2-M16	60	40	6	117	71	83
FB-75×6	80.5	6×75	2-M16	60	40	6	142	83	95
FB-65×9	99.5	9×65	3-M16	60	40	8	131	82	98
FB-75×9	120.7	9×75	3-M16	60	40	8	159	96	112
FB-90×9	144.1	9×90	3-M20	60	40	8	190	111	127
FB-100×9	165.2	9×100	3-M20	60	40	8	218	125	141
FB-90×12	192.0	12×90	3-M20	60	40	10	202	121	141
FB-100×12	220.3	12×100	4-M20	60	40	10	232	136	156
FB-90×16	256.1	12×115	4-M20	60	40	10	270	155	175
FB-100×16	293.7	12×130	5-M20	60	40	10	309	175	195



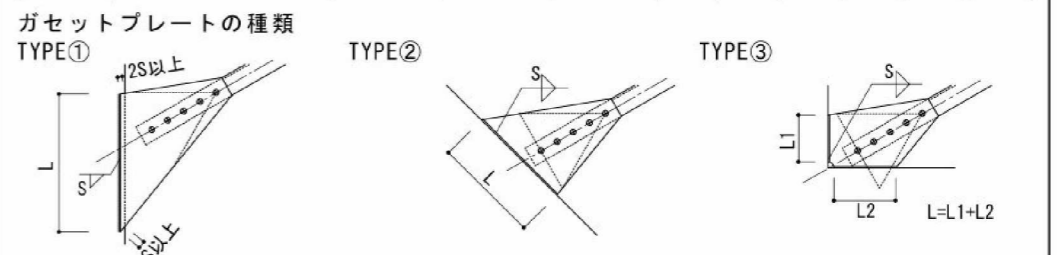
溝形鋼

採用部材	引張耐力 (kN)	gtxB 厚x幅	列	HTB (F10T)	S (mm)	溶接長 L (mm)		
						TYPE①	TYPE②	TYPE③
[-100×50×5×7.5	219.4	9×130	1	5-M20	8	161	177	
[-125×65×6×8	322.6	9×180	1	6-M20	8	229	245	
[-150×75×6.5×10	415.5	9×240	千鳥	8-M20	8	290	306	
[-150×75×9×12.5	545.6	9×300	千鳥	9-M20	8	375	391	
[-200×90×8×13.5	692.8	12×300	2	10-M20	10	472	488	
2[-100×50×5×7.5	509.4	12×205	1	5-M20	10	288	308	
2[-125×65×6×8	743.2	16×220	1	6-M20	13	327	353	
2[-150×75×6.5×10	1023.5	16×305	千鳥	8-M20	13	440	456	
2[-150×75×9×12.5	1311.7	16×380	千鳥	10-M20	13	557	583	
2[-200×90×8×13.5	1614.4	19×405	2	12-M20	16	563	595	



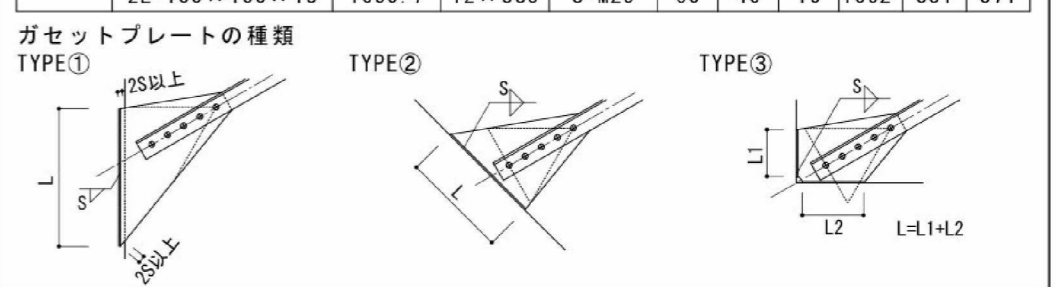
山形鋼 (シングル)

採用部材	引張耐力 (kN)	gtxB 厚x幅	HTB (F10T)	p (mm)	e (mm)	S (mm)	溶接長 L (mm)		
							TYPE①	TYPE②	TYPE③
L-65×65×6	128.8	9×90	5-M16	60	40	8	170	101	117
L-75×75×6	153.5	9×95	5-M16	60	40	8	202	117	133
L-75×75×9	220.8	9×125	5-M16	60	40	8	291	162	178
L-75×75×12	274.7	9×160	5-M20	60	40	8	361	197	213
L-90×90×7	202.4	9×120	4-M20	60	40	8	267	150	166
L-90×90×10	295.4	9×165	5-M20	60	40	8	389	211	227
L-90×90×13	374.8	12×160	6-M20	60	40	10	395	218	238
L-100×100×7	230.0	9×135	4-M20	60	40	8	303	168	184
L-100×100×10	336.6	9×185	5-M20	60	40	8	443	238	254
L-100×100×13	415.7	12×180	6-M20	60	40	10	438	239	259



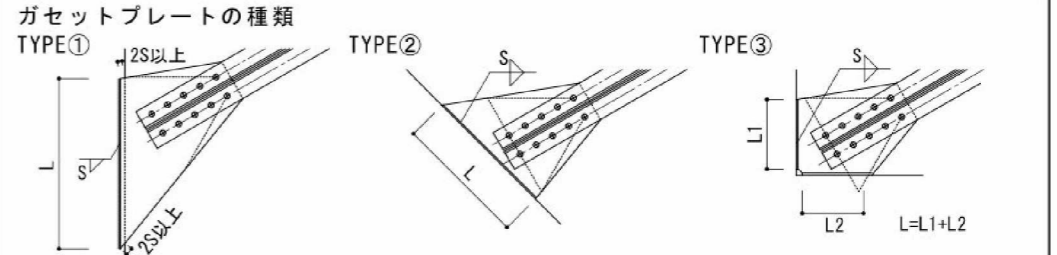
山形鋼 (ダブル背中合わせ)

採用部材	引張耐力 (kN)	gtxB 厚x幅	HTB (F10T)	p (mm)	e (mm)	S (mm)	溶接長 L (mm)		
							TYPE①	TYPE②	TYPE③
2L-65×65×6	303.4	9×165	5-M16	60	40	8	399	216	232
2L-75×75×6	359.9	9×190	5-M16	60	40	8	473	253	269
2L-75×75×9	504.2	12×205	5-M20	60	40	10	531	286	306
2L-75×75×12	655.3	12×255	5-M20	60	40	10	689	365	385
2L-90×90×7	502.7	12×205	4-M20	60	40	10	529	285	305
2L-90×90×10	692.8	12×270	5-M20	60	40	10	729	385	405
2L-90×90×13	887.3	12×340	7-M20	60	40	10	933	487	507
2L-100×100×7	568.6	12×225	5-M20	60	40	10	598	319	339
2L-100×100×10	790.8	12×305	6-M20	60	40	10	832	436	456
2L-100×100×13	1009.7	12×385	8-M20	60	40	10	1062	551	571



山形鋼 (ダブル並列)

採用部材	引張耐力 (kN)	gtxB 厚x幅	HTB (F10T)	p (mm)	e (mm)	S (mm)	溶接長 L (mm)		
							TYPE①	TYPE②	TYPE③
2L-65×65×6	257.5	9×160	5x2-M16	60	40	8	339	186	202
2L-75×75×6	306.9	9×185	5x2-M16	60	40	8	404	218	234
2L-75×75×9	441.7	9×250	5x2-M16	60	40	8	581	307	323
2L-75×75×12	549.4	9×315	5x2-M20	60	40	8	722	377	393
2L-90×90×7	404.8	9×240	4x2-M20	60	40	8	533	283	299
2L-90×90×10	590.8	9×330	5x2-M20	60	40	8	777	405	421
2L-90×90×13	749.6	12×320	6x2-M20	60	40	10	789	415	435
2L-100×100×7	459.9	9×270	4x2-M20	60	40	8	605	319	335
2L-100×100×10	673.1	9×370	5x2-M20	60	40	8	885	459	475
2L-100×100×13	831.4	12×355	6x2-M20	60	40	10	875	458	478



柱配筋リスト 1-1:30 HOOP \square ϕ 100^c, D.HOOP \times ϕ 600^c

	C1	C2, C2a	C3
3階			
主筋	4-D19・6-D16	4-D22・4-D19	8-D19
2階			
主筋	4-D19・6-D16	4-D22・4-D19	8-D19

既存鉄骨部材リスト

既存T1 H-500x200x10x16
 既存RB1 H-200x100x5.5x8

大梁配筋リスト 1-1:30 一特配ナキ限り 腹筋 ϕ 中仕 ϕ 6-600^c

	G1			G2			G3		
	外端	中央	内端	外端	中央	内端	外端	中央	内端
R階									
材種	ZLS-LSx65x6								
WxL	L-50x50x6 (60°)								
上筋	2-D19	2-D19	2-D19						
下筋	2-D19	2-D19	2-D19						
ST	9 ϕ -200 ^c								
3階									
上筋	4-D19	2-D19	2-D19・2-D16						
下筋	4-D19	2-D19・1-D16	2-D19						
ST	9 ϕ -100 ^c								
2階									
上筋	5-D25	3-D25	6-D25	5-D25	3-D25	5-D25	3-D25	3-D25	4-D25
下筋	3-D25	4-D25	3-D25	3-D25	4-D25	3-D25	3-D25	3-D25	4-D25
ST	13 ϕ -200 ^c			13 ϕ -200 ^c			9 ϕ -100 ^c		

徳島県土整備部営繕課

●工事名 R8 営繕 国府支援学校 徳・国府
 ダイバーシティ棟改修工事建築

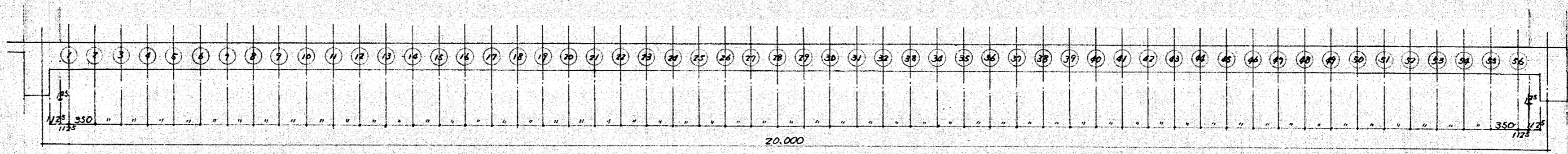
●図面番号 S-18

有限会社 佐藤建築企画設計
 徳島市幸町1丁目43番地 TEL (088) 625-1759

●図面名 既存部材リスト1

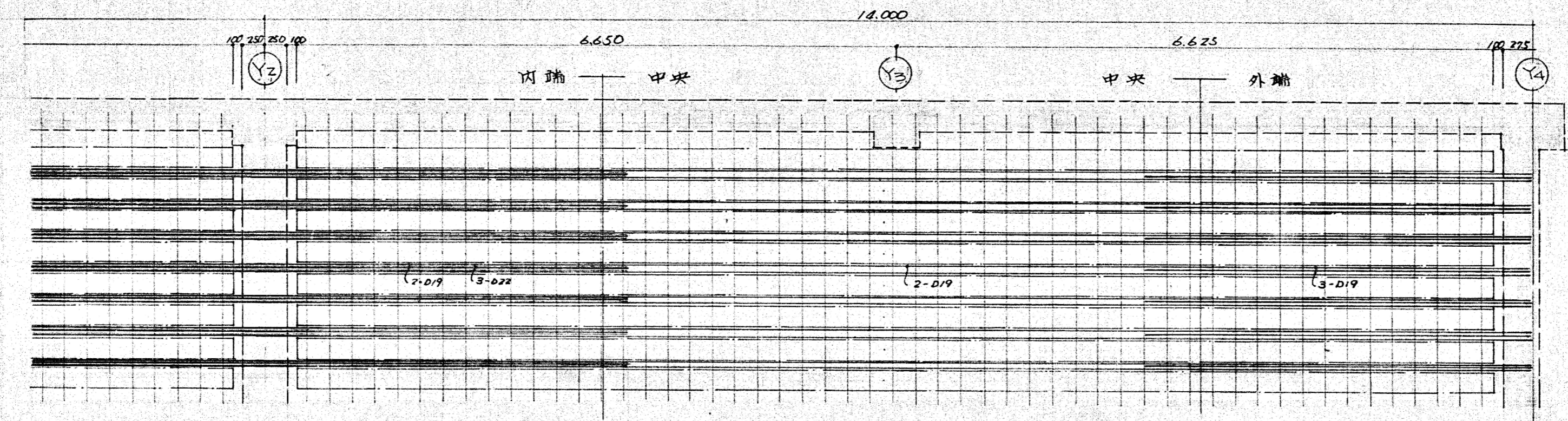
●縮尺 NON

管理建築士 板東 毅
 1級建築士登録 333704号

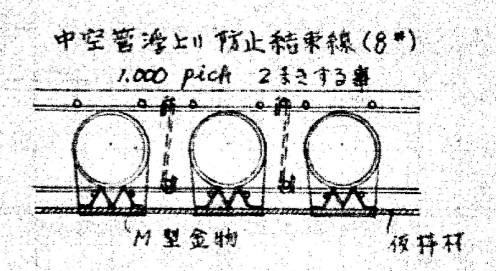
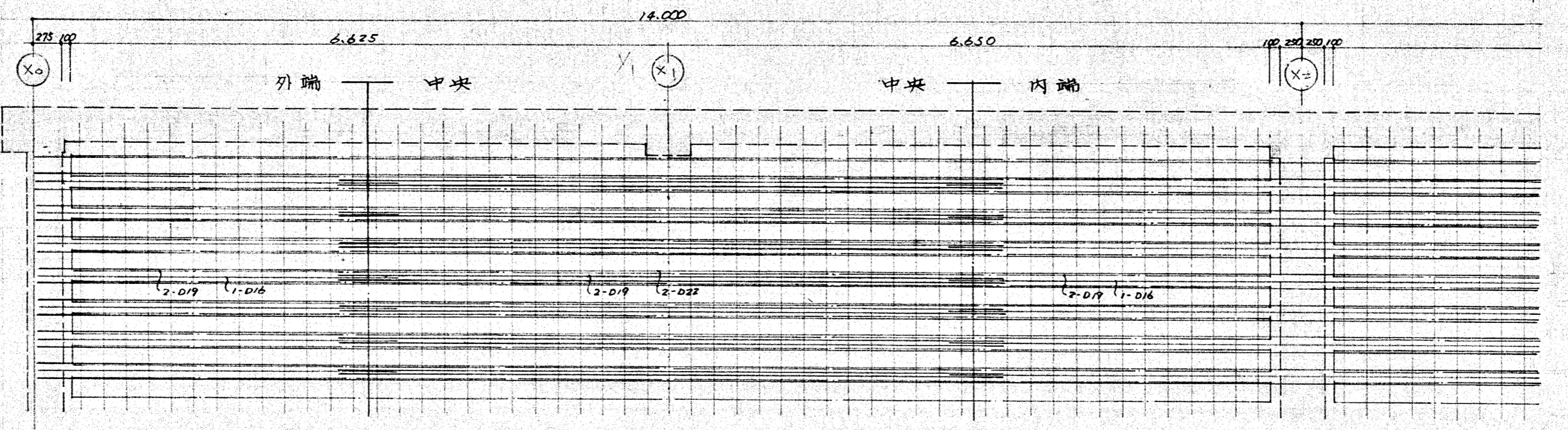


2So 中空管割付図 1-1:40

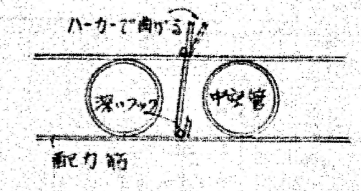
上端配筋図



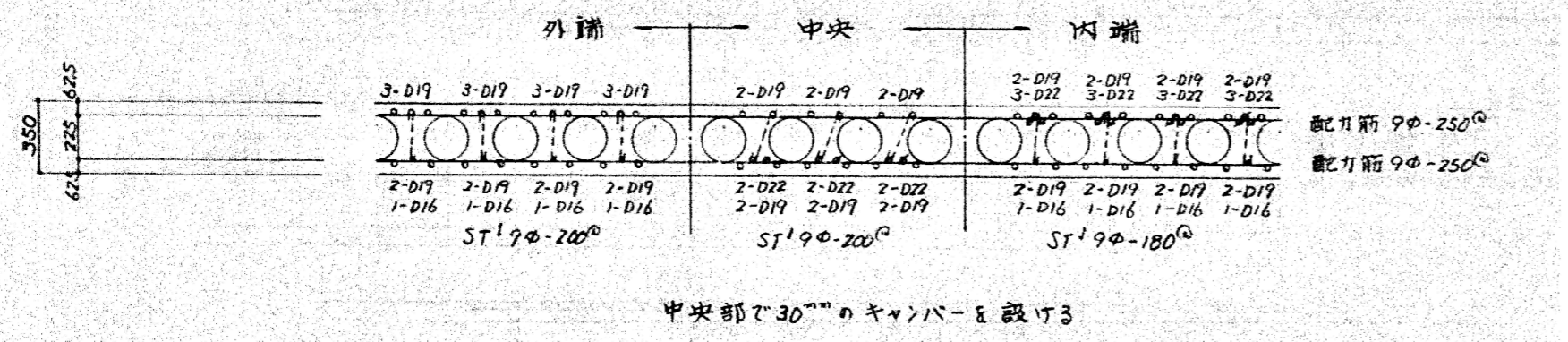
下端配筋図



中空管受金具取付付図



中空スラブスラッパ取付付図



徳島県土整備部営繕課	●工事名	R8 営繕 国府支援学校 徳・国府 ダイバーシティ棟改修工事建築	●図面番号	S-19	有限会社 佐藤建築企画設計 徳島市幸町1丁目43番地 TEL (088) 625-1759 管理建築士 板東 毅 1級建築士登録 333704号
	●図面名	既存部材リスト2	●縮尺	NON	

ヘーベル 外壁・間仕切壁《縦壁ロッキング構法》

縦壁HDR構法(一般用) 設計施工標準図

I ALCパネル仕様

- 1 ALCパネル仕様
JIS A 5416 軽量気泡コンクリートパネル (ALCパネル) に適合するもの
- 2 ALCパネル使用部位およびパネル厚
- 外壁 平パネル
 - 100厚
 - 125厚
 - 150厚
 - 外壁 意匠パネル
 - 100厚
 - 125厚
 - 150厚
 - 間仕切壁
 - 75厚
 - 100厚
 - 125厚
 - 150厚
- ※150厚は一部の納まりが異なるため、別途専用の設計施工標準図をご用意いたします。

- 3 ALC外壁仕様
- (1) パネル取付け構法
- 縦壁構法
 - 縦壁ロッキング構法
 - 縦壁HDR構法(一般用)
 - その他

(2) 設計風圧力

階	~	階	正	負	(N/m ²)
階	~	階	正	負	(N/m ²)
階	~	階	正	負	(N/m ²)
階	~	階	正	負	(N/m ²)

- (3) パネル特殊仕様
- 特記:
- 意匠パネル
 - デザインパネル (表面に凹凸デザイン模様)
 - ジーファスパネル (岩肌調デザイン模様)
 - NCフリーデザインパネル (オリジナルのパターン加工)
 - Canvasパネル (表面にプラスト模様)
 - スタンダード
 - オリジナル
 - アートミュール (工場下地処理+現場塗装)
 - デュアルウォール (金属仕上げパネル専用工法)
 - 下地処理済みパネル
 - SPパネル (表面にフィラー下地処理済み)
 - その他
 - S1パネル (吸水性を抑えたパネル)
 - その他

- 4 ALC間仕切壁仕様
- (1) パネル取付け構法
- 縦壁構法
 - 縦壁ロッキング構法
 - 縦壁HDR構法(一般用)
 - その他

- (2) パネル特殊仕様 (特記:)

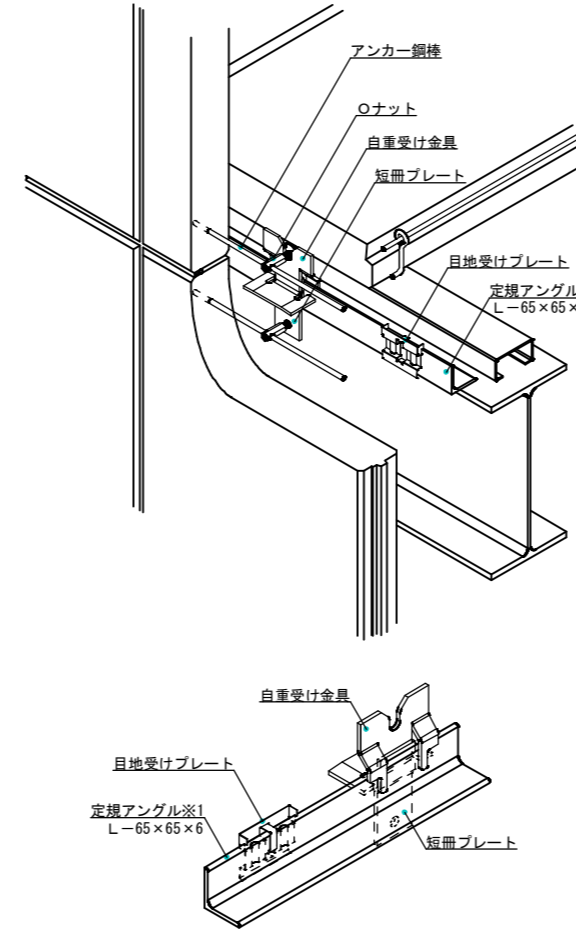
II 関連資材仕様

- 1 シーリング材 (ALCパネル間)
- ※モジュラスの低いもの(経年時の50%引張応力の値が0.3N/mm²以下)を選定 (JIS A 5758 に基づく耐久性区分)
- (1) 種類
- ポリウレタン系
 - 耐久性区分 8020
 - 変成シリコン系
 - 耐久性区分 8020
 - 耐久性区分 9030
 - その他 () 耐久性区分 ()
- (2) その他特記事項 (品名:)
- 2 耐火目地材
ロックウール保温板(JIS A 9504) または 高温断熱ウールAESブランケット(JIS R 3311) 品質同等
- 3 防錆塗料 (ALC下地鋼材、開口部補強鋼材塗装用)
特記による ()

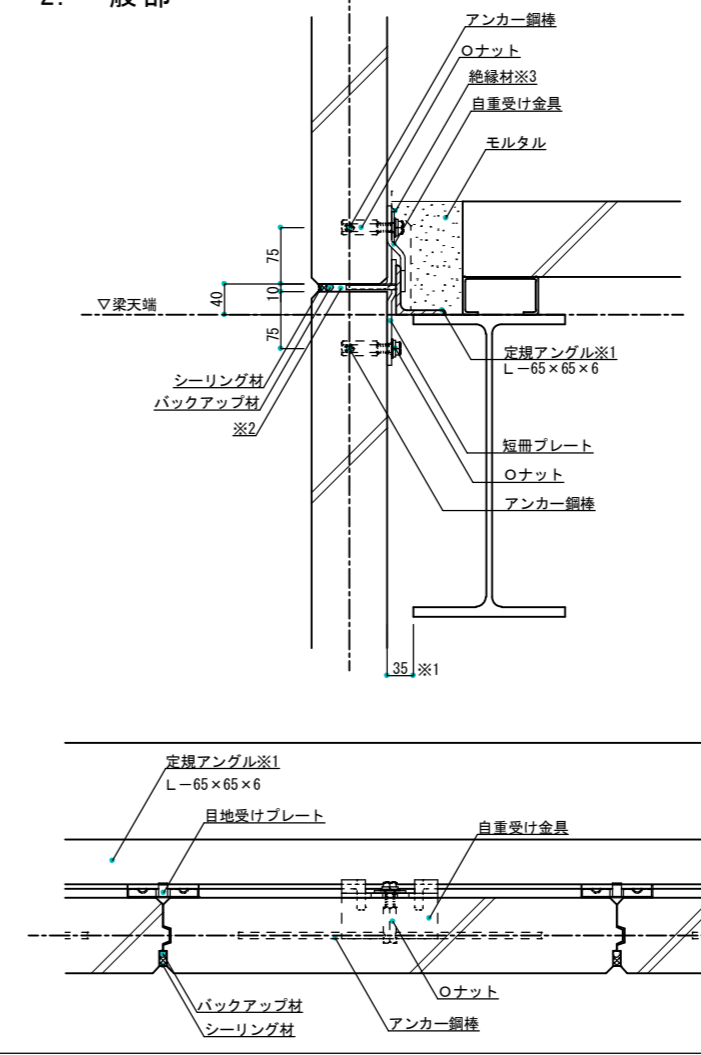
III 内外装仕様

- 1 外装仕上げ
- 仕上塗材仕上げ (特記:
 - 複層仕上塗材 (JIS A 6909)
 - 複層塗材E (アクリルタイル)
 - 複層塗材CE (セメント系吹付タイル)
 - 複層塗材Si (シリカタイル)
 - その他
 - 薄付け仕上塗材 (JIS A 6909)
 - その他
 - 厚付け仕上塗材 (JIS A 6909)
 - その他
 - 張り仕上げ
 - その他
- 2 内装仕上げ
- 仕上塗材仕上げ (特記:)
 - ペイント塗り (特記:)
 - ボード仕上げ
 - 変形追従型工法 (特記:)
 - その他 (特記: LGS65の上PB-12.5+12.5張り)

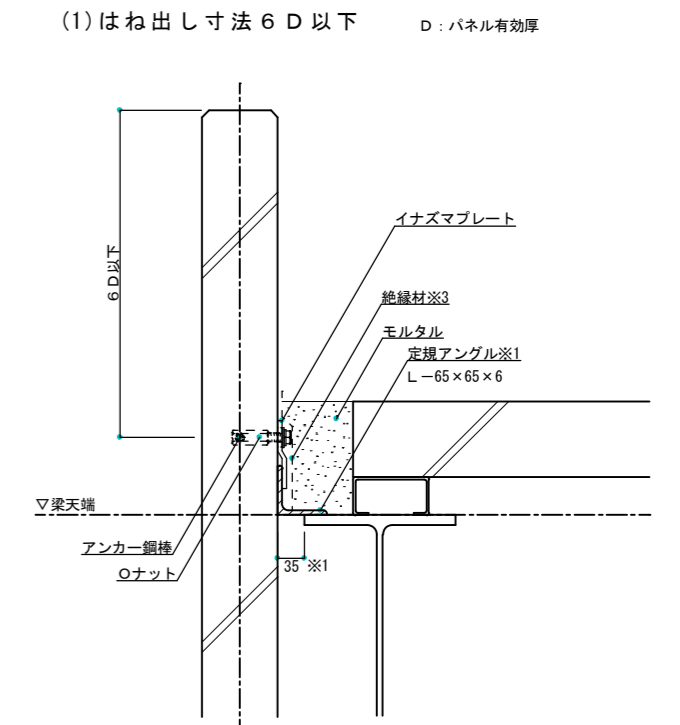
1. 構法概要 (縦壁HDR構法(一般用))



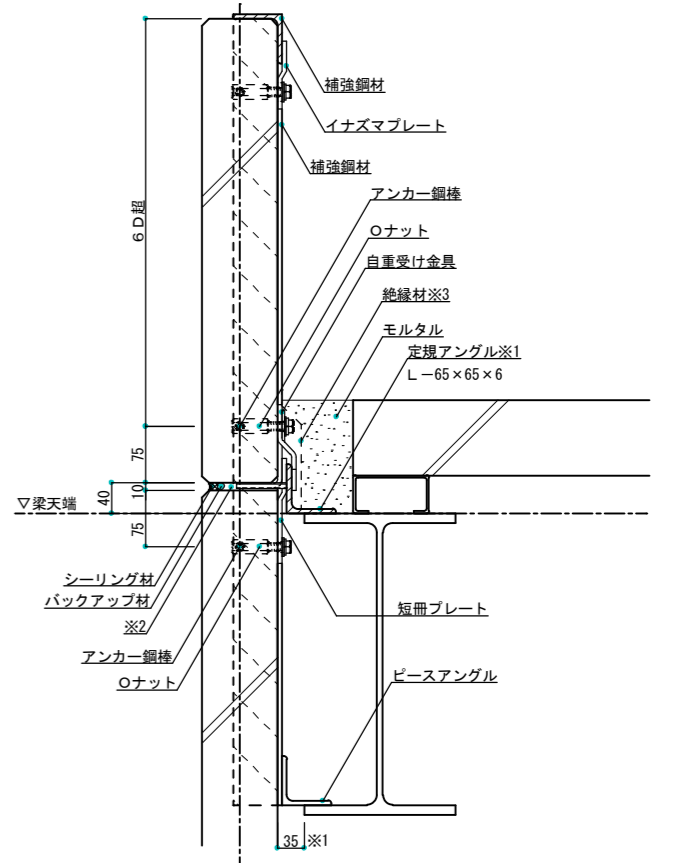
2. 一般部



6. パラペット部

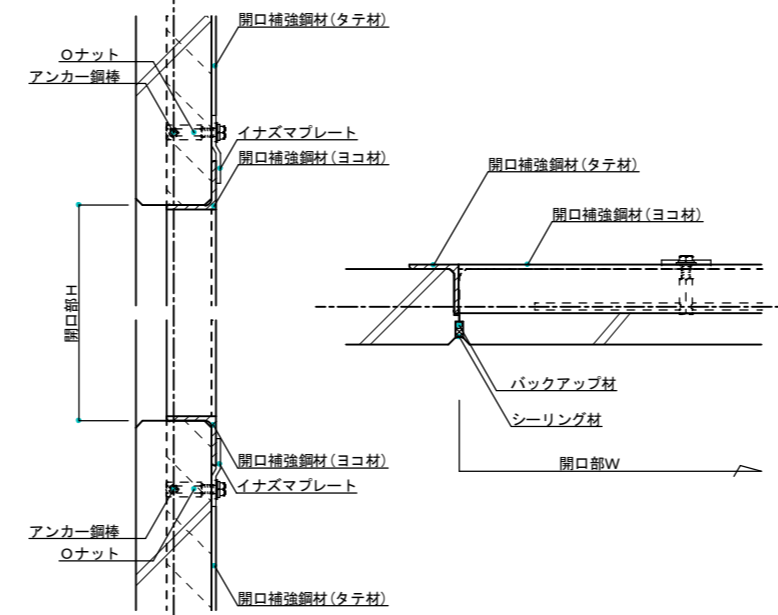


(2) はね出し寸法 6D 超

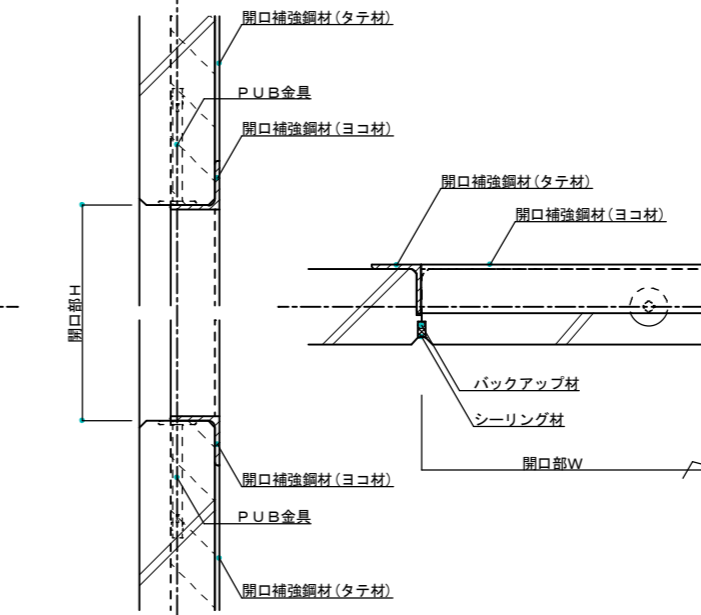


3. 開口部

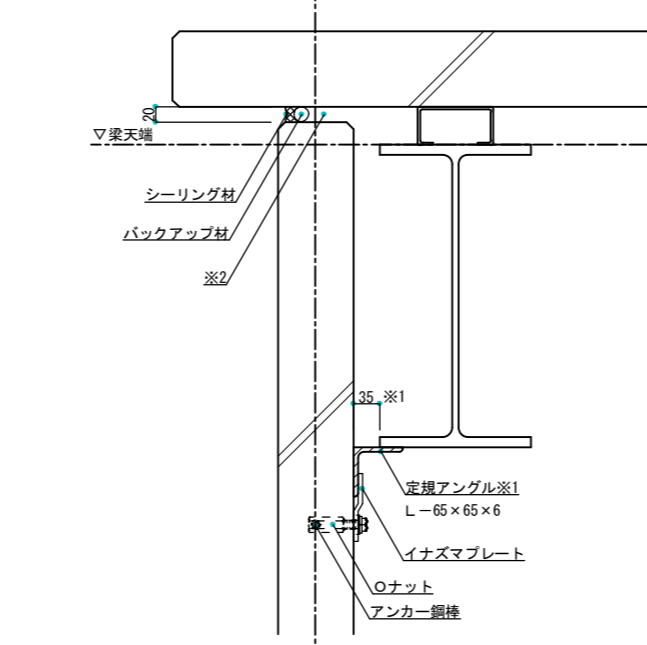
(1) Oナットを使用する場合



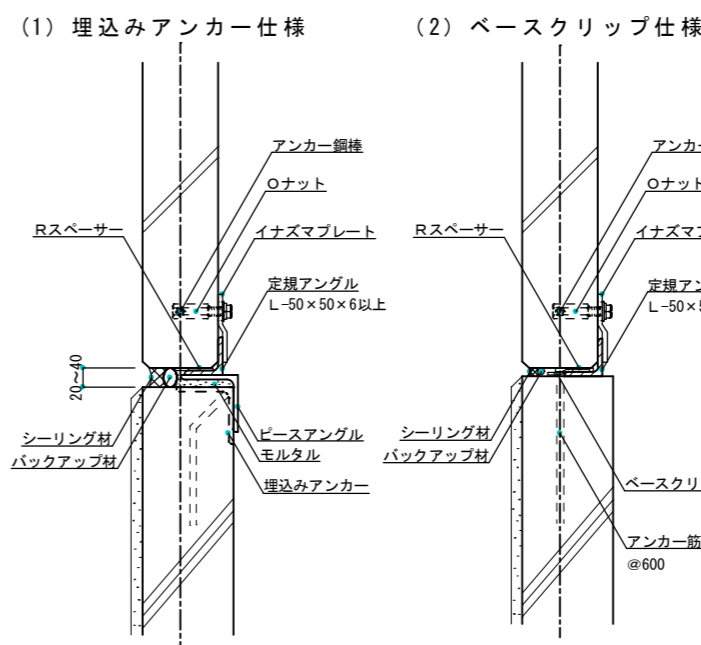
(2) PUB金具を使用する場合



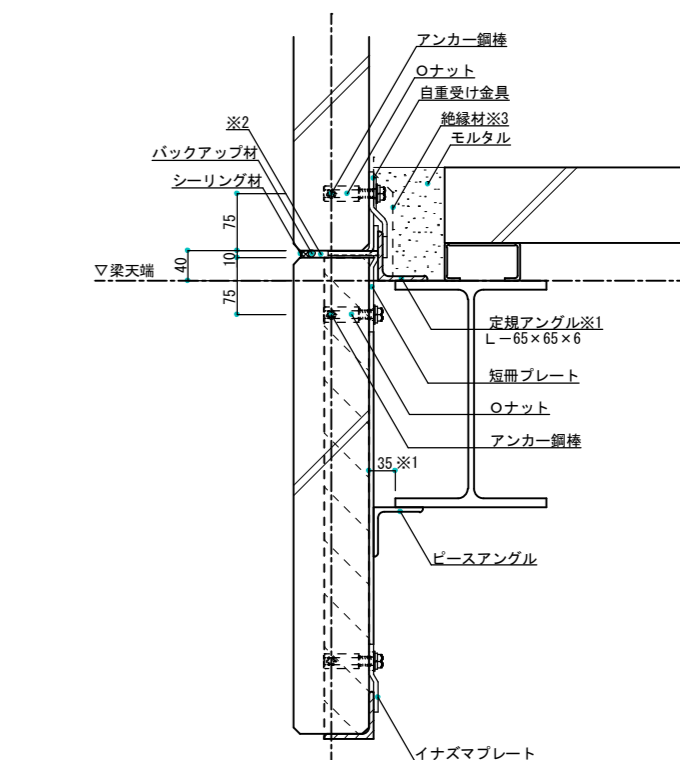
4. 軒先部



5. 布基礎部



7. 下がり壁部



※1 平パネル厚さ150mmの場合、自重受け金具を取り付ける定規アングルなどはL-75×75×6を使用する。またパネルと躯体とのクリアランスは45~50mmとする。
 ※2 耐火目地材: 横目地、出隅、入隅部、伸縮目地や軒まわりなどの目地で、耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てる。
 ※3 絶縁材: 床取合い部では、モルタルがパネルのロッキングを拘束しないように、パネルとモルタルの間に全長にわたって絶縁材を設ける。